

目 次

巻 頭 言

1. 巻 頭 言	加藤 弘文	1
2. 巻 頭 言	谷 徹	2
3. 有限と無限	谷 眞至	3
4. 巻頭言 2018	浅井 徹	4

2017年度 同門会各賞受賞コメント

1. 同門会賞受賞	村田 聡	5
2. 理事長賞受賞	児玉 泰一	6
3. 奨励賞受賞	木下 武	7
4. 若手医師奨励賞受賞	長澤 芳信	8
5. 若手医師奨励賞受賞	岡本 圭伍	9

同門会便り

1. 東近江市立能登川病院	長谷川 均	11
2. がん研究会有明病院	山口 智弘	12
3. 草津総合病院	白石昭一郎	13
4. 東近江総合医療センター	尾崎 良智	14
5. 静岡県立静岡がんセンター	新田 信人	15
6. 長浜赤十字病院	塩見 尚礼	16
7. 岸和田徳洲会病院	平松 範彦	17
8. 洛和会音羽病院	一瀬増太郎	18

新入会員紹介

消化器・乳腺・一般外科	全 有美	19
形成外科、乳腺・一般外科兼務	島田 加奈	19

教室業績

滋賀医科大学外科学講座（消化器・乳腺・一般外科）	21
滋賀医科大学外科学講座（心臓血管外科）	40
滋賀医科大学外科学講座（呼吸器外科）	45
滋賀医科大学総合外科学講座	49
滋賀医科大学革新的医療機器・システム研究開発講座	51
滋賀医科大学臨床看護学講座（クリティカル）	53
滋賀医科大学基礎看護学講座（形態・生理）	54

関連病院業績

1. 赤穂市民病院 外科	55
2. 宇治徳洲会病院 外科	55
3. 近江八幡市立総合医療センター 心臓血管外科	56
4. 岸和田徳洲会病院 心臓血管外科	56
5. 京都医療センター 呼吸器外科	58
6. 京都第一赤十字病院 乳腺外科	58
7. 京都民医連中央病院 外科	59
8. 草津総合病院 一般・消化器外科	59
9. 草津総合病院 呼吸器外科	62
10. 公立甲賀病院 呼吸器外科	63
11. 古賀病院 21 消化器外科	63
12. 滋賀県立総合病院 呼吸器内科	63
13. 滋賀病院 外科	67
14. 滋賀病院 乳腺外科	67
15. 静岡県立静岡がんセンター 食道外科	68
16. 静岡県立静岡がんセンター 大腸外科	69
17. 第一東和会病院 内視鏡外科センター	72
18. 武田総合病院 呼吸器外科	72
19. 帝京大学医学部附属溝口病院 外科	72
20. 暁生会脳神経外科病院 外科	76
21. 長浜市立湖北病院 外科	77
22. 長浜赤十字病院 外科	77
23. のじまバスキュラーアクセスクリニック	80
24. はえうち診療所	81
25. 東近江市立能登川病院	81
26. 東近江総合医療センター 外科	82
27. 東近江総合医療センター 呼吸器外科	87
28. 日野記念病院 外科	89
29. ベルランド総合病院 外科	91
30. ベルランド総合病院 乳腺外科	91
31. マキノ病院 外科	92
32. みずき皮フ科クリニック	93
33. 南京都病院 呼吸器外科	93
34. 横浜総合病院 ハートセンター 心臓血管外科	93
35. 洛和会音羽病院 呼吸器外科	94

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

1. 役員一覧	95
2. 定款	96
3. 賛助会員一覧	99
4. 広告掲載ご協力	100

卷 頭 言

- | | | | |
|-----------------------|------|----|----|
| 1. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事長 | 加藤 | 弘文 |
| 2. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 副理事長 | 谷 | 徹 |
| 3. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事 | 谷 | 眞至 |
| 4. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事 | 浅井 | 徹 |

◆ 巻 頭 言

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

理事長 加藤 弘文



2003年大学に大外科講座制が発足とともに同門会も統合されました。岡田慶夫、小玉正智両名誉教授のご尽力で発展してきました。10年経過して、全国的な外科志望者の減少、政府予算逡減化を受けて、大学の外科講座は、卒業後の若い確かな外科医を育成するうえで多くの課題に迫られました。小玉理事長の指導の下、2013年3月31日、一般社団法人滋賀医科大学外科同門会が設立されました。これで法人格をもって組織的な活動と情報交換を通じて大学の外科系部門の支援を展開することが可能となりました。

最近2年の巻頭言の中で小玉理事長が指摘されているように、国際基準の若い医師を育てるための充実した医学部教育プログラムの実施、さらに卒後外科研修プログラム（新しい専門医制度）が始まります。

このような背景の中、2018年（平成30年）1月16日開催の一般社団法人滋賀医科大学外科同門会の理事会で小玉正智名誉教授の後を受けて理事長を拝命しました。副理事長には谷 徹教授を選出していただきました。

初めに同門会の目的を再確認しますと「外科に関する学術の研鑽、普及及び滋賀医科大学外科学講座の発展と向上及び地域における外科医療の充実を目的とする」とあり。これらを達成するために、同門会の理事が増員され体質強化がなされ、今後活動内容がふえることとなります。

社会的には医療の高度化、国際化、医療資源の効率的運用、人口動態に伴う医療体制の変革が今後進んでいくと思われまます。この変革の時代に、まず滋賀医科大学の学部教育が国際基準を超えるものとなるべく大学全体で取り組んでおられます。この点では、浅井徹、谷眞至両教授を筆頭に外科学講座が精力的に臨床および研究に励んでおられます。

しかし、卒後教育については大学での定員数の限界から、特に外科専門医育成については、各地域医療機関と密接に連携して初めて達成されます。この点において各病院の部門の方々のご協力をお願いいたします。各施設など状況も異なりましようが、個々の問題点を明らかにしてともに解決していきたいと思ひます。将来の確かな外科医を育成するためにご指導ご鞭撻をお願いいたします。

また外科志望者の増加に向けて、それぞれの会員及び施設において新入会入局勧誘をお願いいたします。

◆ 巻 頭 言

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 副理事長
滋賀医科大学 革新的医療機器・システム研究開発講座

特任教授 谷 徹



滋賀医科大学外科を退任して5年になり、臨床活動は週1回の外来だけをしている状況にある。現役最後の年から5年間の文部科学省特別会計予算により2000年から始めた「次世代手術システム開発」のプロジェクトを部門として継続し、今年3月で成果を上げて終えることができた。その後4月からは本学において立ち上げたベンチャー企業、(株) マイクロン滋賀とマイクロ波デバイスの製造販売会社となった日機装(株)とで寄附講座を設置し、3年間さらに研究開発をできる立場になった。

現役を離れ、日々の時間に追われる仕事とはかけ離れ、ほぼ自分で仕事を作りこなしていくスタイルになって感じることもある。本来、現在の研究スタイルこそは現役の活動真只中にある人々が享受すべきであるのではないかという思いと、地道に変節せず事を進めておれば夢が実現することもあるということである。普通夢とはなかなか実現しない事を指すが、夢と思っていたようなことが実際に実現することがあるかも知れないと感じている。

小玉教授のもとで花澤氏、青木氏とエンドトキシン吸着材料を開発して三十数年、その効果については様々な意見が出されてきたが、世界各国で十数万人超に使われている。昨年米国においてダブルブラインドの臨床治験が終了した。その主結果で効果は証明できなかったが、サブ解析においてエンドトキシン濃度が測定できる範囲内にある症例において有意な効果を出すことができ、開発当初から掲げてきた血中エンドトキシン濃度を下げる、つまりトレミキシンによるエンドトキシン除去は救命率を上げる効果を持つという仮説が証明されたと考えられる。FDAの認可を受けるべく追加の情報を提供していると聞いている。敗血症をエンテリクライテリアにする限り効果は半々であるが、エンドトキシン濃度が確定できた症例の中で、感染症が有意でない症例においては有効な治療になると期待している。35年を経た研究開発の仮説の証明、これが一つの夢の実現であった。

「次世代手術システム」の開発に伴って開発を進めてきたマイクロ波手術支援機器が製品化され、多くの分野の先生方に使って頂き、高い評価を受けることも多くなっている。事業としての展開も今まで想像さえしなかった世界の企業からのオファーを複数件受けるようになり、開腹用のみならず鏡視下用やロボットハンド用への採用も現実味を帯びている。

このデバイスは新しい郭清術ができることを目指して開発してきたのであるが、その目的は外科学教室現役時に経験した外科手術による癌細胞の散布とその再発リスク防止策であった。この弊害をなくすと5年生存率が数十%良くなると推定され、その対策が希求されていた所、散布理由や根拠の解明を谷真至教室で進めて頂けた。一方対策の一つとしてマイクロ波を使った手術機器がリンパ管のシーリングに最も適していることがすでに証明済みであり、これを用いた臨床のスタディと研究を進める道筋が立ってきた。このシナリオが現実となれば外科の本道中の本道である悪性腫瘍の郭清術について、新しい手術コンセプトを新しく開発したデバイスにより検証し創生することができ、滋賀から世界に発信することも可能となる。

以上、夢のような事の体験、これが夢の実現ではないかと思う。今までに失った物も多いし、ない方が良かった経験も数多いが、この年になって夢を追い求めること自体も夢の実現そのものかもしれないと感じる今日この頃です。

◆ 有限と無限

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
滋賀医科大学 外科学講座(消化器・乳腺・一般外科)

教授 谷 眞至



滋賀医科大学外科同門会の先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は消化器・乳腺・一般外科の診療・研究・教育に多大なるご厚情を賜り心から御礼申し上げます。消化器・乳腺・一般外科として年間1,000例を超える手術件数を経験できましたのも、同門会をはじめとする支えていただける先生方がいらっしゃるのなことだと感謝申し上げます。

今年前半だけをみても、大韓民国で開催されたピョンチャン・オリンピックに始まりサッカーワールドカップまで多くのスポーツ大会が開催されています。いつの時も、トップアスリートの妙技には驚くばかりですが、それだけでなく言葉には心を引き付けるものがあります。勝負は時の運とはいえ、やはり1位になる選手は心技体ともに充実していることの証でしょうか。

さて、多くの名言の中でも、ピョンチャン・オリンピックで堂々の500m金メダル、1,000m銀メダルに輝いた小平奈緒選手の一言「与えられるものは有限、求めるものは無限」に肯くばかりです。まさに、医学教育において最も大事なことを意味しているのではないのでしょうか。教育に置き換えれば、教えてもらえることは限りがあるが、自ら考え自ら解決する課題は無限であるとともに、そこから学べることは数え切れないということの意味しています。指導者の経験や知恵を借りて自分で学ぶことの重要性を教えてください。私自身も知識を撒くスプーン・フィーディングは嫌いです。昨今の医学生や研修医には教えてもらうことや何ができるかといことばかりを論じて自分で何をするのかに関する意見や議論がない人が増えたように思います。また、病院(手術)の症例数だけに捕らわれ、それぞれの置かれた環境で多くの学ぶことができるものがあるのに、それに気付いていない人もいます。このようなことを感じるのは単に歳をとっただけなのかと思いましたが、小平奈緒選手のひとことを噛みしめて、自分で考えることの重要性を伝えていきたいと思えます。無限の可能性を求めることができる外科医を育成するため、教室員が一丸となって取り組んでいけるよう尽力する所存ですので、倍旧のご指導ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

◆ 巻頭言 2018

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
滋賀医科大学 医学部医学科

教授 浅井 徹



この稿を書いているのは、韓国での大動脈シンポジウムで講演した後空港に向かっている車の中だ。昨年秋には滋賀県の救急医療に長年貢献してきたことで三日月県知事から表彰をいただき、滋賀県の医療計画案に循環器救急に対する滋賀医大の役割を加えていただきこれまでの皆の頑張りが評価されたものとして喜ばしいこととして心に残った。一方、梅雨の集中豪雨で広島など滋賀を含めて西日本で空前の雨による土砂災害で多数の犠牲者を出す痛ましい災害があった。ロシアで行われたサッカーワールドカップでは、予想を覆し日本チームは決勝トーナメントに進み、滋賀県出身の乾選手の活躍が話題になった。

滋賀医大に来て17年目になったが、厳しい時代は続きここ数年の医療安全や研究の倫理審査の方向はどんどん厳しくなる方向である。大学というところで臨床や研究に従事する者にとって様々な目に見えない壁がそびえたってきているような感覚がある。倫理指針や安全性担保自体は大いに進めてゆくべきことであるが、近年の組織内での閉塞感は拭い去れないものがある。医療は本来だれのためにあるのか。それは病に苦しみ不安を感じる患者さんのためであることは当然である。医療安全を最も好成績で切り抜ける確実な方法は医療を行わないことであるというジョークすらある。

外科治療は、本来保存的治療では成しえない内科治療を超えた治療効果を提供するものである。手術に向かう患者さんやその家族には何とかよくしてほしいという祈りに近い願望がある。私たちはこの厳しい時代に、病態理解を深め、技術を磨き外科手術を行う。全てが予定通りにはいかないこともある。より困難な状況でしっかりと向き合う。つまるところ、そうした覚悟が時代を超えて外科医には必要なのだと思っている。外科同門会の一人一人が患者さんを、そして地域を力強く支えていることを私は誇りに思っている。外科医が育ち、地域を支える同門会が発展し続けることを祈っている。

2017年度 同門会各賞受賞コメント

1. 滋賀医科大学医学部附属病院 腫瘍センター
同門会賞受賞
Viable Cancer Cells in the Remnant Stomach are a Potential Source of
Peritoneal Metastasis after Curative Distal Gastrectomy for Gastric Cancer.
Ann Surg Oncol. 23(9): 2920-2927, 2016
村田 聡
2. 医療法人社団昂会 日野記念病院 外科
理事長賞受賞
Prognostic impact of CD44-positive cancer stem-like cells
at the invasive front of gastric cancer.
Br J Cancer. 116(2): 186-194, 2017
児玉 泰一
3. 滋賀医科大学 心臓血管外科
奨励賞受賞
Valve Phenotype and Risk Factors of Aortic Dilatation After Aortic
Valve Replacement in Japanese Patients With Bicuspid Aortic Valve.
Circ J. 80(6):1356-1361, 2016
木下 武
4. 独立行政法人地域医療推進機構 滋賀病院 外科
若手医師奨励賞受賞
Laparoscopic-endoscopic cooperative surgery for a duodenal
neuroendocrine tumor: A case report.
Asian J Endosc Surg. 10(2) : 183-186, 2017
長澤 芳信
5. 滋賀医科大学 呼吸器外科
若手医師奨励賞受賞
fimA II 型線毛を有する Porphyromonas gingivalis 肺化膿症の 1 切除例
日本呼吸器外科学会雑誌 30(6) : 30(686)-33(689), 2016
岡本 圭伍

◎ 2017年度同門会同門会受賞



滋賀医科大学医学部附属病院 腫瘍センター

村田 聡 (平成元年卒)

この度は、栄えある同門会賞をいただき、大変光栄に思います。がん臨床における疑問を解決するための研究をご評価いただいたことに感謝し、これを励みに、成果を臨床へ還元できる研究を今後も精進しながら続けていきたいと思っております。

<研究の着想>

精緻な消化器がん手術後に“なぜがん再発するのか？”。この疑問を解決し、転移・再発しないがん手術治療を構築するために、がん研究を行ってきました。

これまでに、胃がん治療手術時に、腹腔内へがん細胞が散布されている事実を見つけ出してきました。このがん細胞は、分裂能があり腫瘍形成能を有し、術後腹膜再発と関連しており、がん外科臨床において Surgery-induced metastasis が生じていることを報告しました (*Ann Surg Oncol*, 2014)。このがん細胞は、漿膜浸潤した胃がんや、リンパ節転移、あるいは原発巣から流出するリンパ液や血液に由来すると考えられました。

「手術中に腹腔内へがん細胞が散布される、他の原因はあるだろうか？」

この臨床的な疑問を解決するために本研究を行いました。

<論文の内容>

【目的】

腹膜再発の原因となりうる手術操作として、胃切除後消化管再建時の癌細胞散布の危険性について検討した。

【方法】

胃癌に対して幽門側胃切除術を施行し、消化管再建術を行う際に、残胃内腔を生食で洗浄し洗浄液を回収した後、細胞診により残胃内腔の癌細胞の存在を、前向き試験として確かめた。cT1N0 に対しては腹腔鏡補助下幽門側胃切除術 (LADG) を適応とし、消化管再建は上腹部小切開創から器械吻合を行った。

【結果】

残胃内癌細胞検出率は 142 例中 33 例 (23.2%) だった。早期胃癌 (10.2%) にも進行胃癌 (35.6%) にも残胃内腔にがん細胞を認めた。検出された癌細胞は集塊を形成し、Ki67 染色陽性で増殖能があった。胃がん幹細胞マーカー CD44v6 は 25.8% に陽性であり、残胃内癌細胞には転移能のある癌幹細胞様細胞が含まれていた。pT1b (SM) 早期胃癌 (n = 31) の解析では、LADG (陽性率 38.4%) が開腹幽門側胃切除術 (ODG) (陽性率 5.5%) に比べ有意な残胃内癌細胞検出の危険因子だった ($p = 0.049$, Odds ratio = 49.5)。

【考察・結論】

- 1) 胃癌消化管再建時の残胃内には、viable な癌細胞が存在し、癌幹細胞様細胞も含まれていることを認識し、残胃の再建操作時には癌細胞の腹腔内散布を予防する処置が必要である。
- 2) また、腹腔鏡下手術は低侵襲性の観点から早期癌から進行癌へと適応が拡大され、消化管再建術も技術を競うように完全腹腔鏡下で再建術がなされる傾向にあるが、体腔内吻合時には残胃内から腹腔内へのがん細胞散布に対しては無防備であることに留意し、低侵襲の観点だけでなく Oncological な観点からも術式を考慮すべきである。

◎ 2017年度同門会理事長賞受賞



医療法人社団昂会 日野記念病院 外科

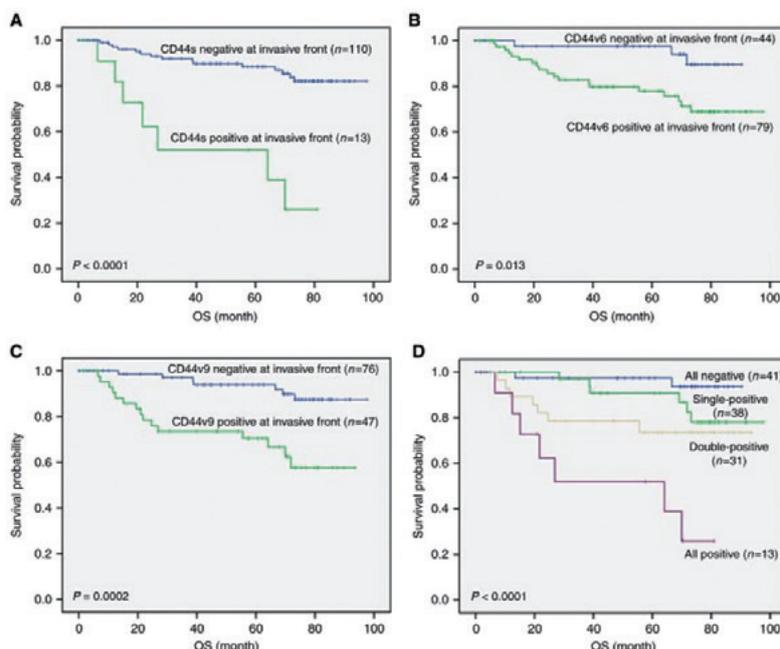
児玉 泰一 (平成 20 年卒)

この度、同門会理事長賞という大変名誉ある賞を頂き、心より感謝申し上げます。この研究は私が大学院生のときに取り組んだもので、胃癌の癌幹細胞の腫瘍浸潤最深部での存在意義を検証したものです。受賞対象となりました論文の内容を要約させていただきます。

当院での胃切除術後患者 123 例の病理標本で胃癌の癌幹細胞マーカーとして報告されている CD44 isoform (CD44s, CD44v6, CD44v9) の免疫組織染色を行い、腫瘍浸潤最深部でのこれらのマーカーの発現が胃癌切除後患者の予後と有意に関連していました (Figure A, B, C)。フォロー中の初発再発形式を調べると、腫瘍浸潤最深部 CD44s の発現はすべての再発形式 (腹膜播種再発、リンパ節再発、血行性再発) に有意な関連を認めました。さらに腫瘍最深部で CD44 isoform は多種類発現しているほど予後が悪く、予後を層別化することが出来るという結果でした (Figure D)。以上の研究結果は「Prognostic impact of CD44-positive cancer stem-like cells at the invasive front of gastric cancer」というタイトルで 2017 年 1 月に British Journal of Cancer に掲載していただきました。

私がこのような研究成果を出すことが出来る環境を与えてくださり、ご指導いただきました外科学講座 (消化器・乳腺・一般外科) 教授 谷 眞至先生、また実験のご指導やデータ分析や論文の書き方などご指導いただきました村田 聡先生に、この場をお借りし心より感謝申し上げます。

英語論文を完成させアクセプトされるまでの過程は、自分にとってかなり大変な作業でありパワーを必要としました。しかし、今回の栄えある受賞をきっかけに今後も日々の研鑽と努力をしていく所存ですので、外科同門会の先生方には、今後も変わらぬご指導とご鞭撻を何卒よろしくお願い致します。



◎ 2017年度同門会奨励賞受賞



滋賀医科大学 心臓血管外科

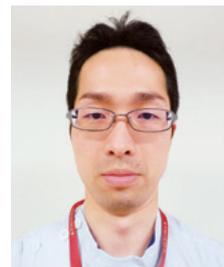
木下 武 (平成 16 年卒)

このたびご評価いただいた論文は大動脈弁二尖弁に対する弁置換術後の上行大動脈形態の経時的変化に関する研究成果で、2016年5月の日本循環器学会雑誌 (Valve Phenotype and Risk Factors of Aortic Dilatation After Aortic Valve Replacement in Japanese Patients With Bicuspid Aortic Valve. Kinoshita T, Naito S, Suzuki T, Asai T. Circ J. 2016 May 25; 80(6): 1356-61) に掲載された。

大動脈弁二尖弁とは、大動脈弁に存在する通常は3つの弁尖（開閉する部分。右冠尖・左冠尖・無冠尖の3つ）のうち2つが分離発育せず癒合する（Raphe という）、結果として開閉部分（弁尖）が2つになっている状態で、人口の約0.5-2.0%に合併する先天的な異常といわれている。開閉部分が2つしかないことで弁に過度な負担がかかることや、より高度な線維化のために大動脈弁の狭窄や逆流がより若い年代から起こり、通常よりも20歳も若い50、60歳代で手術が必要になることがある。治療の課題は術後20-30年間にわたる耐久性が期待できる弁置換を保證することと、高頻度に合併する上行大動脈拡大による血管イベントリスクを軽減することである。大動脈弁二尖弁の大動脈壁は嚢状中膜壊死を特徴としており、血管壁の脆弱性が強く致死的な大動脈解離を発症しやすいと報告されている。ガイドラインは手術時の上行大動脈径が45mm以上の場合に人工血管置換の併施を推奨しているが、若年発症の本疾患は術後の観察期間が長期に及ぶため、手術時に45mm未満だった症例が遠隔期に拡大を呈して問題になることがある。本研究は、当院で施行した大動脈弁二尖弁に対する弁置換症例のうち、上行大動脈が45mm未満であったため人工血管置換を施行しなかった症例を対象に上行大動脈の経時的な形態変化を追跡し、上行大動脈拡大と術前因子の関連性を特に弁尖の癒合部位（Raphe）に焦点を当て検証したものである。日本人を対象とした類似研究がこれまでほとんど存在していなかった点が査読委員に評価されたのだと考えている。

学術研究を取り巻く環境は年々厳しくなり、多忙な診療に日々追われる我々にとって、複雑化した倫理審査申請書の作成だけでも気が滅入りそうになる。夜な夜な電子カルテと睨めっこし病歴室に籠って何百例ものデータを収集することは臨床研究のほんのスタート地点に過ぎないが、やはり気の遠くなるような作業で、途中で何度も匙を投げたくなる。ようやくデータ解析まで辿りつき neues を見出せば幸運だが、英語に途方もない時間がかかる。1本目の英語原著論文には丸1年かかった。本数を増やすたびに効率は上がってきたように思うが、毎回同じように苦勞する。業績まとめで論文を振り返っていると、手法が下手だなと思うと同時に、その時の苦勞や生活環境が思い出されて不思議な気持ちになる。後輩たちに論文をどう教えれば良いか悩む日々である。

◎ 2017年度若手医師奨励賞受賞



独立行政法人地域医療推進機構 滋賀病院 外科

長澤 芳信 (平成 21 年卒)

この度は、若手医師奨励賞を受賞させていただき、誠にありがとうございます。このような栄えある賞をいただいたことを、誠に光栄に思っております。

今回受賞させていただいた Laparoscopic-endoscopic cooperative surgery for a duodenal neuroendocrine tumor: A case report は Asian Journal of Endoscopic Surgery に掲載されました。Laparoscopic-endoscopic cooperative surgery は消化管内視鏡観察下に、腹腔鏡手術を行い、適切な切除範囲を決定する術式です。胃の噴門部や十二指腸など、過大な切除により変形や狭窄が問題となる部位に用いられる術式です。私が東近江総合医療センターの在任時の際に経験した症例で、消化器内科の先生方と協力して手術を施行した1例を論文化したもので、当時十二指腸の神経内分泌腫瘍に対しての手術症例は希少でした。

遅筆であり、学会発表から論文化までに1年余りを要しました。論文化にあたりまして、谷 眞至先生・来見先生および諸先生方に懇切丁寧な御指導をいただき、何とか掲載までこぎつけることができました。今後はできる限り、学会発表から論文化までの期間をできる限り短くできるように精進したいと思っております。

繰り返しにはなりますが、このような大変名誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。この賞を励みに論文作成に勤しみたいと思います。今後とも御指導・御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

◎ 2017年度若手医師奨励賞受賞



滋賀医科大学 呼吸器外科

岡本 圭伍 (平成 21 年卒)

この度は、このような名誉ある賞を頂き誠にありがとうございます。私が今回の若手医師奨励賞を賜りましたことは、浅井先生、花岡先生をはじめとした大学の諸先生方、ならびに関連病院の先生方より日々ご指導頂きました結果であり、心より感謝申し上げます。

奨励賞でご評価頂いた論文は、“fimA II 型線毛を有する *Porphyromonas gingivalis* 肺化膿症の 1 切除例”です。

呼吸器外科では原発性肺がんを主に診療対象としており、多くの場合、手術前に確定診断が完了し、治療目的に手術を行います。しかしながら、まれに良性腫瘍や非腫瘍性病変が切除対象となることがあり、そのような病変に対しては、まずは診断を主とした手術を行い、術中所見をもって治療方針を決定していくこととなります。論文として投稿した症例も、手術前の時点で肺悪性腫瘍の可能性が高いと判断しておりましたが、術中所見が全くの想定外となり、手術中に困惑したことを覚えています。その後の追加検査でも診断病名のアウトラインがはっきりせず、病理部の先生や細菌検査部の技師の方々と討論を重ね、ようやく最終診断に至ることができました。これらの症例を経験することで、自分がまだまだ勉強不足であり、他分野との協力体勢の重要性を痛感し、その後の診療の糧にすることができました。

現代医療において、画像機器をはじめとした、様々な精度の高い検査手法が構築されていますが、それでもなお、古典的な手術所見は、眼前の病変を真の診断に近づけるための、最も重要なデータの一つです。そして、その情報に真っ先に直接触れることができるのが外科医としての面白さであり、研鑽を積んでいく理由になるのだと思います。

最後にはなりましたが、このような研究発表を行うことができることは、日々ご指導頂く先生方と共に働く同僚の先生方あってのことだと改めて感謝致します。書中をもって御礼申し上げます。

同 門 会 便 り

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. 医療法人社団昴会 東近江市立能登川病院 | 長谷川 均 |
| 2. 公益財団法人 がん研究会有明病院 | 山口 智弘 |
| 3. 社会医療法人誠光会 草津総合病院 | 白石昭一郎 |
| 4. 独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター | 尾崎 良智 |
| 5. 静岡県立静岡がんセンター | 新田 信人 |
| 6. 長浜赤十字病院 | 塩見 尚礼 |
| 7. 医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 | 平松 範彦 |
| 8. 医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院 | 一瀬増太郎 |

● 医療法人社団 昴会 東近江市立能登川病院

副院長 長谷川 均 (平成4年卒)

当院は人口約12万人の東近江市にあり、最寄りのJR能登川駅からの通勤も便利です。歴史は古く、1947年5月に国民健康保険組合直営病院として開設され、地域に根差した病院として住民と共に歩んできました。当初は京都大学の、1959年からは京都府立医大の、滋賀医科大学開学と共に滋賀医科大学外科学講座の医局員が常勤医師として歴任するようになりました。1995年4月に現在の猪子山の麓に移転新築(120床)され、2006年の市町村合併で「東近江市立能登川病院」となりました。そのころ外科医不在、手術のできない10年が始まり、2012年には常勤医師が内科系のみ5名となり病棟が1棟閉鎖となりました。膨大な累積赤字経営で病院の存続が極めて困難となりましたが、東近江医師会、市や県の行政、京都府立医大、滋賀医科大学、近隣の地域代表(能登川病院をよくする会)の方々のご尽力で、2015年4月1日医療法人社団 昴会指定管理のもと102床の一般急性期病院で運営存続となりました。同時に当時昴会日野記念病院副院長の内藤弘之先生が着任され、手術室のハード面、ソフト面での整備にご尽力され、ほぼ10年ぶりに全身麻酔下での手術が可能になりました。2017年4月には内藤先生の異動によって油木純一先生が、8月から長谷川が着任して少しずつ症例を増やし、2017年は年間79例まで回復しました。まだまだ胆石、ヘルニアが中心で胃癌3例、大腸癌5例と悪性疾患は少ないですが、全麻症例48例中、腹腔鏡下手術は28例あり、2018年3月にやっと腹腔鏡下手術機器を購入し、今後は腹腔鏡下症例を増やしていきたいと考えています。系列の昴会日野記念病院(仲成幸先生、東田宏明先生、児玉泰一先生)、湖東記念病院(籠洋三先生)の先生方と手術症例の検討や人材派遣をしております。患者様だけでなく外科医が移動して手術の指導、手伝い、若手の指導をしております。当院は、ほぼ10年外科手術をしていなかった期間があり、再び手術ができるようになったことを、地域住民や開業医へ周知を努めておりますので、今後件数が増えてくると見込んでいます。

私も当病院に就任して1年足らずとなりましたが、今後もベッドタウン能登川を中心とする東近江地域の地域医療に貢献できるよう、頑張っていきたいと考えております。外科同門会の先生方には、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



〒521-1223 滋賀県東近江市猪子町191 電話：0748-42-1333

● 公益財団法人 がん研究会有明病院

大腸外科副医長 山口 智弘 (平成12年卒)

同門会の先生方におかれましては益々ご健勝のことと拝察申し上げます。私は、滋賀医科大学附属病院での研修後、イオメディカル・イノベーションセンター特任教授 谷 徹先生のご厚意で、京都第一赤十字病院、国立がん研究センター中央病院で研修させていただきました。2010年からの8年間は静岡がんセンターにて、直腸癌に対するロボット手術を大腸外科全体で約650例行いました。2018年4月より、外科学講座（消化器・乳腺・一般外科）教授 谷 眞至先生のご厚意のもと、がん研究会有明病院（通称がん研）に赴任させていただきました。

がん研は、1908年（明治41年）に日本唯一のがん専門病院として発足しました。施設は第二次世界大戦の戦火に遭いましたが、再建され、長く大塚の地で日本のがんの研究と治療の指導的施設として活動を続けてきました。施設の老朽化にともない、2005年、有明に移転し、病院は病床数686の日本最大のがん専門施設として、最新のがん医療を提供してきました。2017年の大腸外科症例数は1097例、うち原発性大腸癌は735例でした。大腸外科の特徴は、術前化学（放射線）治療を併用した集学的治療を積極的に取り入れていることです。また、95%以上の症例に腹腔鏡下手術を行っています。

ロボット手術に関しましては、これまで、保険適応を認められた泌尿器科のみで行っていましたが、2018年4月に縦隔・肺・食道・胃・直腸・膀胱・子宮においても保険適応となりました。これに伴って、がん研はロボット手術を行う方向に方針転換いたしました。約1ヶ月の準備期間ののちに、2018年5月から大腸外科においてもロボット手術を開始いたしました。ロボット手術は、先端がよく曲がる鉗子、安定した3D高画質画像を使用し、3Dで見える人間の目と自由に曲げることができる人間の手で行っていた開腹手術を、腹腔鏡下で再現するものであり、難易度の高い直腸癌手術においての有用性が数多く報告されています。がん研の長い歴史の中で、新しい技術を導入できたことに大きな喜びを覚えます。将来のロボット手術の更なる普及は、がん研において手術の安全性と有用性が証明されることが重要な決め手になると思い、日々精進してまいりたいと思っております。

同門会の先生方には、日頃のご指導を感謝申し上げますとともに、今後とも、よろしくご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。



〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31（臨海副都心）

電話：03-3520-0111

● 社会医療法人誠光会 草津総合病院

心臓血管外科部長 白石 昭一郎 (昭和 60 年卒)

草津総合病院は 2005 年 4 月に新築移転し、13 年目を迎えました。当院は、平成 28 年度には、外来患者数 延べ 211,725 人/年、入院患者数 延べ 223,416 人/年、救急車搬送件数 3,031 件/年、手術件数 3542 件/年で、医師数約 100 名、病床数 719 床を有する湖南地域の中核病院として活躍しています。大学病院との連携とともに地域密着型病院として更に発展することを目指しています。

草津総合病院心臓血管外科は 2017 年 11 月より体制を一新し、滋賀医科大学心臓血管外科による全面的なバックアップの下、診療を再開しております。現在スタッフは、白石昭一郎（昭和 60 年卒）と森本政憲（平成 24 年卒）の 2 名体制で診療を行っております。

冠動脈バイパス手術や僧帽弁形成術をはじめとした心臓大血管手術、胸部・腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術、下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術など、あらゆる心臓血管疾患に対する外科治療が可能な体制を整えております。

当科では滋賀医科大学心臓血管外科の協力のもとに妥協のない最高水準の医療を提供すべく日々努力し、確実に完成度の高い手術を短時間で行い、手術翌日から積極的なリハビリを行うことで初めて可能になる Super Fast-Track Recovery（超早期回復管理）をすべての症例に導入し、術後 10 日から 2 週間での退院を可能にすべく、日々診療しております。麻酔科、手術室・病棟・ICU 看護師、理学療法士、検査技師、薬剤師、栄養科なども参加した週 1 回の術前カンファレンスで、症例の情報を共有しています。また、なによりも循環器内科との協力関係を構築すべく、毎日、心臓血管・心不全センターとして循環器内科・心臓血管外科のカンファレンスを行い、「ハートチーム」で、診療を行っております。循環器内科のご紹介により 2018 年 6 月までに 30 例の開心術を施行し良好な結果を得ることができております。

当院は、未だ一刻を争う救命救急手術に対して 24 時間 365 日体制でお受けする「No refusal policy」を行うには十分な体制ができておりません。こうした体制を整えるべく更なる努力を行う所存です。

今後も質的にも量的にも高度な手術を行っていくために、施設の更なる充実もさることながら、同門諸先生の御指導、御協力をいただき、各症例を大切に診療させていただくことが重要と考えております。今後とも宜しく願い申し上げます。



〒 525-8585 滋賀県草津市矢橋町 1660 電話：077-563-8866

● 独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター

外科診療部長・呼吸器外科 尾崎 良智 (平成7年卒)

2013年4月に新病棟開棟とともに、国立病院機構滋賀病院から東近江総合医療センターに生まれ変わって5年が経過しました。ハード面での整備は一段落したところで、現在は病院機能評価受審、地域包括ケア病棟設置など、病院自体のソフト面での充実が一層図られています。その一方で国立病院機構の赤字転落により新たな設備投資が困難となるなど、病院経営の健全化が一層求められているなかで、今後地域がん診療連携拠点病院の指定に向けた診療機能の充実や、基幹型臨床研修病院としての機能向上など、まだまだ地域の中核病院として果たさなければならない課題も多いのが現状です。

呼吸器外科は2000年12月開設以降、近隣医療機関のみなさまのご協力で、滋賀病院時代から当院においては中核診療科としての重責を担って参りました。現在常勤スタッフは井上修平(院長)、尾崎良智(外科診療部長)、大内政嗣(呼吸器外科・救急科医長)、苗村佑樹医師の4名体制です。2017年の入院患者数は594人で手術件数は158件でした。診療の中心は日本人の癌死因のトップを占める肺癌です。特に当科は呼吸器外科でありながら、地域のニーズに応えるべく、開設当初から肺癌に対する診断、治療を一貫として行ってきました。手術は2012年より完全鏡視下による胸腔鏡下肺葉切除術を導入。現在ではほぼ全ての肺癌根治手術は完全鏡視下で行われており、より低侵襲で安全な治療を提供しております。さらに診断においても超音波気管支鏡(EBUS)に加え、仮想気管支鏡画像によるナビゲーションシステムの導入によりさらなる診断率の向上に努めています。また近年、肺癌の薬物療法は目まぐるしく進歩し、進行肺癌患者さんの予後は数年前と比べても明らかに改善傾向にあります。全国的な新規肺癌治療の探索的な取り組みであるLC-SCRUM-JAPANへの参加など、常に最新の診断・治療を地域の患者さんに提供できることを目指し、地域において今後も呼吸器の専門科として貢献したいと考えております。



〒527-8505 滋賀県東近江市五智町255 電話：0748-22-3030

● 静岡県立静岡がんセンター

肝・胆・膵外科 **新田 信人** (平成 25 年卒)

静岡県立静岡がんセンターは富士の裾野に位置し、富士山の四季を感じつつ、働いています。当院は「がんを上手に治す」「患者さんと家族を徹底支援する」「成長と進化を継続する」を理念として掲げ、医療に取り組んでいます。私の所属する肝・胆・膵外科では約 180 例の肝切除、約 100 例の膵頭十二指腸切除術をはじめとして、年間約 400 例の手術を行い、毎日のように肝胆膵領域の手術を経験することができます。執刀の機会はなかなかありませんが、スタッフの先生方の多くが肝胆膵外科高度技能指導医であり、洗練された手技・豊富な知識に触れることで、外科医としての実力の向上が得られます。症例が多い分、とてもハードワークですが、全国から集まった優秀な仲間と競い・支えあいながら、日々研鑽にはげんでいます。がんセンターでは、全国の様々な医師と出会い、考えを共有することができ、今後の外科医人生において、重要な糧になると考えています。静岡がんセンターは他領域の外科や内科も全国トップクラスです。私は肝・胆・膵外科レジデントとして働いていますが、食道外科・胃外科や大腸外科といった他科のローテーションも可能であり、肝・胆・膵領域にとどまらず、多くのことを学ぶことができることも魅力です。また臨床だけでなく、学術的活動にも非常に積極的であり、スタッフの先生方の指導の下、学会発表・論文作成に励んでいます。非常に中身の濃い研修を行うことができ、外科医として成長できる大きなチャンスであると感じています。



〒 411-8777 静岡県駿東郡長泉町下長窪 1007 電話：055-989-5222

● 長浜赤十字病院

副院長 塩見 尚礼 (平成3年卒)

長浜赤十字病院は長浜市旧市街地にあり、大学からは高速を使って約1時間、80kmの距離にあります。人口約16万人の滋賀県湖北医療圏（長浜市と米原市）にある504床（一般病床430床、精神病床70床、感染症病床4床）の基幹病院です。スタッフは滋賀医大出身の5名、福井大学から3名に加えて2018年より滋賀医大から後期研修医を1人派遣していただき、総勢10名で通常外科診療のみならず救命センター、腎透析センターを切り盛りしています。

2017年に手術室で施行した手術件数は1042例で、うち全身麻酔手術は693件、鏡視下手術は377件でした。内訳は胃癌切除59例（うち腹腔鏡下22例）、大腸癌切除114例（同70例）、肝切除20例（同8例）、膵切除21例（同1例）、乳癌手術41例、胆嚢摘出術142例（同123例）、虫垂切除術75例（同52例）、成人ヘルニア手術112例（同51例）、小児ヘルニア8例、肛門手術101例でした。鏡視下手術にも力を入れており、若い外科医が研鑽を積むのに十分な症例数があると思います。さらに2018年よりロボット支援下胃切除、直腸切除の導入を行う予定です。癌領域では滋賀県地域がん診療連携支援病院として、質の高いがん治療を行うだけでなく、緩和ケアチーム、緩和ケア外来、癌地域連携クリニカルパスの運用、カンサーボードの開催などに関与しています。

当院の他の特色として救急医療、災害医療が挙げられます。3次救急病院として救命救急センターでは年間患者総数2万4千人、ヘリコプターも含めた救急車両搬入4千件を「断らない救急医療」をモットーに対応しており、南は彦根市、西は高島市からも患者が搬送されてきます。「災害医療の日赤」と言われる通り、地域災害医療センター、原子力災害拠点病院（基幹病院）としてDMAT、日赤救護班を組織しており、大阪北部地震、米原市竜巻災害にもチームを派遣いたしました。また年に1回、大規模災害訓練を病院あげて行っており、起こるかもしれない災害に備えています。

長浜市は羽柴秀吉が初めて築城した長浜城の城下町として整備され、近くに姉川古戦場、石田三成の生誕地の石田町、鉄砲生産地の国友町など戦国時代の歴史の史跡の多いところです。



是非一度、足をお運びください。そして一緒に働いていただける先生が増えることを切望しております。

● 医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院

心臓血管外科 平松 範彦 (平成 16 年卒)

岸和田徳洲会病院は昭和 52 年に徳洲会グループの 3 番目の病院として開設され、以来 40 年にわたり、南大阪、特に泉州北部の中核病院として、地域の医療を支えてきた病院です。

2002 年 10 月に現在地に移転となった後も、2006 年 PET センター開設、2012 年には DPC II 群病院に指定、救命救急センター（三次救急医療機関）に認定、2013 年に内視鏡手術支援ロボットシステム ダヴィンチ (da Vinci Si) を設置、2014 年に手術室と心・脳血管 X 線撮影装置を組み合わせたハイブリッド手術室を増設、2015 年に屋上にヘリポート設置、2016 年に災害拠点病院に指定、DMAT 隊が組織されるなど、日々機能の拡充が行われ、2018 年 4 月現在で病床数 341 床ですが、民間病院ながら DPC 特定病院群に指定されるなど、高度な診療内容を地域に提供し続けています。

心臓血管外科は、東上震一院長、畔柳智司主任部長をはじめとし、この 4 月から着任した 3 名を含めて現在 9 名のスタッフで診療を行っています。心臓血管外科の手術件数は全国でも有数の件数を誇り、2016 年度は心臓・胸部大血管手術 546 例（急性大動脈解離 39 例）、腹部大動脈手術 115 例、末梢血管 62 例など、総手術件数は 729 例でした。胸部ステントグラフト治療 (TEVAR) が 62 例、腹部ステントグラフト (EVAR) が 87 例あり、腹部大動脈瘤の手術は 76% で EVAR が選択されているほか、上記手術件数には入っていない循環器内科で行っている経カテーテル的大動脈弁置換 (TAVR) も 51 例あり、低侵襲の治療法を積極的に導入するなど、患者にとってより良い治療が選択できるよう、スタッフ一同、日々努力しております。

また、2014 年から近隣の公立病院であった、和泉市立病院の指定管理者に徳洲会がなったことで、連携を取りながら地域の診療に貢献を図っています。さらに、2018 年 4 月に和泉市立総合医療センターが新築移転するのに合わせ、心臓血管外科が開設され、そちらにもスタッフを派遣しており、現在のところ、外来診療のみですが、近いうちに心臓血管外科手術を行えるよう体制づくりを行っています。

私自身もこの素晴らしい心臓血管外科チームの一員として、微力ながら貢献していきたいと考えております。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



● 医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院

呼吸器外科部長 一瀬 増太郎 (平成元年卒)

京都市山科区にある洛和会音羽病院は、総病床数 548 床、地域医療の中核となる急性期病院です。名神高速道路の京都東 IC のおとなりで、国道一号線にも面した交通至便な場所に立地していますので、ご存じの方も多いかもかもしれません。「医療」だけでなく、「介護」、「健康・保育」、「教育・研究」の分野を約 170 施設でカバーするグループ、「洛和会ヘルスケアシステム」の中核をなす病院です。「洛和会」の規模は年々大きくなっており、洛和会音羽病院のほか、洛和会丸太町病院、洛和会音羽記念病院、洛和会音羽リハビリテーション病院、洛和会東寺南病院と 5 つの病院を有するまでになりました。その中で当院は救命救急センターを有し、京都府災害拠点病院、地域医療支援病院、京都府がん診療推進病院の指定を受けており、山科区だけでなく、お隣の伏見区や滋賀県大津市の一部も含む広いエリアをカバーして診療しています。中でも救命救急センターでは「断らない救急」を旗印に、多くの救急患者を受け入れ、京都市の救急医療に大きく貢献しています。残念ながら放送は終了してしまいましたが、医学生と研修医が出演にあこがれていた NHK の人気番組「総合診療医ドクター G」は、洛和会の松村理司総長の監修で制作され、当院からも指導医や研修医がたびたび出演していました。一流の総合内科医を目指す若手医師が全国から多数集まっており、初期研修病院としても全国的に高い人気があり、北は北海道から南は鹿児島まで、本当に日本全国から優秀な若手医師が集まる、活気にあふれた病院です。今春、大学病院に準じた診療機能を有する病院として、DPC 特定病院群に認定され、高度急性期病院を目指して邁進しています。

呼吸器外科は、滋賀医大から派遣された 2 名体制で診療を行っています。高度急性期病院として当院が目指す悪性腫瘍に対する手術増加に貢献できるよう、呼吸器内科と密に連携しつつ、肺癌患者を中心に診断・治療にあたっています。この数年、70 例前後で推移している手術症例を少しでも増やし、地域の医療に貢献できるように対応していきます。



〒 607-8062 京都市山科区音羽珍事町 2 電話：075-593-4111

● 新入会員紹介

消化器・乳腺・一般外科



全 有美

出身大学：福井大学
(平成 27 年度卒)

滋賀医科大学での初期研修の後に、消化器外科で大変お世話になっております。まだまだ未熟者ですが、一人ひとりの患者様と真摯に向き合っていきたいと思っています。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

形成外科、乳腺・一般外科兼務



島田 加奈

出身大学：滋賀医科大学
(平成 27 年卒)

平成 27 年に滋賀医科大学を卒業し、形成外科に入局しました島田加奈と申します。形成外科は出来たばかりで暗中模索の日々ですが、外科学講座の先生方のお力添えのもと、日々研修させて頂いています。これからもご指導ご鞭撻の程よろしくようお願い申し上げます。

教室業績

滋賀医科大学外科学講座（消化器・乳腺・一般外科）

【論文発表】

〈英文学術論文〉

Tanaka A, Yamada A, Umeda T, Kaneko C, Shimizu T, Naka S, Tani T, Tani M.

Predictive detection areas for identifying additional MRI-detected breast lesions on second-look ultrasonography. *Surg Today*. 47(11): 1321-1330, 2017

Inoue A, Ohta S, Nitta N, Yoshimura M, Shimizu T, Tani M, Kushima R, Murata K.

Utility of MR imaging in the evaluation of colon cancer: emphasis on distinguishing tumor tissue from fibrosis and role of contrast media.

Jpn J Radiol. 35(7): 406-407, 2017

Nishida A, Inatomi O, Fujimoto T, Imaeda H, Tani M, Andoh A.

Interleukin-36 α Induces Inflammatory Mediators From Human Pancreatic Myofibroblasts Via a MyD88 Dependent Pathway.

Jpn J Radiol. 35(7): 406-407, 2017

Maehira H, Kawasaki M, Itoh A, Ogawa M, Mizumura N, Toyoda S, Okumura S, Kameyama M.

Prediction of difficult laparoscopic cholecystectomy for acute cholecystitis.

J Surg Res. 216: 143-148, 2017

Mori H, Iida H, Maehira H, Kitamura N, Shimizu T, Tani M.

Synchronous primary gallbladder and pancreatic cancer associated with congenital biliary dilatation and pancreaticobiliary maljunction.

Surg Case Rep. 3(1): 113, 2017

Murata S, Yamamoto H, Naitoh H, Yamaguchi T, Kaida S, Shimizu T, Shiomi H, Naka S, Tani T, Tani M.

Feasibility and safety of hyperthermic intraperitoneal chemotherapy using 5-fluorouracil combined with cisplatin and mitomycin C in patients undergoing gastrectomy for advanced gastric cancer.

J Surg Oncol. 116(8): 1159-1165, 2017

Pham Minh N, Murata S, Kitamura N, Ueki T, Kojima M, Miyake T, Takebayashi K, Kodama H, Mekata E, Tani M. In vivo antitumor function of tumor antigen-specific CTLs generated in the presence of OX40 co-stimulation in vitro.

Int J Cancer. 142(11): 2335-2343, 2018

Inoue A, Furukawa A, Yamamoto H, Ohta S, Linh NDH, Syerikjan T, Kaida S, Yamaguchi T, Murata S, Obata T, Tani M, Murata K.

Acceleration of small bowel motility after oral administration of dai-kenchu-to (TJ-100) assessed by cine magnetic resonance imaging.

PLoS One. 13(1): e0191044, 2018

Naitoh T, Kasama K, Seki Y, Ohta M, Oshiro T, Sasaki A, Miyazaki Y, Yamaguchi T, Hayashi H, Imoto H, Tanaka N, Unno M.

Efficacy of Sleeve Gastrectomy with Duodenal-jejunal Bypass for the Treatment of Obese Severe Diabetes Patients in Japan: a Retrospective Multicenter Study.

Obes Surg. 28(2): 497-505, 2018

Murata S, Yamamoto H, Shimizu T, Naitoh H, Yamaguchi T, Kaida S, Takebayashi K, Miyake T, Tani T, Tani M.

5-fluorouracil combined with cisplatin and mitomycin C as an optimized regimen for hyperthermic intraperitoneal chemotherapy in gastric cancer.

J Surg Oncol. 117(4): 671-677, 2018

〈和文学術論文〉

清水智治, 三宅 亨, 北村直美, 小幡 徹, 谷 眞至

肺血症診断におけるエンドトキシンとプロカルシトニンの臨床意義

日本外科感染症学会雑誌 14(2): 101-110, 2017

前平博充, 川崎誠康, 奥村 哲, 豊田 翔, 革島洋志, 山本堪介, 水村直人, 伊藤 文, 今川敦夫, 小川雅生, 吉村道子
経鼻イレウス管による腸重積整復後に腹腔鏡補助下に切除した切除した小腸癌の1例

日本消化器外科学会誌 50(4): 311-316, 2017

前平博充, 塩見尚礼, 村上耕一郎, 北村直美, 飯田洋也, 赤堀浩也, 新田信人, 生田大二, 貝田佐知子, 三宅 亨,
山口 剛, 清水智治, 仲 成幸, 石田光明, 谷 眞至

狭窄部背側にリンパ節様の結節を認めた良性胆管狭窄1例

滋賀医大誌 30(1): 1-5, 2017

生田大二, 西村彰一, 園田寛道, 清水智治, 渡邊信介, 谷 眞至

腹腔鏡下大腸癌手術に日本内視鏡外科学会技術認定医の指導が及ぼす影響

滋賀医科大学雑誌 30(1): 18-21, 2017

村本圭史, 三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 貝田佐知子, 山口 剛, 飯田洋也, 谷 眞至

超高齢者の胃潰瘍による穿孔性腹膜炎に対し, 腹腔鏡下大網充填術を行った1例

滋賀医科大学雑誌 30(1): 55-59, 2017

徳田 彩, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 園田寛道, 飯田洋也, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 大田信一,
新田哲久, 谷 眞至

回収可能型下大静脈フィルターが抜去不能になった大腸癌術後静脈血栓塞栓症の1例

滋賀医科大学雑誌 30(1): 72-75, 2017

太田裕之(滋賀医科大学 総合外科学講座), 園田寛道, 清水智治, 水流輝彦, 吉田哲也, 西田将成, 成田充弘,
河内明宏, 植木智之, 三宅 亨, 生田大二, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至

直腸脱を合併した骨盤臓器脱(陰断端脱, 直腸瘤)に対して一期的に腹腔鏡下仙骨陰固定術および直腸固定術を施行した1例

滋賀医科大学雑誌 30(1): 76-80, 2017

森 治樹, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 飯田洋也, 山口 剛, 貝田佐知子, 谷 眞至

食道胃接合部癌術後にイレウスを契機に発見された転移性大腸癌の1例

滋賀医科大学雑誌 30(1): 81-84, 2017

北村美奈, 森 毅, 梅田朋子, 河合由紀, 冨田 香, 清水智治, 谷 眞至

乳腺アポクリン癌15例の臨床病理学的検討

滋賀医科大学雑誌 30(1): 85-89, 2017

貝田佐知子, 山口 剛, 伴 宏充, 大竹玲子, 竹林克士, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 赤堀浩也, 園田寛道,
清水智治, 仲 成幸, 杉本光繁, 安藤 朗, 谷 眞至

腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)を施行した胃粘膜下腫瘍5症例の初期成績

滋賀医科大学雑誌 30(1): 90-92, 2017

貝田佐知子, 山口 剛, 伴 宏充, 大竹玲子, 竹林克士, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 赤堀浩也, 園田寛道,
清水智治, 仲 成幸, 杉本光繁, 安藤 朗, 谷 眞至

腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)を施行した胃粘膜下腫瘍5症例の初期成績

滋賀医科大学雑誌 30(1): 90-92, 2017

大竹玲子, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 村田 聡, 清水智治, 仲 成幸, 中多祐介, 大脇成広, 桑原理充,
清水猛史, 谷 眞至

当院の下咽頭喉頭食道切除術における遊離空腸再建24症例の検討

滋賀医科大学雑誌 30(1): 97-101, 2017

竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 村田 聡, 大竹玲子, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 飯田洋也, 北村直美, 仲 成幸, 太田裕之, 一瀬真澄, 東田宏明, 中村一郎, 川崎誠康, 小林知恵, 井内武和, 熊野公東, 佐藤浩一郎, 横田 徹, 長谷川 均, 若林正人, 八木俊和, 藤田益嗣, 林 直樹, 龍田 健, 谷 眞至
滋賀医科大学外科の関連病院における食道癌手術の現況 アンケート結果報告
滋賀医科大学雑誌 30(1): 116-118, 2017

赤堀浩也, 飯田洋也, 北村直美, 清水智治, 仲 成幸, 稲富 理, 馬場重樹, 安藤 朗, 九嶋亮治, 谷 眞至
当院での膣手術症例における術前細胞診・組織診の現状
滋賀医科大学雑誌 30(1): 119-123, 2017

森 毅, 清水智治, 寺田好孝, 加藤久尚, 坂井幸子, 竹林克士, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 山口 剛, 園田寛道, 来見良誠, 花澤一芳, 谷 眞至
滋賀ヘルニア研究会のあゆみ(解説)
滋賀医科大学雑誌 30(1): 46-49, 2017

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 三宅 亨, 植木智之, 貝田佐知子, 飯田洋也, 赤堀浩也, 山口 剛, 森 毅, 谷 眞至
当院における内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)を用いた腹腔鏡下結腸・直腸切除術の有用性と安全性の検討
滋賀医科大学雑誌 30(1): 93-96, 2017

寺田好孝, 森 毅, 北村美奈, 富田 香, 河合由紀, 加藤久尚, 坂井幸子, 梅田朋子, 竹林克士, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
当院における80歳以上の高齢者乳癌手術症例の検討
滋賀医科大学雑誌 30(1): 42-45, 2017

徳田 彩(日野記念病院 外科), 内藤弘之, 東田宏明, 向所賢一, 花澤一芳
治癒切除術後6年が経過して肝転移を来した内分泌細胞への分化を伴うStage I大腸癌の1例
滋賀医科大学雑誌 30(1): 22-26, 2017

三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 谷 眞至
I.潰瘍性大腸炎 8)潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡手術
手術 71(7): 991-998, 2017

太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 谷 眞至
腹腔鏡下横行結腸切除術後12日目に腹腔内出血をきたした1例
日本腹部救急医学会雑誌 37(5): 759-761, 2017

村田 聡, 谷 眞至
I.総論 2.腹腔内遊離癌細胞の検出
外科 79(10): 907-914, 2017

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 竹林克士, 三宅 亨, 植木智之, 赤堀浩也, 北村直美, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
術中ICG蛍光法で腸管血流を客観的に評価し, 腸管を温存しえた絞扼性イレウスの1例
日本腹部救急医学会雑誌 (1340-2242)37(7): 1023-1026, 2017

徳田 彩, 清水智治, 東田宏明, 花澤一芳, 三宅 亨, 谷 眞至
92歳超高齢者の落下胃石による腸閉塞の1例
滋賀医科大学雑誌 30(1): 116-118, 2017

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 竹林克士, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
胃癌穿孔症例の検討
癌と化学療法 44(12): 1188-1190, 2017

寺田好孝, 園田寛道, 三宅 亨, 清水智治, 植木智之, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 北村直美, 飯田洋也, 赤堀浩也, 森 毅, 谷 眞至
繰り返す腹膜播種再発に対して播種巣切除を繰り返すことにより長期生存が得られている小腸GISTの1例
癌と化学療法 44(12): 1521-1522, 2017

村本圭史, 三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 寺田好孝, 森 治樹, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
術前化学療法を行った同時性4重複癌(胃癌, 大腸癌, 肺癌, 前立腺癌)の1例
癌と化学療法 44(12): 1871-1873, 2017

寺田好孝, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 清水智治, 谷 眞至
心身障害者のCrohn病・回盲部膿瘍に腹腔鏡下回盲部切除術を行った1例
日本外科系連合学会誌 42(6): 946-951, 2017

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 谷 眞至
保存的加療により軽快した魚骨穿通による限局性腹膜炎の2例
日本腹部救急医学会雑誌 38(1): 149-152, 2018

山口 剛, 谷 眞至
外科治療による2型糖尿病治療 糖尿病療養指導のためのDM
Ensemble 4(6), 2017

谷 眞至, 飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 森 治樹
広範囲伸展を伴う下部胆管癌に対する臍頭十二指腸切除術
消化器外科 41(2): 125-135, 2017

全 有美, 貝田佐知子, 竹林克士, 山口 剛, 村田 聡, 寺田好孝, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 赤堀浩也, 北村直美, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
術前化学療法中に胃癌穿孔を来し二期的に根治切除し得た進行胃癌の1例
癌と化学療法 45(2): 377-379, 2018

【国際学会】

Mori T, Tomida K, Kitamura M, Sakai S, Kawai Y, Shimizu T, Umeda T, Ueki T, Kaida S, Miyake T, Iida H, Akabori H, Kitamura N, Yamaguchi T, Sonoda H, Naka S, Tani M.
Magnetic resonance imaging shrinkage patterns after neoadjuvant chemotherapy for breast carcinomas. Correlation with molecular subtypes, American Association for Cancer Research(AACR) Annual Meeting, 2017, Washington D, C. Washington Convention Center 2017.4.

Tani M.
Breaking through the potential of surgery with all Japan made microwave energy device, "Acrosurg".
Joint Congress of The 6th Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association & The 29th Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, 2017, Yokohama

Mori H, Tani M, Iida H, Maehira H, Akahori H, Kitamura N, Shimizu T, Sonoda H, Miyake T, Yamaguchi T, Naka S.
Significance of muscle mass decreasing on prognosis after pancreatic cancer surgery.
Joint Congress of The 6th Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association & The 29th Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, 2017, Yokohama

Naka S, Tani T, Dang TK, Tani S, Yamada A, Murakami K, Maehira H, Iida H, Akabori H, Kitamura N, Tani T.
Microwave Surgical Device "Acrosurg." is a Cutting-Edge Technology of Liver Resection Surgery.
Joint Congress of The 6th Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association & The 29th Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, 2017, Yokohama

Akabori H, Tani T, Iida H, Kitamura N, Nitta N, Naka S, Maehira H, Shimizu T, Miyake T.
 Perioperative tight glycemetic control using an artificial pancreas is useful for pancreatectomized patient with impaired glucose tolerance.

Joint Congress of The 6th Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association & The 29th Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, 2017, Yokohama

Iida H, Tani T, Maehira H, Akabori H, Kitamura N, Mori H, Shimizu T, Sonoda H, Miyake T, Kaida S, Naka S.
 Significance of serum procalcitonin after pancreaticoduodenectomy as early prediction of postoperative infectious complications.

Joint Congress of The 6th Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association & The 29th Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, 2017, Yokohama

Maehira H, Iida H, Akabori H, Kitamura N, Shimizu T, Sonoda H, Miyake T, Mori H, Kaida S, Naka S, Tani T.
 Use of computed tomography for prediction of postoperative pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy.

Joint Congress of The 6th Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association & The 29th Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, 2017, Yokohama

Ngoc M, Pham, Murata S, Kitamura N, Ueki T, Kojima M, Miyake T, Takebayashi K, Kodama H, Y Kawai, Daigo Y, Mekata E, Tani M.

Immunological activities of adoptively transferred tumor antigen-specific CTLs costimulated with OX40 signaling in vitro.

The 76th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, 2017, Yokohama

Shimizu T.

Prognosis in patients with colorectal perforation according to new sepsis definition (SEPSIS-3).

21st Asian Congress of Surgery, 2017, Tokyo

Yamaguchi T.

Outcome of laparoscopic sleeve gastrectomy for morbid obesity and type 2 diabetes.

21st Asian Congress of Surgery, 2017, Tokyo

【全国学会・研究会】

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 竹林克士, 村田 聡, 山本 寛, 寺田好孝, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 赤堀浩也, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至

上部消化管穿孔に対する治療法の検討

第103回 日本消化器病学会総会, 2017年4月, 東京

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 谷 眞至

悪性疾患との鑑別が困難であったIgG4関連腸間膜脂肪織炎と考えられた一例

第103回 日本消化器病学会総会, 2017年4月, 東京

油木純一, 森 毅, 清水智治, 河合由紀, 坂井幸子, 富田 香, 園田寛道, 飯田洋也, 貝田佐知子, 谷 眞至

滋賀県におけるAYA 世代の鼠径ヘルニアの現状

第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

梅田朋子, 石田光明, 森 毅, 河合由紀, 富田 香, 坂井幸子, 加藤久尚, 田中彰恵, 北村美奈, 清水智治, 村田 聡, 仲 成幸, 九嶋亮二, 谷 眞至

CD44s, CD44v6, CD44v9 とxCT の発現の相関

第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

生田大二, 三宅 亨, 徳田 彩, 植木智之, 貝田佐知子, 飯田洋也, 北村直美, 赤堀浩也, 山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 仲 幸, 谷 眞至

ヒト大腸癌の組織型と線維化の関連性の検討

第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

徳田 彩, 三宅 亨, 生田大二, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 飯田洋也, 貝田佐知子, 山口 剛, 谷 眞至
大腸癌における上皮間葉系転換(EMT)の臨床的意義
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

山本 寛, 小座本雄軌, 戸川 剛, 野口耕右, 一瀬真澄, 高尾信行, 水本明良, 平野正満, 貝田佐知子, 山口 剛,
谷 眞至
スリーブ状胃切除と術前フォーミュラ食による減量・糖尿病改善効果と腸内細菌叢の変化
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

村田 聡, 児玉泰一, 貝田佐知子, 山本 寛, 山口 剛, 竹林克士, 大竹玲子, 三宅 亨, 北村直美, 植木智之, 赤堀浩也,
飯田洋也, 森 毅, 河合由紀, 坂井幸子, 加藤久尚, 生田大二, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
胃癌術後再発予防としての術中腹腔内温熱化学療法の評価
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

前平博充, 飯田洋也, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 北村直美, 仲 成幸, 竹林克士, 貝田佐知子, 三宅 亨, 村上耕一郎,
山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
CT 画像による膵頭十二指腸切除後膵液瘻の予知可能性
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 竹林克士, 村田 聡, 山本 寛, 坂井幸子, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也,
北村直美, 赤堀浩也, 園田寛道, 森 毅, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
腹腔鏡下胃切除術後膵液瘻に対するドレーンアミラーゼ値の測定意義
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 瀬戸山 博, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当科におけるMSI 検査を施行した大腸癌症例の検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

森 毅, 清水智治, 油木純一, 下松谷 匠, 丹後泰久, 原田英樹, 山本道宏, 安田誠一, 神田雄史, 増山 守,
吉川 明, 西村彰一, 八木俊和, 内藤弘之, 葛本慶裕, 平野正満, 来見良誠, 花澤一芳, 谷 眞至
滋賀ヘルニア研究会における鏡視下手術症例の検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

植木智之, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 赤堀浩也, 山口 剛, 森 毅,
太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
腹部CT 画像を利用した腹腔鏡下結腸切除術における手術時間に影響を与える指標の検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

北村直美, 飯田洋也, 赤堀浩也, 貝田佐知子, 植木智之, 三宅 亨, 園田寛道, 山口 剛, 清水智治, 仲 成幸,
谷 眞至, 田畑貴久, 藤野和典, 江口 豊
当院における急性胆嚢炎に対する治療の検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

全 有美, 飯田洋也, 赤堀浩也, 北村直美, 仲 成幸, 園田寛道, 三宅 亨, 山口 剛, 清水智治, 九嶋亮治, 谷 眞至
術後早期に転移再発を認めた小型肉腫様肝細胞癌の1 例
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 竹林克士, 大竹玲子, 村田 聡, 油木純一, 新田信人, 寺田好孝, 植木智之, 三宅 亨,
坂井幸子, 飯田洋也, 河合由紀, 北村直美, 赤堀浩也, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
肥満外科死亡リスクスコアと胃バイパスリスクスコアを用いた当院における腹腔鏡下肥満外科症例の検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 山口 剛, 貝田佐知子, 北村直美, 飯田洋也, 江口 豊, 遠藤善裕, 谷 眞至
大腸穿孔症例での周術期血中Lactate 値測定の意義
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

竹林克士, 村田 聡, 貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 北村直美, 赤堀浩也, 森 毅, 油木純一, 寺田好孝, 生田大二, 仲 成幸, 谷 眞至
胃切除後腹腔内洗浄液中の癌特異的遺伝子検出の臨床的意義
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

仲 成幸, 山田篤史, 谷 総一郎, 村上耕一郎, 飯田洋也, 赤堀浩也, 森川茂廣, 谷 眞至, 谷 徹
高磁場MRI 対応電子内視鏡によるMR 画像誘導手術システムの開発
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

塩見尚礼, 後藤彰彦, 高井由佳, 村上耕一郎, 太田裕之, 清水智治, 仲 成幸, 濱田泰以, 谷 眞至
眼球運動解析を取り入れた腹腔鏡下手術の新しい教育方法
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 赤堀浩也, 山口 剛, 森 毅, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
当科における下部直腸癌に対するISR の治療成績と肛門機能
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

寺田好孝, 森 毅, 北村美奈, 富田香, 河合由紀, 加藤久尚, 坂井幸子, 梅田朋子, 竹林克士, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
当院における80 歳以上の高齢者乳癌手術症例の検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

水間正道, 海野倫明, 伊佐地秀司, 五十嵐久人, 糸井隆夫, 江川新一, 児玉裕三, 里井壯平, 濱田 晋, 水元一博, 岸和田昌之, 北川裕久, 高折恭一, 谷 眞至, 羽鳥 隆, 藤井 努, 村上義昭, 山口幸二, 吉富秀幸, 岡崎 和
膵癌登録における膵癌リンパ節転移個数の予後解析膵癌取扱い規約改訂におけるビッグデータ利活用
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

坂井幸子, 加藤久尚, 久保田良浩, 富田 香, 貝田佐知子, 飯田洋也, 河合由紀, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
一地方大学病院における超低出生体重児の手術成績についての検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

赤堀浩也, 飯田洋也, 北村直美, 油木純一, 寺田好孝, 大竹玲子, 竹林克士, 植木智之, 三宅 亨, 貝田佐知子, 山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 仲 成幸, 谷 眞至
当科における膵原発悪性腫瘍に対する膵全摘術の検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

飯田洋也, 谷 眞至, 赤堀浩也, 北村直美, 前平博充, 清水智治, 三宅 亨, 園田寛道, 貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 仲 成幸
膵がん術後に筋肉量の低下が予後に与える影響
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

加藤久尚, 坂井幸子, 久保田良浩, 森 毅, 清水智治, 谷 眞至
当科における先天性腹壁異常手術症例の検討
第54回 日本小児外科学会学術集会, 2017年5月, 仙台

坂井幸子, 加藤久尚, 久保田良浩, 森 毅, 清水智治, 谷 眞至
多発消化管穿孔術後にミルクアレルギーと腸内細菌増殖症を合併した超低出生体重児の1 例
第54回 日本小児外科学会学術集会, 2017年5月, 仙台

村田 聡, 糸井尚子, 梅田朋子, 石田光明, 河合由紀, 森 毅, 富田 香, 北村直美, 北村美奈, 田中彰恵, Pham Minh Ngoc, 清水智治, 九嶋亮治, 谷 眞至
Trastuzumabによる乳癌局所微小環境への細胞性免疫の誘導
第38回 癌免疫外科研究会, 2017年5月, 倉敷

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 森 治樹, 谷 眞至
後腹膜原発脂肪肉腫に対する腹腔鏡手術の経験
第71回 手術手技研究会, 2017年5月, 名古屋

竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 清水智治, 谷 眞至
胃癌根治切除における術中癌細胞散布と腹膜再発の関連性
第26回 日本癌病態治療研究会, 2017年6月, 横浜

森 毅, 清水智治, 東田宏明, 丹後泰久, 安田誠一, 一瀬真澄, 八木俊和, 西村彰一, 原田秀樹, 平野正満,
神田雄史, 来見良誠, 谷 眞至
滋賀ヘルニア研究会における抗血栓療法施行症例の鼠径ヘルニア手術の検討
第15回 日本ヘルニア学会学術集会, 2017年6月, 東京

飯田洋也, 仲 成幸, 前平博充
3cm³以内の大腸癌肝転移に対する切除とAblation療法の比較
第53回 日本肝臓学会総会, 2017年6月, 広島

竹林克士, 村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 大竹玲子, 児玉泰一, 三宅 亨, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至
食道癌手術中に胸腔内で検出された遊離癌細胞の臨床的意義
第71回 日本食道学会学術集会, 2017年6月, 軽井沢

竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 大竹玲子, 村田 聡, 児玉泰一, 三宅 亨, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至
LSBE に発生したBarrett 食道腺癌の1切除例
第71回 日本食道学会学術集会, 2017年6月, 軽井沢

村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 大竹玲子, 児玉泰一, 三宅 亨, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至
食道癌術後乳糜胸に対する, 胸腔鏡とICG 蛍光造影法を利用した手術治療
第71回 日本食道学会学術集会, 2017年6月, 軽井沢

山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 大竹玲子, 苗村 智, 森谷鈴子, 清水智治, 九嶋亮治, 目片英治, 谷 眞至
食道接合部MANEC の1 例
第71回 日本食道学会学術集会, 2017年6月, 軽井沢

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 竹林克士, 園田明永, 大田信一, 三宅 亨, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至
経皮的ドレナージで治癒しえた魚骨による食道穿孔・傍食道膿瘍の1 例
第71回 日本食道学会学術集会, 2017年6月, 軽井沢

大竹玲子, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 清水智治, 中多祐介, 大脇成広, 桑原理充, 清水猛史, 谷 眞至
当院における遊離空腸再建の検討: 咽頭空腸吻合での端端吻合と端側吻合の比較
第71回 日本食道学会学術集会, 2017年6月, 軽井沢

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 竹林克士, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 北村直美, 赤堀浩也, 園田寛道,
森 毅, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
胃癌穿孔症例の検討
第39回 日本癌局所療法研究会, 2017年6月, 京都

寺田好孝, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 清水智治, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 北村直美, 飯田洋也,
赤堀浩也, 森 毅, 谷 眞至
繰り返す再発に対し腫瘍切除を行い長期生存が得られている小腸GIST の1例
第39回 日本癌局所療法研究会, 2017年6月, 京都

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 森 治樹, 寺田好孝, 大竹玲子, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也,
赤堀浩也, 山口 剛, 仲 成幸, 伴 宏充, 谷 眞至
放射線誘発と考えられた大腸癌に対し, ESD と経肛門式内視鏡下手術で治療し得た1例
第39回 日本癌局所療法研究会, 2017年6月, 京都

村本圭史, 三宅 亨, 森 治樹, 清水智治, 山口 剛, 貝田佐知子, 園田寛道, 植木智之, 飯田洋也, 北村直美, 大竹玲子, 竹林克士, 前平博充, 寺田好孝, 大塚武人, 谷 眞至
術前化学療法を行った同時性4重複悪性腫瘍(胃癌, 大腸癌, 肺癌, 前立腺癌)の一例
第39回 日本癌局所療法研究会, 2017年6月, 京都

前川 毅, 飯田洋也, 北村直美, 仲 成幸, 山口 剛, 貝田佐知子, 清水智治, 三宅 亨, 園田寛道, 前平博充, 谷 眞至
骨髄異形性症候群で経過フォロー中に急速に増大した肝限局性結節性過形成の1切除例
第39回 日本癌局所療法研究会, 2017年6月, 京都

全 有美, 貝田佐知子, 竹林克士, 大竹玲子, 山口 剛, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 北村直美, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
化学療法中に胃癌穿孔きたし二期的に根治切除しえた進行胃癌の1例
第39回 日本癌局所療法研究会, 2017年6月, 京都

飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 森 治樹, 赤堀浩也, 仲 成幸, 全 有美, 新田信人, 寺田好孝, 谷 総一郎, 竹林克士, 植木智之, 貝田佐知子, 三宅 亨, 山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
S7, S8領域の肝腫瘍に対する腹腔鏡下切除工夫
第6回 サマーセミナーin OKINAWA, 2017年7月, 沖縄

前平博充, 北村直美, 飯田洋也, 森 治樹, 赤堀浩也, 仲 成幸, 全 有美, 新田信人, 寺田好孝, 谷 総一郎, 竹林克士, 植木智之, 貝田佐知子, 三宅 亨, 山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
腹腔鏡下に修復が可能であった脾体尾部・脾臓摘出術後胃軸捻転症の1例
第6回 サマーセミナーin OKINAWA, 2017年7月, 沖縄

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 寺田好孝, 太田裕之, 伴 宏充, 杉本光敏, 飯田洋也, 貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 北村直美, 安藤 朗, 谷 眞至
ISR術後高度吻合部狭窄に対する内視鏡ガイド下狭窄拡張術
第42回 日本外科系連合学会学術集会, 2017年6月, 徳島

北村直美, 谷 眞至, 飯田洋也, 赤堀浩也, 仲 成幸, 植木智之, 貝田佐知子, 三宅 亨, 園田寛道, 山口 剛, 清水智治, 藤野和典, 田畑貴久, 松下美季子, 江口 豊
腹腔鏡下脾体尾部切除術後に発症した胃軸捻転症の1例
第42回 日本外科系連合学会学術集会, 2017年6月, 徳島

大竹玲子, 山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 竹林克士, 村田 聡, 三宅 亨, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
腹腔鏡下袖状胃切除術の2型糖尿病に対する治療成績
第35回 日本肥満症治療学会学術集会, 2017年6月, 盛岡

飯田洋也, 海堀昌樹, 和田浩志, 廣川文鋭, 木下正彦, 久保正二, 林 道廣, 江口英利, 中居卓也
初回切除不能大腸がん肝転移症例に対するConversion Therapyの検討
第53回 日本肝癌研究会, 2017年7月, 東京

坂井幸子, 加藤久尚, 富田 香, 河合由紀, 森 毅, 清水智治, 増田俊樹, 奥田雄介, 坂井智行, 澤井俊宏, 谷 眞至
低年齢児に対する開放腎生検の有用性についての検討
第26回 日本小児泌尿器科学会総会・学術集会, 2017年7月, 名古屋

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 竹林克士, 前平博充, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 森 毅, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 伴 宏充, 杉本光繁, 安藤 朗, 谷 眞至
閉塞性大腸癌に対するステント留置後腹腔鏡下手術の有用性
第87回 大腸癌研究会, 2017年7月, 四日市

三宅 亨, 徳田 彩, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 谷 眞至
大腸癌先進部におけるE-cadherin/N-cadherin の発現と臨床的意義についての検討
第87回 大腸癌研究会, 2017年7月, 四日市

前平博充, 飯田洋也, 森 治樹, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 北村直美, 清水智治, 三宅 亨, 仲 成幸, 谷 眞至
膵癌術後における筋肉量変化と予後との関連性
第48回 日本膵臓学会大会, 2017年7月, 京都

飯田洋也, 谷 眞至, 前平博充, 赤堀浩也, 森 治樹, 清水智治, 三宅 亨, 仲 成幸, 稲富 理, 安藤 朗
膵癌に対する術前腫瘍マーカー陽性率を用いた予後予測
第48回 日本膵臓学会大会, 2017年7月, 京都

村田 聡, 糸井尚子, 梅田朋子, 石田光明, 河合由紀, 森 毅, 富田 香, 北村直美, 北村美奈, 田中彰恵,
Pham Ngoc, 坂井幸子, 清水智治, 九嶋亮治, 谷 眞至
抗HER2 抗体による乳癌局所への細胞性免疫の誘導
第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

田中彰恵, 梅田朋子, 富田 香, 北村美奈, 北村直美, 河合由紀, 井上明星, 土屋桂子, 森 毅, 清水智治, 谷 眞至
当院における乳房MRI検出病変とSecond-look US の検討
第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

梅田朋子, 石田光明, 森 毅, 河合由紀, 坂井幸子, 富田 香, 北村美奈, 田中彰恵, 加藤久尚, 北村直美,
清水智治, 村田 聡, 九嶋亮治, 来見良誠, 谷 眞至
混合型invasive micropapillary carcinoma におけるCD44s, CD44v6, CD44v9とxCT の発現と予後
第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

森 毅, 河合由紀, 富田 香, 北村美奈, 坂井幸子, 三宅 亨, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 北村直美, 山口 剛, 園田寛道,
清水智治, 梅田朋子, 谷 眞至
乳癌手術に対する, 新規エネルギーデバイス, Acrosurge.(アクロサージ)の使用経験
第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

中井美里, 富田 香, 河合由紀, 寺田好孝, 北村美奈, 竹林克士, 坂井幸子, 貝田佐知子, 三宅 亨, 植木智之,
赤堀浩也, 北村直美, 山口 剛, 森 毅, 梅田朋子, 清水智治, 森谷鈴子, 九嶋亮治, 谷 眞至
紡錘細胞癌との鑑別を要した巨大乳腺悪性葉状腫瘍の1 例
第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

河合由紀, 北村美奈, 富田 香, 森 毅, 梅田朋子, 寺田好孝, 坂井幸子, 北村直美, 清水智治, 村田 聡, 谷 眞至
乳癌術前化学療法におけるPegfilgrastimの有用性の検討
第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

富田 香, 寺田好孝, 北村美奈, 坂井幸子, 河合由紀, 森 毅, 清水智治, 梅田朋子, 谷 眞至
トルソー症候群を呈した乳癌の2 例
第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

高橋征浩, 河合由紀, 富田 香, 大竹玲子, 寺田好孝, 北村美奈, 加藤久尚, 坂井幸子, 貝田佐知子, 北村直美,
園田寛道, 山口 剛, 森 毅, 清水智治, 梅田朋子, 森谷鈴子, 仲 成幸, 九嶋亮治, 谷 眞至
男性の乳腺Solid papillary carcinoma の1 例
第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

北村美奈, 森 毅, 富田 香, 河合由紀, 坂井幸子, 竹林克士, 三宅 亨, 貝田佐知子, 飯田洋也, 北村直美,
赤堀浩也, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 梅田朋子, 谷 眞至
乳腺扁平上皮癌3 例の検討
第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

竹林克士, 村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 児玉泰一, 園田寛道, 飯田洋也, 三宅 亨, 清水智治, 谷 眞至
胃癌切除後に腹腔内より検出された癌細胞の臨床的意義
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

植木智之, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
当院における術前化学療法施行後の進行直腸癌切除症例の検討
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

村田 聡, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 大竹玲子, 園田寛道, 飯田洋也, 三宅 亨, 清水智治, 谷 眞至
胃癌手術による腹膜播種再発の病態とその治療戦略
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

全 有美, 貝田佐知子, 竹林克士, 大竹玲子, 山口 剛, 村田 聡, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
術前S-1+CDDP 投与にて胃癌穿孔をきたし二期的に根治切除しえた進行胃癌の1 例
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

村上耕一郎, 仲 成幸, 飯田洋也, 山田篤史, 前平博充, 北村直美, 赤堀浩也, 龍田 健, 谷 徹, 谷 眞至
Ray-Trace 法を用いた腹腔鏡下肝手術におけるポート位置選択3D シミュレーションの開発
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 竹林克士, 飯田洋也, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当科におけるStage II-III 直腸癌に対する側方リンパ節郭清の成績と問題点
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 太田裕之, 竹林克士, 飯田飯也, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
双孔式回腸人工肛門造設術後における短期合併症についての検討—潰瘍性大腸炎手術と大腸癌手術の比較—
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

生田大二, 三宅 亨, 徳田 彩, 植木智之, 飯田洋也, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
ヒト大腸癌の腫瘍先進部における間質の線維化と生存率の検討
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

仲 成幸, 谷 徹, 谷 総一郎, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 山口 剛, 園田寛道, 森 毅, 清水智治, 谷 眞至
新規マイクロ波手術デバイスAcrosurg. の開発と初期臨床応用—日本発の新規エネルギーデバイス—
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 森 治樹, 貝田佐知子, 飯田洋也, 北村直美, 竹林克士, 谷 眞至
下部消化管穿孔による急性汎発性腹膜炎に対する予後指標と治療戦略
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

森 毅, 清水智治, 丹後泰久, 安田誠一, 西村彰一, 原田英樹, 平野正満, 神田雄史, 来見良誠, 谷 眞至
滋賀ヘルニア研究会参加施設における抗血栓療法中の成人鼠径ヘルニア手術症例の検討
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

徳田 彩, 三宅 亨, 生田大二, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 飯田洋也, 貝田佐知子, 山口 剛, 谷 眞至
大腸癌におけるE/N Cadherin 発現の臨床的意義
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年, 金沢

森 治樹, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 山口 剛, 貝田佐知子, 飯田洋也, 谷 眞至
原発性大腸癌術後における術後イレウスの発生率と危険因子の検討
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 竹林克士, 大竹玲子, 三宅 亨, 飯田洋也, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
胃癌に対する幽門側胃切除術Billroth-I 法再建後の残胃形態分類の試み
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

新田信人, 飯田洋也, 赤堀浩也, 前平博充, 仲 成幸, 北村直美, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 谷 眞至
大腸癌多発肝転移に対して, 脾摘と肝部分切除後に2 期的肝切除を施行した1 例
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

前平博充, 谷 眞至, 飯田洋也, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 北村直美, 仲 成幸, 清水智治, 三宅 亨, 貝田佐知子
膵頭十二指腸切除術における術後CT と膵液瘦の関連
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

寺田好孝, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 清水智治, 北村直美, 山口 剛, 赤堀浩也, 谷 眞至
75 歳以上の高齢者に対するStage2-3 大腸癌治癒切除術後補助化学療法の検討
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

飯田洋也, 谷 眞至, 赤堀浩也, 北村直美, 前平博充, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 貝田佐知子, 仲 成幸
膵頭十二指腸切除後の感染性合併症予測における血清プロカルシトニン値の意義
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

北村直美, 清水智治, 飯田洋也, 赤堀浩也, 貝田佐知子, 三宅 亨, 園田寛道, 山口 剛, 仲 成幸, 谷 眞至
当院における大腸憩室出血の検討
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 大竹玲子, 竹林克士, 村田 聡, 三宅 亨, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
高度肥満・2 型糖尿病に対する内視鏡外科手術の治療成績
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

大竹玲子, 山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 竹林克士, 村田 聡, 三宅 亨, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
腹腔鏡下袖状胃切除術の2 型糖尿病に対する治療成績
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

前川 毅
急速に増大した肝限局性結節性過形成の1 切除例
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

村本圭史
同時性4 重複悪性腫瘍(胃癌, 多発大腸癌, 肺癌, 前立腺癌)の一例
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

飯田洋也, 大崎理英, 藤本剛英, 前平博充, 森 治樹, 北村直美, 安藤 朗, 谷 眞至
高齢者のINF-free DAA治療後, 早期に発生した初発肝細胞癌に対しCombined Route Ablationを施行した1例
第17回 関西肝血流動態・機能イメージ研究会, 2017年7月, 大阪

河合由紀, 木村文則, 森 毅, 富田 香, 北村美奈, 梅田朋子, 田崎亜希子, 清水智治, 谷 眞至, 村上 節
当院における若年乳癌患者の妊孕性温存の現況
第15回 日本臨床腫瘍学会学術集会, 2017年7月, 神戸

村田 聡, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 河合由紀, 園田文乃, 寺本晃治, 住本秀敏, 醍醐弥太郎, 谷 眞至
Stage III b 大腸癌術後補助化学療法におけるオキサリプラチンの必要性
第15回 日本臨床腫瘍学会学術集会, 2017年7月, 神戸

貝田佐知子, 村田 聡, 山口 剛, 向所賢一, 大田信一, 九嶋亮治, 飯田洋也, 稲富 理, 園田文乃, 谷 眞至
原発不明癌として集学的治療を行い, 異所性膵癌と最終診断した1例
第15回 日本臨床腫瘍学会学術集会, 2017年7月, 神戸

稲富 理, 貝田佐知子, 神田暁博, 今井隆行, 竹林克士, 園田文乃, 山口 剛, 谷 眞至, 醍醐弥太郎, 安藤 朗
Trastuzumab を中心とした長期の化学療法後に治癒切除し得たstage IV 進行胃癌の一例
第15回 日本臨床腫瘍学会学術集会, 2017年7月, 神戸

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 竹林克士, 貝田佐知子, 河合由紀, 園田文乃, 稲富 理, 村田 聡, 谷 眞至
Stage III b 大腸癌術後補助化学療法におけるオキサリプラチンの必要性
第15回 日本臨床腫瘍学会学術集会, 2017年7月, 神戸

前平博充, 飯田洋也, 赤堀浩也, 北村直美, 森 治樹, 仲 成幸, 谷 眞至
血清プロカルシトニン値による膵頭十二指腸切除後感染性合併症の早期予測の可能性
第44回 日本膵切研究会, 2017年8月, 横浜

前平博充, 飯田洋也, 北村直美, 森 治樹, 谷 眞至
非特異的な画像所見を呈した膵神経内分泌腫瘍の1例
第5回 日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会, 2017年9月, 仙台

飯田洋也, 前平博充, 仲 成幸, 森 治樹, 北村直美, 赤堀浩也, 谷 徹, 谷 眞至
3cm³ 個以内の大腸癌肝転移に対する切除とマイクロ波凝固療法との比較
第36回 Microwave Surgery研究会, 2017年9月, 和歌山

飯田洋也, 前平博充, 仲 成幸, 森 治樹, 北村直美, 赤堀浩也, 谷 徹, 谷 眞至
肝細胞癌に対する, ラジオ波焼灼療法とマイクロ波凝固療法との比較
第36回 Microwave Surgery研究会, 2017年9月, 和歌山

森 治樹, 飯田洋也, 前平博充, 仲 成幸, 北村直美, 谷 眞至
腹腔鏡下肝切除におけるバイポーラ型ラジオ波電極を用いたSynchronous coagulation technique(SCAT)
第36回 Microwave Surgery研究会, 2017年9月, 和歌山

谷 眞至
マイクロ波を用いた新規エネルギー・デバイス Acrosurg. の使用経験
第36回 Microwave Surgery研究会, 2017年9月, 和歌山

生田大二, 三宅 亨, 向所賢一, 谷 眞至
ヒト大腸癌の腫瘍先進部における間質の線維化は予後予測因子となる
第76回 日本癌学会学術総会, 2017年9月, 横浜

北村美奈, 仲山貴永, 向所賢一, 九嶋亮治, 谷 眞至, 杉原洋行
ゲノムコピー数プロファイルによる個々の乳管癌と乳頭腫の進展リスク評価
第76回 日本癌学会学術総会, 2017年9月, 横浜

Ngoc M. Pham, Murata S, Kitamura N, Ueki T, Kojima M, Miyake T, Takebayashi K, Kodama H, Kawai K, Daigo Y, Mekata E, Tani M.
Immunological activities of adoptively transferred tumor antigen-specific CTLs costimulated with OX40 signaling in vitro.
The 76th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, 2017, Yokohama

森 治樹, 飯田洋也, 赤堀浩也, 仲 成幸, 北村直美, 前平博充, 三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 貝田佐知子, 山口 剛, 稲富 理, 安藤 朗, 谷 眞至
戸谷Ia型先天性胆道拡張症・膵胆管合流異常に合併した胆嚢および膵同時性重複癌の1例
第53回 日本胆道学会学術集会, 2017年9月, 山形

前平博充, 小川雅生, 奥村 哲
急性胆嚢炎緊急手術症例におけるグラム染色別にみた胆汁細菌の検討
第53回 日本胆道学会学術集会, 2017年9月, 山形

前平博充, 飯田洋也, 北村直美, 森 治樹, 三宅 亨, 植木智之, 園田寛道, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至
腹腔鏡下膵体尾部切除術後, 克服法の検討
近畿内視鏡外科研究会 第30回 記念大会, 2017年9月, 大阪

山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 竹林克士, 大竹玲子, 新田信人, 村田 聡, 清水智治, 森 毅, 園田寛道, 飯田洋也, 三宅 亨, 前平博充, 植木智之, 谷 眞至
肥満外科死亡リスクスコアと胃バイパスリスクスコアを用いた当院における腹腔鏡下肥満外科症例の検討
近畿内視鏡外科研究会 第30回 記念大会, 2017年9月, 大阪

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 谷 眞至
腹腔鏡下左側結腸, 直腸癌手術におけるDST(Double Stapling Technique)再建に対する側端縫合の試み
近畿内視鏡外科研究会 第30回 記念大会, 2017年9月, 大阪

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 寺田好孝, 森 治樹, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 谷 眞至
当科におけるTa-TMEの手術手技向上に向けた取り組み
近畿内視鏡外科研究会 第30回 記念大会, 2017年9月, 大阪

前平博充, 飯田洋也, 北村直美, 森 治樹, 寺田好孝, 谷 眞至
切除をしたUR-LAおよびUR-M膵癌症例の検討
第66回 近畿膵疾患談話会, 2017年9月, 大阪

村田 聡, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 山本 寛, 河合由紀, 三宅 亨, 清水智治, 飯田洋也, 北村直美, 新田信人, 森 治樹, 醍醐弥太郎, 谷 眞至
胃癌術後再発の原因とHIPECによる再発予防
日本ハイパーサーミア学会 第34回 大会, 2017年9月, 京都

村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 山本 寛, 竹林克士, 新田信人, 森 治樹, 河合由紀, 飯田洋也, 北村直美, 三宅 亨, 清水智治, 醍醐弥太郎, 谷 眞至
温熱化学療法の抗腫瘍作用機序
日本ハイパーサーミア学会 第34回 大会, 2017年9月, 京都

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 谷 眞至
腹腔鏡下左側結腸, 直腸癌手術におけるDST(Double Stapling Technique)再建に対する側端吻合の試み
近畿内視鏡外科研究会 第30回 記念大会, 2017年9月, 大阪

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 寺田好孝, 森 治樹, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 谷 眞至
当科におけるTa-TMEの手術手技向上に向けた取り組み
近畿内視鏡外科研究会 第30回 記念大会, 2017年9月, 大阪

前平博充, 飯田洋也, 北村直美, 森 治樹, 三宅亨, 植木智之, 園田寛道, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至
腹腔鏡下膵体尾部切除術後, 再手術例の検討
近畿内視鏡外科研究会 第30回 記念大会, 2017年9月, 大阪

山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 竹林克士, 大竹玲子, 新田信人, 村田 聡, 清水智治, 森 毅, 園田寛道, 飯田洋也, 三宅 亨, 前平博充, 植木智之, 谷 眞至
肥満外科死亡リスクスコアと胃バイパスリスクスコアを用いた当院における腹腔鏡下肥満外科症例の検討
近畿内視鏡外科研究会 第30回 記念大会, 2017年9月, 大阪

山口 剛, 山本 寛, 谷 眞至
高度肥満・2型糖尿病に対する内視鏡外科手術の治療成績と展望
第25回 日本消化器関連学会週間(JDDW2017), 2017年10月, 神戸

竹林克士, 村田 聡, 谷 眞至
胃癌切除後に細胞培養により腹腔内から検出された癌細胞の意義
第25回 日本消化器関連学会週間(JDDW2017), 2017年10月, 神戸

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 竹林克士, 村田 聡, 植木智之, 三宅 亨, 飯 洋也, 園田寛道, 清水智治, 九嶋亮治, 谷 眞至

胃癌術前化学療法症例の治療成績の検討

第25回 日本消化器関連学会週間(JDDW2017), 2017年10月, 神戸

飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 北村直美, 園田寛道, 三宅 亨, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 植木智之, 新田信人, 全 有美, 寺田好孝, 谷 総一郎, 村田 聡, 清水智治, 谷 眞至

頭背側領域の肝腫瘍に対する, 腹腔鏡下肝切除の工夫

第25回 日本消化器関連学会週間(JDDW2017), 2017年10月, 神戸

塩見尚礼, 仲 成幸, 谷 徹, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 赤堀浩也, 谷 眞至, 下松谷 匠

新規手術器具であるマイクロ波メス(アクロサージ)の臍頭十二指腸切除術における使用経験

第25回 日本消化器関連学会週間(JDDW2017), 2017年10月, 神戸

新田信人, 三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 森 治樹, 寺田好孝, 貝田佐知子, 北村直美, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至

病理学的SM浸潤大腸癌におけるリンパ節転移の危険因子の検討

第25回 日本消化器関連学会週間(JDDW2017), 2017年10月, 神戸

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 貝田佐知子, 飯田洋也, 伴 宏充, 杉本光繁, 安藤 朗, 谷 眞至

当院における閉塞性大腸癌に対する治療戦略

第25回 日本消化器関連学会週間(JDDW2017), 2017年10月, 神戸

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至

当科におけるStage IV大腸癌の予後因子の検討

第25回 日本消化器関連学会週間(JDDW2017), 2017年10月, 神戸

植木智之, 仲 成幸, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 谷 総一郎, 飯田洋也, 谷 徹, 谷 眞至

新規マイクロ波手術デバイス・アクロサージの消化管手術における初期使用経験

第25回 日本消化器関連学会週間(JDDW2017), 2017年10月, 神戸

寺田好孝, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 貝田佐知子, 山口 剛, 北村直美, 飯田洋也, 竹林克士, 前平博充, 谷 眞至

当院における人工肛門閉鎖術後の手術部位感染症の検討

第25回 日本消化器関連学会週間(JDDW2017), 2017年10月, 神戸

村田 聡, 竹林克士, 児玉泰一, 山口 剛, 貝田佐知子, 大竹玲子, 山本 寛, 三宅 亨, 北村直美, 植木智之, 飯田洋也, 赤堀浩也, 園田寛道, 生田大二, 徳田 彩, 寺田好孝, 森 治樹, 新田信人, 清水智治, 谷 眞至

胃癌患者の腹腔内癌細胞中における癌幹細胞様細胞の同定

第25回 日本消化器関連学会週間(JDDW2017), 2017年10月, 神戸

清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 山口 剛, 森 毅, 飯田洋也, 貝田佐知子, 竹林克士, 前平博充, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至

潰瘍性大腸炎患者でのEndotoxin Activity Assay(EAA)の変動

第25回 日本消化器関連学会週間(JDDW2017), 2017年10月, 神戸

森 治樹, 飯田洋也, 北村直美, 前平博充, 山口 剛, 貝田佐知子, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 生田大二, 徳田 彩, 寺田好孝, 谷 眞至

当科におけるpT2胆嚢癌手術症例の検討

第25回 日本消化器関連学会週間(JDDW2017), 2017年10月, 神戸

清水智治, 河合由紀, 木村文則, 園田寛道, 三宅 亨, 森 毅, 飯田洋也, 山口 剛, 村上 節, 谷 眞至
当院で経験したAYA 世代の大腸腫瘍症例に関する検討
第55回 日本癌治療学会学術集会, 2017年10月, 横浜

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 寺田好孝, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛,
谷 眞至
Stage IV 大腸癌に対しFOLFOXIRI+Bevacizumab療法施行後に間質性肺炎を認めた1 例
第55回 日本癌治療学会学術集会, 2017年10月, 横浜

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 寺田好孝, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛,
森 毅, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
進行直腸癌に対するFOLFOXIRI レジメンを用いた術前化学療法
第55回 日本癌治療学会学術集会, 2017年10月, 横浜

北村美奈, 河合由紀, 木村文則, 冨田 香, 加藤久尚, 坂井幸子, 森 毅, 梅田朋子, 田崎亜希子, 清水智治,
村上 節, 谷 眞至
当院における若年乳癌患者のがん・生殖医療の現況と課題
第55回 日本癌治療学会学術集会, 2017年10月, 横浜

村田 聡, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 児玉泰一, 山本 寛, 河合由紀, 森 毅, 飯田洋也, 北村直美, 前平博充,
三宅 亨, 植木智之, 清水智治, 谷 眞至
胃癌切除後腹腔内がん細胞検出による再発リスク予測と, 術中腹腔内治療による再発予防
第55回 日本癌治療学会学術集会, 2017年10月, 横浜

貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 竹林克士, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 九嶋亮治,
谷 眞至
低悪性度虫垂粘液性腫瘍(Low-grade Appendiceal Mucinous Neoplasm)4 例の検討
第55回 日本癌治療学会学術集会, 2017年10月, 横浜

赤堀浩也, 飯田洋也, 北村直美, 前平博充, 仲 成幸, 三宅 亨, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 森 治樹, 稲富 理,
安藤 朗, 九嶋亮治, 谷 眞至
静脈侵襲を認めた非機能性膵神経内分泌腫瘍の悪性度に関する検討
第55回 日本癌治療学会学術集会, 2017年10月, 横浜

北村直美, 清水智治, 藤野和典, 辻田靖之, 田畑貴久, 高橋 完, 江口 豊, 松下美希子, 松村一弘, 谷 眞至
大腸憩室出血/再出血の検討
第45回 日本救急医学会総会・学術集会, 2017年10月, 大阪

加藤久尚, 坂井幸子, 久保田良浩, 森 毅, 清水智治, 谷 眞至
急性胃拡張が増悪し治療に難渋しているヒルシュスプルング病類縁疾患の1 例
第33回 日本小児外科学会秋季シンポジウム, 2017年10月, 川崎

貝田佐知子, 山口 剛, 新田信人, 竹林克士, 三宅 亨, 飯田洋也, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
胃癌に対する幽門側胃切除後障害に対し, 再手術が有効であった2 例
第47回 胃外科・術後障害研究会, 2017年11月, 横浜

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 目片英治, 遠藤義裕, 谷 眞至
Early tumor shrinkage(ETS)を目指した進行大腸癌に対するTriplet regimenを用いた治療戦略
第72回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2017年11月, 福岡

三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 寺田好孝, 谷 眞至
大腸癌手術症例における周術期血中Procalcitoninの有用性
第72回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2017年11月, 福岡

植木智之, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 岡野純子, 鈴木義久, 谷 眞至
直腸切断術後の臀部皮膚欠損部を腹直筋河弁で修復したクローン病に合併した難治性痔瘻の1例
第72回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2017年11月, 福岡

飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 北村直美, 三宅 亨, 園田寛道, 竹林克士, 貝田佐智子, 山口 剛, 植木智之,
清水智治, 谷 眞至
腹腔鏡下肝切除における, 肝切離面を広く確保するための工夫
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 寺田好孝, 前平博充, 竹林克士,
貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 森 毅, 谷 眞至
潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下大腸全摘術における私の工夫—後腹膜剥離先行アプローチの有用性
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

新田信人, 森 毅, 富田 香, 北村美奈, 河合由紀, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 三宅 亨, 園田寛道, 前平博充,
北村直美, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至
腹壁myxofibrosarcomaの1例
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

寺田好孝, 三宅 亨, 園田寛道, 植木智之, 清水智治, 山口 剛, 貝田佐和子, 飯田洋也, 北村直美, 前平博充,
竹林克士, 谷 眞至
巨大腹部腫瘍で発見された腹膜悪性中皮腫の1例
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 新田信人, 前平博充, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 園田寛道, 清水智治,
谷 眞至
腹腔鏡下胃切除術後における術後2日目のドレーンアミラーゼ値測定意義の検討
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

村田 聡, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 新田信人, 飯田洋也, 北村直美, 前平博充, 森 治樹, 生田大二,
三宅 亨, 植木智之, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
胃癌再発予見バイオマーカーとしての腹腔内洗浄液中がん細胞培養
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

森 毅, 北村美奈, 富田 香, 河合由紀, 清水智治, 三宅 亨, 貝田佐知子, 山口 剛, 園田寛道, 竹林克士, 飯田洋也,
仲 成幸, 谷 徹, 谷 眞至
乳癌における腋窩郭清術での, 新規エネルギーデバイス, Acrosurg.(アクロサージ)の使用経験
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 寺田好孝, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛,
谷 眞至
腹腔鏡下大腸手術術後の疼痛管理におけるアセトアミノフェン定期投与の有効性についての検討
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

植木智之, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 寺田好孝, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 森 毅,
山口 剛, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院における進行結腸癌に対する腹腔鏡下切除術の治療成績
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 竹林克士, 大竹玲子, 新田信人, 村田 聡, 清水智治, 森 毅, 園田寛道,
飯田洋也, 三宅 亨, 前平博充, 植木智之, 谷 眞至
高度肥満・2型糖尿病に対する腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の治療成績
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 新田信人, 清水智治, 園田寛道, 森 毅, 飯田洋也, 三宅 亨, 飯田洋也, 植木智之, 前平博充, 寺田好孝, 森 治樹, 谷 眞至
Rouviereリンパ節転移を伴う頸部食道癌化学放射線療法後再発に対して咽頭喉頭食道全摘を施行した1例
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

北村直美, 谷 眞至, 飯田洋也, 前平博充, 植木智之, 貝田佐知子, 三宅 亨, 園田寛道, 山口 剛, 清水智治, 田畑貴久, 江口 豊, 赤堀浩也
膵癌術後膵液瘻に伴う腹腔内膿瘍に対する持続洗浄陰圧閉鎖療法
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

村本圭史, 貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 植木智之, 三宅 亨, 前平博充, 北村直美, 飯田洋也, 園田寛道, 森 毅, 清水智治, 園田明永, 谷 眞至
胃癌術後縫合不全による膵液瘻に伴う脾仮性動脈瘤に対しStent Graftが有用であった一例
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 北村直美, 植木智之, 三宅 亨, 園田寛道, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至
膵頭十二指腸切除術前胆道ドレナージが術後短期成績に及ぼす影響
日本外科感染症学会, 2017年11月, 東京

三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 寺田好孝, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
腹腔鏡下大腸癌手術後の感染性合併症に対する血清プロカルシトニンの意義
日本外科感染症学会, 2017年11月, 東京

寺田好孝, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 貝田佐知子, 山口 剛, 北村直美, 飯田洋也, 竹林克士, 前平博充, 森 治樹, 谷 眞至
創感染予防と費用低減を考慮した縫合糸の選択
日本外科感染症学会, 2017年11月, 東京

生田大二, 三宅 亨, 徳田 彩, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
ヒト大腸癌の腫瘍先進部における α -smooth muscle actinの発現は予後予測因子となる
第30回 日本バイオセラピー学会学術集会総会, 2017年11月, 岐阜

清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 山口 剛, 森 毅, 飯田洋也, 貝田佐知子, 竹林克士, 前平博充, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹, 谷 眞至
潰瘍性大腸炎におけるEndotoxin Activity Assay(EAA)の推移
23回 日本エンドトキシン・自然免疫研究会, 2017年12月, 西宮

森 治樹, 飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 寺田好孝, 谷 眞至
直腸癌術後多発肝転移に対して腹腔鏡下ALPPS手術を施行した1例
第11回 肝臓内視鏡外科研究会, 2017年12月, 京都

仲 成幸, 山田篤史, 谷 総一郎, 村上耕一郎, 児玉泰一, 東田宏明, 谷 眞至, 谷 徹
MR 画像誘導下NOTES を可能にするMR 対応マイクロ波内視鏡手術デバイスの開発
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

植木智之, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 太田裕之, 目片英治, 谷 眞至
当院における潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下大腸全摘術の治療成績
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

山本 寛, 小座本雄軌, 戸川 剛, 萩原明於, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 谷 眞至
スリーブ状胃切除術の糖尿病改善の予測について—2施設のデータの集計から—
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

北村直美, 谷 眞至, 森 治樹, 前平博充, 飯田洋也, 植木智之, 貝田佐知子, 三宅 亨, 園田寛道, 山口 剛,
清水智治, 田畑貴久
腹腔鏡下腓体尾部切除術後に発症した胃軸捻転症に対し腹腔鏡下胃固定術を施行した1例
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 寺田好孝, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
腹腔鏡下大腸手術における回腸人工肛門造設後腸閉塞に関する検討
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 北村直美, 植木智之, 三宅 亨, 園田寛道, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛,
清水智治, 谷 眞至
腹腔鏡下肝切除におけるバイポーラ型ラジオ波電極を用いた肝離断法
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

貝田佐知子, 村上陽子, 山口 剛, 竹林克士, 新田信人, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 園田寛道, 清水智治,
永谷幸裕, 谷 眞至
腹腔鏡下幽門側胃切除術における術後早期肝障害と, 肝が投影される胃の体積との関連
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 寺田好孝, 森 治樹, 前平博充, 谷 総一郎, 竹林克士,
貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 森 毅, 谷 眞至
当科における下部直腸癌に対するTa-TME の初期治療成績
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

寺田好孝, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 貝田佐和子, 山口 剛, 北村直美, 飯田洋也, 竹林克士,
前平博充, 森 治樹, 谷 眞至
DST(Double Stapling Technique) における側端吻合の導入
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 竹林克士, 大竹玲子, 新田信人, 村田 聡, 清水智治, 森 毅, 園田寛道, 飯田洋也,
三宅 亨, 植木智之, 前平博充, 谷 眞至
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術におけるガーゼを利用した胃の剥離授動の方法
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

新田信人, 貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 北村直美, 飯田洋也, 森 毅,
植木智之, 前平博充, 寺田好孝, 森 治樹, 谷 眞至
75歳以上の高齢者に対する腹腔鏡下胃切除術の安全性の検討
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 飯田洋也, 森 治樹, 前平博充,
井内武和, 生田大二, 徳田 彩, 太田裕之, 谷 眞至
関連病院との腹腔鏡下大腸切除術の技術情報共有
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治, 園田寛道, 森 毅, 北村直美, 三宅 亨, 飯田洋也, 植木智之,
前平博充, 寺田好孝, 森 治樹, 新田信人, 谷 眞至
腹腔鏡下胃切除術後の体重減少の検討
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

村本圭史
術前CTにて診断し得た成人発症の腸回転異常症を伴った絞扼性イレウスの一例
第54回 日本腹部救急医学会総会, 2018年3月, 東京

前川 毅

VPシャント感染に起因したと思われる被囊腹膜硬化症によるイレウスを来した1例
第54回 日本腹部救急医学会総会, 2018年3月, 東京

山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 村田 聡, 清水智治, 森 毅, 園田寛道, 飯田洋也, 北村直美, 三宅 亨, 植木智之,
前平博充, 寺田好孝, 森 治樹, 谷 眞至

VPシャント感染に起因したと思われる被囊腹膜硬化症によるイレウスを来した1例
第54回 日本腹部救急医学会総会, 2018年3月, 東京

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 貝田佐知子, 飯田洋也, 伴 宏充, 杉本光繁, 安藤 朗,
谷 眞至

閉塞性大腸痛に対する大腸ステント留置による減圧後の腹腔鏡手術の有用性
第54回 日本腹部救急医学会総会, 2018年3月, 東京

竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 北村直美, 前平博充,
谷 眞至

非切除胃癌穿孔症例の検討
第54回 日本腹部救急医学会総会, 2018年3月, 東京

竹林克士

胃癌手術における細胞培養による腹腔内遊離癌細胞の検出の意義
第90回 日本胃癌学会総会, 2018年3月, 横浜

村田 聡

胃癌術後腹膜転移の原因となる癌幹細胞様細胞の由来
第90回 日本胃癌学会総会, 2018年3月, 横浜

貝田佐知子

胃粘膜下腫瘍に対するlaparoscopy endoscopy cooperative surgery (LECS) 症例の検討
第90回 日本胃癌学会総会, 2018年3月, 横浜

滋賀医科大学外科学講座（心臓血管外科）

【論文】

〈英文学術論文〉

Kinoshita T, Tawa M, Suzuki T, Aimi Y, Asai T, Okamura T.
Suppression of Graft Spasm by the Particulate Guanylyl Cyclase Activator in Coronary Bypass Surgery.
Ann Thorac Surg. 104(1): 122-129, 2017

Kinoshita T, Tawa M, Suzuki T, Asai T, Okamura T.
Segmental Difference in Vasoreactivity of the Human Right Gastroepiploic Artery.
Circ J. 82(3): 914-918, 2018

Suzuki T, Asai T, Kinoshita T.
Clinical differences between men and women undergoing surgery for acute Type A aortic dissection.
Interact Cardiovasc Thorac Surg. 26: 944-950, 2018

Tawa M, Kinoshita T, Asai T, Suzuki T, Ishibashi T, Okamura T.
Responsiveness of internal thoracic arteries to nitroglycerin in patients with renal failure.
Heart Vessels. 33(6): 682-687, 2018

【学会発表】

〈国際学会〉

Sakakura R, Asai T, Enomoto M, Terada S, Kinoshita T, Suzuki T.
Surgical Correction for Coronary Suvclavian Steal Symdrome after Composite Y-grafting.
2017 International coronary Congress, 2017.8, NY

Asai T.
The Evidence for GEA Grafting in 2017.
2017 International coronary Congress, 2017.8, NY

Asai T.
Techniques in Skeletonized GEA Harvest.
2017 International coronary Congress, 2017.8, NY

Asai T.
Multi-arterial off-pump CABG with Intraoperative SPY.
2017 International coronary Congress, 2017.8, NY

Asai T.
Anterior Prolapse Global Valve Repair Symposium.
GVRS, 2017.8, Bangkok

Asai T.
Routine OPCAB for Everyone: A Prime Time?.
4th Heart Care Heart International Symposium, 2017.8, Bangkok

Asai T.
OPCAB for Coronary Revascularization : The State of The Art.
4th Heart Care Heart International Symposium, 2017.8, Bangkok

Asai T.
Butterfly Techniques : How to Make It Flies and Lasts.
4th Heart Care Heart International Symposium, 2017.8, Bangkok

Terada S, Asai T, Suzuki T, Kinoshita T.
A novel classification of intraoperative fluorescence imaging for on-site assessment of coronary bypass graft patency.
31st EACTS, 2017.10, Austria

Asai T.
BUTTERFLY TECHNIQUE AND GEOMETRIC MITRAL VALVE REPAIR.
3Heart Surgery Forum Meeting, 2017.12, Croatia

Asai T.
A NOVEL REPAIR FOR VENTRICULAR SEPTAL RUPTURE, THE EXTENDED SANDWICH PATCH METHOD.
3Heart Surgery Forum Meeting, 2017.12, Croatia

Asai T.
How we do and train OPCAB in Japan.
ISMICS WINTER WORKSHOP 2017, 2017.12, Abu Dhabi

〈全国学会・地方会・その他〉

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 鈴木友彰, 浅井 徹
80歳以上の高齢者に対する待機的腹部大動脈瘤開腹手術の治療成績
第45回 日本血管外科学会学術総会, 2017年4月, 広島

鉢呂康平, 木下 武, 住井陽介, 南館直志, 近藤康夫, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 寺田真也, 鈴木友彰, 浅井 徹
動静脈瘻合併による腎不全増悪をきたした右総腸骨動脈瘤に対して, 腹部の動静脈から人工心肺を使用して救命しえた1例
第45回 日本血管外科学会学術総会, 2017年4月, 広島

浅井 徹
バタフライテクニック
第3回 北陸心臓外科懇話会, 2017年5月, 金沢

木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹
滋賀医科大学における僧帽弁形成術
第9回 近畿心臓外科研究会, 2017年6月, 兵庫

浅井 徹
狭小大動脈弁に対する外科的治療戦略
胸部外科関東甲信越地方会, 2017年6月, 新潟

鉢呂康平, 鈴木友彰, 木下 武, 寺田真也, 坂倉玲欧, 藤野 晋, 浅井 徹
急性心筋梗塞に伴う心室中隔穿孔の手術: 悔やまれる一例
第80回 滋賀県循環器疾患研究会, 2017年6月, 滋賀

浅井 徹
「最高水準の心臓血管外科治療を目指して」滋賀医大における15年の挑戦
十全同窓会近畿支部合同総会および平成29年滋賀支部総会, 2017年6月, 彦根

浅井 徹
AMIや心不全増悪でも安定した血行動態でできる本物のOPCABを目指せ
第60回 関西胸部外科学会, 2017年6月, 大阪

鈴木友彰, 浅井 徹, 木下 武, 寺田真也, 坂倉玲欧, 藤野 晋
遠隔成績を最良にする冠動脈バイパスモデルの検証: 動脈グラフトの効果
第60回 関西胸部外科学会, 2017年6月, 大阪

榎本匡秀, 木下 武, 浅井 徹, 鈴木友彰, 寺田真也, 坂倉玲欧, 藤野 晋, 近藤康生, 南館直志, 鉢呂康平
本態性血小板血症の患者に対し中等度低体温循環停止下での上行大動脈人工血管置換と大動脈弁置換を行った一例
第60回 関西胸部外科学会, 2017年6月, 大阪

鉢呂康平, 坂倉玲欧, 南館直志, 近藤康生, 藤野 晋, 寺田真也, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹
下肢血行再建術のinflowの選択に難渋した1例 心臓手術と上行大動脈一両側大腿動脈バイパス術の同時手術例
第60回 関西胸部外科学会, 2017年6月, 大阪

近藤康生, 寺田真也, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 榎本匡秀, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹
三心房心合併僧帽弁閉鎖不全症と冠動脈病変に対して手術加療を行った一例
第60回 関西胸部外科学会, 2017年6月, 大阪

坂倉玲欧, 鉢呂康平, 南館直志, 近藤康生, 榎本匡秀, 藤野 晋, 寺田真也, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹
冠動脈バイパス術後1年で透析困難となった1例
第60回 関西胸部外科学会, 2017年6月, 大阪

森本政憲, 高島範之, 浅井 徹

OPCAB術後3日に発症したVSPの一例

第60回 関西胸部外科学会, 2017年6月, 大阪

榎本匡秀, 木下 武, 浅井 徹, 鈴木友彰, 寺田真也, 坂倉玲欧, 藤野 晋, 近藤康生, 南館直志, 鉢呂康平
弓部大動脈に浸潤した原発性左肺動脈血管肉腫に対する外科治療の経験

第60回 関西胸部外科学会, 2017年6月, 大阪

寺田真也, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹

SPY画像の分析: 閉塞と判断した症例の検討

第60回 関西胸部外科学会, 2017年6月, 大阪

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 鈴木友彰, 浅井 徹

胃癌の患者に対してコンポジットグラフトを用いて完全血行再建を行なった OPCABの一例

第60回 関西胸部外科学会, 2017年6月, 大阪

浅井 徹

低侵襲かつ最高水準の冠動脈バイパス治療

第89回 北海道シネアンジオ研究会, 2017年6月, 札幌

浅井 徹

若手医師とコメディカルが知っておくべき狭心症と治療

第22回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2017年7月, 大阪

鉢呂康平, 木下 武, 南館直志, 近藤康生, 榎本匡秀, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 寺田真也, 鈴木友彰, 浅井 徹
再冠動脈バイパス術において静脈グラフトの中枢側吻合部位確保に難渋した1例

第22回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2017年7月, 大阪

木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹

冠動脈バイパス手術における術前 SYNTAX スコアと術後の心血管イベント発生ないしグラフト閉塞の関連性

第22回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2017年7月, 大阪

寺田真也, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹

SPY画像の分析による新たなグラフト評価基準の作成

第22回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2017年7月, 大阪

浅井 徹

Butterfly technique & VSP repair

第9回 南九州心臓血管外科フォーラム, 2017年7月, 鹿児島

浅井 徹

弁膜症再手術の工夫

第22回 日本Advance Heart & Vascular Surgery/ OPCAB研究会, 2017年8月, 大阪

近藤康生, 榎本匡秀, 南館直志, 鉢呂康平, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 寺田真也, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹
高齢AS患者におけるSAVR術後の中期予後予測能としての腸腰筋面積評価の有用性

第70回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2017年9月, 札幌

木下 武, 田和正志, 岡村富夫, 鈴木友彰, 浅井 徹

Segmental Variability in Contractility of Human Right Gastroepiploic Artery

第70回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2017年9月, 札幌

寺田真也, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹

SPY画像の分析による新たなグラフト評価基準の作成と早期グラフト開存との関係

第70回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2017年9月, 札幌

浅井 徹

どこまで進化するか？大動脈弓部置換，私の工夫
第70回 日本胸部外科学会定期学術集会，2017年9月，札幌

鉢呂康平，木下 武，南館直志，近藤康生，榎本匡秀，坂倉玲欧，寺田真也，鈴木友彰，浅井 徹
大動脈弁狭窄症に対して大動脈弁置換術後3年における左室心筋重量退縮の程度と術後弁口面積の関連性
第70回 日本胸部外科学会定期学術集会，2017年9月，札幌

坂倉玲欧，浅井 徹，鉢呂康平，南館直志，近藤康生，榎本匡秀，藤野 晋，寺田真也，木下 武，鈴木友彰，浅井 徹
75歳以上の高齢者に対する冠動脈病変を合併した大動脈弁狭窄症に対するAVR+CABGの治療成績の検討
第70回 日本胸部外科学会定期学術集会，2017年9月，札幌

南館直志，藤野 晋，坂倉玲欧，寺田真也，木下 武，鈴木友彰，浅井 徹
Malperfusionを伴うA型解離87例の治療戦略と早期成績
第70回 日本胸部外科学会定期学術集会，2017年9月，札幌

浅井 徹

心臓血管外科手術のFast-Track Recovery
濃尾ハートセミナー2017，2017年11月，名古屋

木下 武，鈴木友彰，浅井 徹
Impact of Previous Percutaneous Coronary Interventions on Coronary Artery Bypass Surgery
第31回 日本冠疾患学会，2017年12月，大阪

小池雅人，白石昭一郎，鈴木友彰，浅井 徹
90歳以上の超高齢者に対してAVRとCABGを同時に行いfast-track recoveryを成し得た一症例
第31回 日本冠疾患学会，2017年12月，大阪

高島範之，森本政憲，鈴木友彰，浅井 徹
OPCABにおけるDual Antiplatelet Therapyの影響
第31回 日本冠疾患学会，2017年12月，大阪

浅井 徹

GEA成績向上の鍵はskeletonize法による最近位部GEAの採取である
第48回 日本心臓血管外科学会，2018年2月，三重

浅井 徹

経右室拡大サンドイッチ法，超急性期や後壁型でも確実にVSR閉鎖可能な術式
第48回 日本心臓血管外科学会，2018年2月，三重

近藤康生

高齢SAVR患者における客観的なFrailty評価，腸腰筋面積評価の有用性
第48回 日本心臓血管外科学会，2018年2月，三重

木下 武

僧帽弁形成術後の再発例に対する再形成術
第48回 日本心臓血管外科学会，2018年2月，三重

浅井 徹

僧帽弁複雑病変に対するLeaflet optimization and coaptation controlによる形成術
第48回 日本心臓血管外科学会，2018年2月，三重

南館直志

Cerebral malperfusionを伴う急性A型大動脈解離37例の検討
第48回 日本心臓血管外科学会，2018年2月，三重

浅井 徹

心筋梗塞後の心室中隔欠損に関する話題
南勢ハートセミナー, 2018年3月, 三重

浅井 徹

Low risk, Intermediate risk AS に対する治療法は? —TAVI or AVR—
第82回 日本循環器学会学術集会, 2018年3月, 大阪

滋賀医科大学外科学講座 (呼吸器外科)

【論文】

〈英文学術論文〉

Igarashi T, Okamoto K, Teramoto K, Kaku R, Ishida K, Ueda K, Kawaguchi Y, Hori T, Hashimoto M, Kitamura S, Tezuka N, Hanaoka J.

Clinical outcome of posterior fixation surgery in patients with vertebral metastasis of lung cancer.

Molecular and Clinical Oncology. 6(5): 770-774, 2017

Kawaguchi Y, Hanaoka J, Oshio Y, Hashimoto M, Igarashi T, Kataoka Y, Kaku R, Namura Y, Akazawa A.

Decrease in performance status after lobectomy mean poor prognosis in elderly lungcancer patients.

J Thorac Dis. 9(6): 1525-30, 2017

Igarashi T, Teramoto K, Ishida M, Hanaoka J, Daigo Y.

The mechanism of de novo expression of programmed cell death-ligand 1 in squamous cell carcinoma of the lung.

Oncol Rep. 38(4): 2189-2196, 2017

Hashimoto M, Nagatani Y, Oshio Y, Nitta N, Yamashiro T, Tsukagoshi S, Ushio N, Mayumi M, Kimoto T, Igarashi T, Yoshigoe M, Iwai K, Tanaka K, Sato S, Sonoda A, Otani H, Murata K, Hanaoka J.

Preoperative assessment of pleural adhesion by Four-Dimensional Ultra-Low-Dose Computed Tomography (4D-ULDCT) with Adaptive Iterative Dose Reduction using Three-Dimensional processing (AIDR-3D).

Eur J Radiol. 98: 179-186, 2018

【学会発表】

〈国際学会〉

Ohshio Y, Hayashi K, Okamoto K, Kaku R, Kataoka Y, Kawaguchi Y, Ohshio M, Igarashi T, Hashimoto M, Teramoto K, Hanaoka J.

The Effect of Chronic Obstructive Pulmonary Disease on the Tumor Stroma in Non-Small Cell Lung Cancer.

18th World Conference on Lung Cancer, 2017, Yokohama

Teramoto K, Namura Y, Hayashi K, Ishida K, Ueda K, Okamoto K, Kaku R, Hori T, Kawaguchi Y, Igarashi T, Hashimoto M, Ohshio Y, Ohshio M, Kitamura S, Motoishi M, Suzumura Y, Sawai S, Hanaoka J, Daigo Y.

A Phase II Study of Adjuvant Chemotherapy with Docetaxel plus Nedaplatin for Completely Resected Non-Small Cell Lung Cancer.

18th World Conference on Lung Cancer, 2017, Yokohama

Kataoka Y, Ohshio Y, Igarashi T, Teramoto K, Hanaoka J.

Tissue and Serum Levels of Galectin-3 in NSCLC Patients.

18th World Conference on Lung Cancer, 2017, Yokohama

Igarashi T, Hayashi K, Okamoto K, Kaku R, Kataoka Y, Kawaguchi Y, Hashimoto M, Ohshio Y, Teramoto K, Hanaoka J.

The Role of Pulmonary Resection in Stage IVa Non-Small Cell Carcinoma Patients.

18th World Conference on Lung Cancer, 2017, Yokohama

Kataoka Y, Ohshio Y, Igarashi T, Teramoto K, Hanaoka J.
Biological And Clinicopathological Significance of Galectin-3 Expression in Human Lung Adenocarcinoma.
22nd Asian Pacific Society of Respirology (APSR) Congress, 2017, Sydney

Hashimoto M, Nagatani Y, Ohshio Y, Nitta N, Sato S, Uemura R, Itsuno Y, Yoshigoe M, Murata K, Hanaoka J.
Preoperative Assessment of Localized Pleural Adhesion: Utility of Software-Assisted Analysis on 4-Dimensional Ultra-Low-Dose CT (4D-ULDCT).
Radiological Society of North America 2017, 103rd Annual Meeting, 2017, Chicago

〈全国学会・地方会・その他〉

賀来良輔, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳, 寺本晃治, 手塚則明
難治性有癭性膿胸に対する術式の工夫
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 神奈川

大塩恭彦, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡 淳
肺癌手術後の胸腔ドレーン留置期間における予測因子についての検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 神奈川

花岡 淳, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 寺本晃治, 手塚則明
左肺癌に対する上縦隔リンパ節郭清の工夫—左反回神経麻痺から考える—
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 神奈川

片岡瑛子, 大塩恭彦, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 賀来良輔, 五十嵐知之, 橋本雅之, 寺本晃治, 花岡 淳
肺腺がんの腫瘍間質内におけるGalectin 3の発現意義
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 神奈川

川口 庸, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳
扁平上皮癌は高齢者肺癌における術後予後不良因子である
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 神奈川

花岡 淳, 大塩恭彦, 橋本雅之, 五十嵐知之, 片岡瑛子, 川口 庸, 賀来良輔, 赤澤 彰, 苗村佑樹
不全分葉のため胸腔鏡下右肺中葉切除およびS2b+S3a区域 切除術を施行した肺癌の1例
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

川口 庸, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳
女性気胸における術後再発因子に関する検討
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

岡本圭伍, 一瀬増太郎
脊椎椎体骨折による外傷性血胸の2例
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

五十嵐知之, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口 庸, 橋本雅之, 大塩恭彦, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡 淳
胸膜播種を伴う4期非小細胞肺癌に対する手術症例の検討
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

赤澤 彰, 五十嵐知之, 苗村佑樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳, 手塚則明, 寺本晃治
非小細胞肺癌小腸転移に対する手術症例の検討
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

橋本雅之, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口 庸, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡 淳
右上葉切除後の残存下葉に発生した第2癌に対する術式選択について
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

大塩恭彦, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口 庸, 五十嵐知之, 橋本雅之, 寺本晃治, 花岡 淳
胸腔鏡下肺癌手術における創部仮閉鎖による気漏確認法についての検討
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

賀来良輔, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳, 寺本晃治, 手塚則明,
川口 庸
肺腫瘍に対する心臓外科手術時の同時肺部分切除例の検討
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

橋本雅之, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口 庸, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 寺本晃治, 手塚則明,
花岡 淳
右上葉切除後の残存下葉に発生した第2癌に対する術式選択について
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

大塩恭彦, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口 庸, 五十嵐知之, 橋本雅之, 寺本晃治, 花岡 淳
胸腔鏡下手術におけるICG蛍光内視鏡システムによる小型末梢肺癌同定の可能性
第40回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2017年6月, 長崎

五十嵐知之, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 大塩恭彦, 橋本雅之, 内田泰樹, 福永健太郎, 仲川宏昭,
山口将史, 大澤 真, 中野恭幸, 寺本晃治, 川口 庸, 花岡 淳
肺切除周術期における気道径と気道抵抗の変化
第40回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2017年6月, 長崎

岡本圭伍, 一瀬増太郎
EWS抜去困難症例に対してシングルユースビデオ気管支鏡を併用した1例
第40回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2017年6月, 長崎

林 一喜, 堀本かんな, 元石 充, 澤井 聡
左舌区支分岐異常と左肺動脈及びV1+2走行異常を伴う左上葉肺癌の一切切除例
第40回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2017年6月, 長崎

川口 庸, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳
異所性子宮内膜を認めた女性気胸の3例
第60回 関西胸部外科学会学術集会, 2017年6月, 大阪

赤澤 彰, 大塩恭彦, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之, 花岡 淳
オシメルチニブを隔日投与し治療継続できた1例
第106回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2017年6月, 大阪

五十嵐知之, 寺本晃治, 醍醐弥太郎, 他
I期非小細胞肺癌における術後再発とPD-L1蛋白発現強度との関連性
第15回 日本臨床腫瘍学会学術集会, 2017年7月, 神戸

大塩恭彦, 林 一喜, 賀来良輔, 岡本圭伍, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 花岡 淳
ICG蛍光内視鏡システムを用いた臨床研究について
第55回 近江呼吸器疾患研究会, 2017年9月, 京都

川口 庸, 花岡 淳
腹膜偽粘液腫胸腔内病変に対する手術療法
第55回 近江呼吸器疾患研究会, 2017年9月, 京都

川口 庸, 花岡 淳
横隔膜病変を伴う女性気胸手術症例の検討
第21回 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2017年9月, 久留米

林一喜, 赤澤彰, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡淳, 川口庸
鎖骨上窩リンパ節転移および胸骨浸潤を伴った進行胸腺癌に対して術前導入療法後に手術を施行した1例
第70回 日本胸部外科学会定期学術集, 2017年9月, 札幌

渡部真人, 藤野昇三, 奥村武弘, 大塩恭彦, 花岡淳
転移性肺腫瘍に対するHand Assisted Thoracoscopic Surgery (HATS)の体位の違いによる循環動態への影響について
の検討
第70回 日本胸部外科学会定期学術集, 2017年9月, 札幌

川口庸, 林一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之, 大塩恭彦, 花岡淳
高齢者肺癌に対する術後合併症発生リスクスコアの構築
第70回 日本胸部外科学会定期学術集, 2017年9月, 札幌

大塩恭彦, 赤澤彰, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口庸, 大塩麻友美, 五十嵐知之, 橋本雅之, 花岡淳
胸腔鏡下肺切除術における創部仮閉鎖によるエアリーク確認の工夫
第70回 日本胸部外科学会定期学術集, 2017年9月, 札幌

川口庸, 林一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡淳
女性気胸手術症例における術後再発因子の検討
第70回 日本胸部外科学会定期学術集, 2017年9月, 札幌

岡本圭伍, 赤澤彰, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之, 大塩恭彦, 花岡淳
肋骨骨折を伴う鈍的胸部外傷症例の検討
第70回 日本胸部外科学会定期学術集, 2017年9月, 札幌

寺本晃治, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 住本秀敏, 醍醐弥太郎
低酸素の腫瘍環境により誘導された抑制性免疫応答の制御
第76回 日本癌学会学術総会, 2017年9月, 横浜

五十嵐知之, 花岡淳, 寺本晃治, 醍醐弥太郎
非小細胞がん血清における可溶性PD-L1モニタリング
第76回 日本癌学会学術総会, 2017年9月, 横浜

片岡瑛子, 大塩恭彦, 五十嵐知之, 寺本晃治, 花岡淳
低酸素環境において肺がんの浸潤能はgalectin-3の発現上昇を介して亢進する
第76回 日本癌学会学術総会, 2017年9月, 横浜

川口庸, 花岡淳
ジオトリフの髄液中濃度を測定した癌性髄膜炎の一例
第58回 日本肺癌学会学術集会, 2017年10月, 横浜

大塩恭彦, 赤澤彰, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口庸, 大塩麻友美, 五十嵐知之, 橋本雅之, 花岡淳
COPDが肺癌微小環境に与える影響についての検討
第58回 日本肺癌学会学術集会, 2017年10月, 横浜

赤澤彰, 橋本雅之, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 寺本晃治, 花岡淳
全身化学療法後に急変した慢性腎不全合併肺癌術後再発の1例
第58回 日本肺癌学会学術集会, 2017年10月, 横浜

林一喜, 賀来良輔, 岡本圭伍, 片岡瑛子, 川口庸, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡淳
胸腔鏡下に小孔を確認した横隔膜交通症の1例
第24回 滋賀内視鏡手術研究会, 2017年11月, 草津

川口 庸, 林 一喜, 賀来良輔, 岡本圭伍, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳, 山中 晃
異なる手術手順で行った胸腔鏡下S3+舌区切除の2例
第24回 滋賀内視鏡手術研究会, 2017年11月, 草津

大塩恭彦, 林 一喜, 大塩麻友美(南京都病院), 五十嵐知之, 橋本雅之, 花岡 淳
胸腔鏡下手術での小型末梢病変の同定におけるICG蛍光内視鏡システムの有用性の検討
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

岡本圭伍, 花岡 淳, 林 一喜, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦
当科における胸腔鏡下肺亜区域切除術の検討
第37回 近畿胸腔鏡研究会, 2018年1月, 大阪

川口 庸, 花岡 淳
腹膜偽粘液腫術後有癭性膿胸の1例
第56回 近江呼吸器疾患研究会, 2018年3月, 京都

滋賀医科大学 総合外科学講座

【論文発表】

〈英文論文〉

Pham Minh N, Murata S, Kitamura N, Ueki T, Kojima M, Miyake T, Takebayashi K, Kodama H, Mekata E, Tani M.
In vivo antitumor function of tumor antigen-specific CTLs generated in the presence of OX40 co-stimulation in vitro.

Int J Cancer. 142(11): 2335-2343, 2018

〈和文論文〉

太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 目片英治, 谷 眞至
腹腔鏡下横行結腸切除後12日目に腹腔内出血をきたした1例
日本腹部救急医学会雑誌 37(5):759-761, 2017

太田裕之, 小島正継, 赤堀浩也, 郭 翔志, 井上貴至, 目片英治
卵巣嚢腫を伴う小腸閉塞に対して腹腔鏡手術を施行した1例
滋賀医大誌 31(1):1-3, 2018

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 瀬戸山 博, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当科におけるMSI検査を施行した大腸癌症例の検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

Mekata E, Tani T, Ohta H, Kojima M, Akabori H, Setoyama H, Kajiyama T, Takeshige H, Shimagaki M
Development of the lightweight surgical instrument
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

植木智之, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 赤堀浩也, 山口 剛, 森 毅,
太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
腹部CT画像を利用した腹腔鏡下結腸切除術における手術時間に影響を与える指標の検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 赤堀浩也, 山口 剛, 森 毅,
太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
当科における下部直腸癌に対するISRの治療成績と肛門機能
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

瀬戸山 博, 目片英治, 居松建司, 諏訪美雪, 松野和美, 横山京子, 北川史絵, 宮崎むつみ, 福井久枝, 長岡紀江,
西村慎悟
地域連携室を中心として稼働するがん地域医療連携活動
第10回 全国連携実務者ネットワーク連絡会, 2017年6月, 大阪

瀬戸山 博, 目片英治, 居松建司, 諏訪美雪, 松野和美, 横山京子, 宮崎むつみ, 福井久枝, 長岡紀江
包括的がん地域医療連携について～がん治療から在宅看取りまで～
第22回 日本緩和医療学会学術大会, 2017年6月, 横浜

瀬戸山 博, 目片英治, 坂野祐司, 朝日信一, 宮城暢子, 森田幸代
Narrative-based Medicineとしての術前がん化学療法
第22回 日本緩和医療学会学術大会, 2017年6月, 横浜

小島正継, 太田裕之, 岡内 博, 長谷川正人, 瀬戸山 博, 赤堀浩也, 目片英治
十二指腸癌を合併したLynch症候群の1例
第111回 滋賀県外科医師会, 2017年6月, 大津

瀬戸山 博, 目片英治
進行再発がん患者の地域医療連携デザインに関する考察
第19回 日本医療マネジメント学会学術総会, 2017年7月, 仙台

目片英治, 太田裕之, 小島正継, 富田 香, 河合由紀, 太田悦子
クリニカルパス・連携
第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

目片英治, 谷 徹, 山田篤史, 太田裕之, 赤堀浩也, 小島正継, 田畑貴久, 清水智治, 梶山隆啓, 島垣昌明
銅製手術器具にせまる樹脂製手術器具の開発
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 石川

小島正継, 油木純一, 太田裕之, 瀬戸山博, 長谷川正人, 辻川知之, 目片英治
術前小腸内視鏡の有用性に関する検討
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 石川

瀬戸山 博, 目片英治, 太田裕之, 小島正継, 油木純一, 長谷川正人
地域包括的がん診療のために外科医は何をすべきか?
How surgeons Have to Work for Integrated Community Care of Digestive Malignancies?
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 石川

赤堀浩也, 太田裕之, 小島正継, 長谷川正人, 目片英治
膵癌治療の現状
第36回 東近江総合医療センター臨床談話会, 2018年8月, 東近江

本原功二郎, 菊地克久
小児骨折の診断・治療
第36回 東近江総合医療センター臨床談話会, 2017年8月, 東近江

菊地克久, 森 幹士, 中村 陽, 本原功二郎, 米田真悟, 今井晋二
硬膜外麻酔後の胸髄硬膜外血腫による対麻痺患者の一例
第129回 中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2017年10月, 富山

本原功二郎, 菊地克久, 中村 陽, 森 幹士, 今井晋二
 ビスフォスフォネート製剤長期服用者に生じた非定型尺骨骨幹部骨折の1例
 第37回 滋賀県整形外科医会学術集会, 2017年11月, 大津

太田裕之, 小島正継, 赤堀浩也, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 遠藤善裕, 谷 徹, 谷 眞至, 目片英治
 痔核に対する新規手術器具アクロサージ®の使用経験
 第72回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2017年11月, 福岡

太田裕之
 閉塞性大腸癌における最新治療
 第23回 病診連携フォーラム, 2017年11月, 近江八幡

太田裕之, 赤堀浩也, 小島正継, 目片英治
 医学生に対する内視鏡手術教育の取り組み
 第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

小島正継, 赤堀浩也, 太田裕之, 瀬戸山 博, 長谷川正人, 目片英治
 カプセル内視鏡および小腸内視鏡を用いて術前に診断し, 腹腔鏡補助下に摘出した小腸平滑筋肉腫の1例
 第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

太田裕之, 小島正継, 山根あゆみ, 辻川知之, 伊藤明彦
 重度褥瘡を伴う飢餓状態の高齢者に対してrefeeding syndromeを念頭においた栄養管理が奏効した1例
 第33回 日本静脈経腸栄養学会学術集会, 2018年2月, 横浜

西村慎悟, 長岡紀江, 目片英治
 地域医療連携室だより
 第37回 東近江総合医療センター臨床談話会, 2018年2月, 東近江

赤堀浩也, 井上明星, 小島正継, 太田裕之, 目片英治
 術前に脂肪腫と診断され外科的切除を行った成人回腸腫重積症の1例
 第54回 日本腹部救急医学会, 2018年3月, 東京

井上明星, 小島正継, 赤堀浩也, 太田裕之, 目片英治
 異なる経過を示した小腸軸捻転症の3例
 第54回 日本腹部救急医学会, 2018年3月, 東京

小島正継, 太田裕之, 赤堀浩也, 目片英治
 当院での技術認定医を目指した取り組み
 第24回 近畿内視鏡下大腸手術研究会, 2018年3月, 京都

【プロジェクト】

目片英治(副総括事業代表者)
 研究開発課題名 日本医療研究開発機構委託 医工連携事業化推進事業「軽量樹脂製手術器具の開発・事業化」
 2017年4月1日～2018年3月31日

滋賀医科大学 革新的医療機器・システム研究開発講座

【著書】

Tani T.
 Hemoperfusion selective removal.
 Hemoperfusion, Plasmaperfusion and Other Clinical Uses of General, Biospecific, Immuno and Leucocyte Adsorbents 4: 259-264, 2017

Chang T. M. S, Endo Y, Nikolaev V. G, Tani T, Yu Y, Zheng W.-H.

Hemoperfusion, plasmaperfusion and other clinical uses of general, biospecific, immuno and leucocyte adsorbents.
Hemoperfusion, Plasmaperfusion and Other Clinical Uses of General, Biospecific, Immuno and Leucocyte Adsorbents 4: 1-1004, 2017

【論文】

〈英文学術論文〉

Tanaka A, Yamada A, Umeda T, Kaneko C, Shimizu T, Naka S, Tani T, Tani M.

Predictive detection areas for identifying additional MRI-detected breast lesions on second-look ultrasonography.
Surgery Today. 47(11): 1321-1330, 2017

Yamada A, Naka S, Nitta N, Morikawa S, Tani T.

A Loop-Shaped Flexible Mechanism for Robotic Needle Steering.
IEEE Robotics and Automation Letters. 3(2): 648-655, 2017

〈和文学術論文〉

山田篤史, 仲成幸, 森川茂廣, 新田哲久, 谷徹

弾性アームに基づく操舵可能な針の屈曲機構

日本ロボット学会誌 35(7): 539-547, 2017

山田篤史, 新田哲久, 仲成幸, 森川茂廣, 谷徹

ループ型弾性屈曲機構を用いた針のステアリング性能評価

J JSCAS 19(4): 367-368, 2017

谷徹, 仲成幸, 山田篤史, 谷総一郎

マイクロ波機器の歴史と今後の展望

外科 79(12): 1160-1164, 2017

【学会発表】

〈国際学会〉

Naka S, Yamada A, Tani S, Murakami K, Tokuda J, Hata N, Morikawa S, Tani T.

Minimally invasive endoscopic surgery using real-time MR-Image-Guidance.
CARS 2017 Computer Assisted Radiology and Surgery, 2017 Jun, Barcelona

Yamada A, Nitta N, Naka S, Morikawa S, Tani S, Tani T.

A 1.7 Fr. Steerable Microcatheter Based on a Loop-Shaped Guidewire.

CARS 2017 Computer Assisted Radiology and Surgery, 2017 Jun, Barcelona

Yamada A, Naka S, Nitta N, Morikawa S, Tani S, Tani T.

An Adaptive Steerable Needle Based on a Loop-Shaped Flexible Arm.

CARS 2017 Computer Assisted Radiology and Surgery, 2017 Jun, Barcelona

Yamada A, Naka S, Tokuda J, Tani T, Morikawa S.

An Accuracy Assessment of Hybrid Image Navigation System with MR and Ultrasound to Assist Needle Puncture.

CARS 2017 Computer Assisted Radiology and Surgery, 2017 Jun, Barcelona

Nitta N, Yamada A, Watanabe S, Sonoda A, Ota S, Tani T, Inoue A, Naka S, Morikawa S, Murata K.

Needle Steering Methods Based on a Loop-Shaped Flexible Mechanism.

RSNA2017, 2017 Nov, Chicago

〈全国学会・地方会・その他〉

谷徹

本邦発手術支援器具 Acrosurgの臨床報告 —剥離操作可能なマイクロ波器具—

第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

仲 成幸, 山田篤史, 谷 総一郎, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 飯田洋也, 森川茂廣, 谷 眞至, 谷 徹
高磁場MRI対応電子内視鏡によるMR画像誘導手術システムの開発
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

Nitta N, Yamada A, Watanabe S, Sonoda A, Ota S, Inoue A, Naka S, Morikawa S, Tani T, Murata K.
Development of Novel Steerable Needle using Active Sheath Mechanism.
第76回 日本医学放射線学会総会 (JRS2017), 2017年4月, 横浜

Nitta N, Yamada A, Watanabe S, Naka S, Morikawa S, Ota S, Sonoda A, Inoue A, Tani T, Murata K.
A Steerable Microcatheter “Active Sheath” based on Novel Flexible Mechanism(新機構に基づく先端可動マイクロカテーテルの開発)
第46回 日本IVR学会総会, 2017年5月, 岡山

新田哲久, 山田篤史, 渡邊尚武, 井上明星, 大田信一, 仲 成幸, 森川茂廣, 谷 徹, 村田喜代史
先端可動型マイクロカテーテルと操舵可能な穿刺針の開発—Active Sheath Mechanismを用いて
第3回 日本穿刺ドレナージ研究会大阪, 2017年6月, 大阪

Murakami K, Naka S, Yamada A, Iida H, Kitamura N, Maehira H, Akabori H, Tatsuta T, Tani T, Tani M.
3D Port Position Simulator for Laparoscopic Liver Surgery Based on “Ray-Tracking Method”.
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

山田篤史, 新田哲久, 仲 成幸, 森川茂廣, 谷 徹
ループ型弾性屈曲機構を用いた針のステアリング性能評価
第26 日本コンピュータ外科学会大会, 2017年10月, 名古屋

【対外活動(テレビ放送)】

世界一受けたい授業 最先端の血の出ないメス“アクロサージ”, 2017年8月19日, 日本テレビ(読売放送)

夢の鍵 #46 手術に革命…『血の出ないメス』, 2017年9月2日, BS-TBS

滋賀医科大学臨床看護学講座 (クリティカル)

【著書】

Chang T M S, Endo Y, Nikolaev V G, Tani T, Yu Y, Zheng W-H.
Hemoperfusion, Plasmaperfusion and Other Clinical Uses of General, Biospecific, Immuno and Leucocyte Adsorbents.
Regenerative Medicine, Artificial Cells and Nanomedicine. Volume 4, 2017

【学会発表】

〈国際学会〉

Endo Y, Shimizu T, Tani T.
Apheresis therapy in septic patients - the Japanese perspective.
The 11th ISFA Congress, 2017.5, Copenhagen

Shimizu T, Endo Y, Tani M, Miyake T, Tabata T, Eguchi Y, Tan T.
The prognosis and indication of blood purification in a patient with colorectal perforation according to new definition of Sepsis-3.
The 11th ISFA Congress, 2017.5, Copenhagen

Endo Y.
Recent advances in critical care apheresis in Japan.
2nd Congress of the European Group-International Society for Apheresis, 2018.3, Vienna

〈全国学会〉

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 竹林克士, 飯田洋也, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当科におけるStage II-III 直腸癌に対する側方リンパ節郭清の成績と問題点
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

植木智之, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
当院における術前科学療法施工後の進行直腸癌切除例の検討
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 太田裕之, 竹林克士, 飯田洋也, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
双孔式回腸人工肛門創設術後における短期合併症についての検討—潰瘍性大腸炎手術と大腸癌手術の比較
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

植木智之, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 寺田好孝, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 森 毅,
山口 剛, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院における進行結腸癌に対する腹腔鏡下切除術の治療成績
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年7月, 東京

寺本和雄, 遠藤善裕, 上田祐二, 村井亮介, 伊藤 靖, 小笠原一誠
LAP陽性T細胞吸着材カラムの癌治療への応用
第26回 日本次世代人工腎臓研究会(第55回 日本人工臓器学会大会とジョイント開催), 2017年9月, 東京

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 竹林克士, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
Early tumor shrinkage(ETS)を目指した進行大腸癌に対するTriplet regimenを用いた治療戦略
第72回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2017年11月, 福岡

太田裕之, 小島正継, 赤堀浩也, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 遠藤善裕, 谷 徹, 谷 眞至
痔核に対する新規手術器具アクロサージ®の使用経験
第72回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2017年11月, 福岡

清水智治, 小幡 徹, 園田寛道, 三宅 亨, 遠藤善裕, 谷 徹, 谷 眞至
潰瘍性大腸炎手術症例でのESP法でのエンドトキシン推移の検討
第23回 日本エンドトキシン・自然免疫研究会, 2017年12月, 西宮

滋賀医科大学基礎看護学講座（形態・生理）

【著書】

日本医学英語教育学会 編(共著: 相見良成)
Diabetes mellitus.
医学・医療系学生のための 総合医学英語テキスト Step2, 89-102, 2017

【論文発表】

〈英文学術論文〉
Blume M, Inoguchi F, Sugiyama T, Owada Y, Osumi N, Aimi Y, Taki K, Katsuyama Y.
Dab1 contributes differently to the morphogenesis of the hippocampal subdivisions.
Dev Growth Differ. 59(8): 657-673, 2017

Kinoshita T, Tawa M, Suzuki T, Aimi Y, Asai T, Okamura T.
Suppression of Graft Spasm by the Particulate Guanylyl Cyclase Activator in Coronary Bypass Surgery.
Thorac Surg. 104(1): 122-129, 2017

關連病院業績

赤穂市民病院 外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

吉田真也, 近藤祐平, 赤神正敏, 高原秀典, 横山 正
消化管出血にて発症した内翻Meckel憩室による成人腸重積症
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

吉田真也, 近藤祐平, 赤神正敏, 高原秀典, 横山 正
腹腔鏡下直腸切断術における後腹膜経路人工肛門造設の有用性
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

近藤祐平, 吉田真也, 赤神正敏, 高原秀典, 横山 正
横隔膜ヘルニアに対して腹腔鏡下修復術をした1例
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

吉田真也, 近藤祐平, 赤神正敏, 高原秀典, 横山 正, 室井延之, 田淵 亨, 瀬尾早百合, 坂本由規子
胃全摘症例における経鼻経管栄養チューブを用いた術後早期経腸栄養の有用性の検討
第33回 日本静脈経腸栄養学会学術集会, 2018年2月, 岡山

吉田真也, 近藤祐平, 赤神正敏, 高原秀典, 横山 正
膿瘍形成性虫垂炎に対して, 待機的腹腔鏡下虫垂切除術を施行した2例
第54回 日本腹部救急医学会総会, 2018年3月, 東京

医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 外科

【論文】

〈和文学術論文〉

永藪和也, 久保田良浩
生後2か月で発症したadenomyomaによる腸重積症の1例
日本小児外科学会雑誌 54(1): 108-110, 2018

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

永藪和也, 久保田良浩, 長野心太
卵管捻転を契機に見つかった両側傍卵管嚢腫の1例
第54回 日本小児外科学会学術集会, 2017年5月, 仙台

長野心太, 久保田良浩, 永藪和也, 松木豪志, 新美雄大, 仲原英人, 高岸智子, 日並淳介, 伊東真哉, 陳 孟鳳,
三瀬圭一, 金児 潔, 仲井 理, 増田道彦
小児期に発見された精液瘤の2例
第53回 日本小児外科学会近畿地方会, 2017年8月, 京都

新美雄大, 久保田良浩, 松木豪志, 長野心太, 仲原英人, 高岸智子, 日並淳介, 梶原正章, 伊東真哉, 陳 孟鳳,
三瀬圭一, 金児 潔, 仲井 理, 増田道彦
当院における経肛門的直腸異物5例の検討
第9回 日本Acute Care Surgery学会学術集会, 2017年9月, 札幌

長野心太, 久保田良浩, 松木豪志, 新美雄大, 仲原英人, 高岸智子, 日並淳介, 梶原正章, 陳 孟鳳, 金児 潔,
仲井 理, 増田道彦
成人腸間膜嚢胞の一例
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

高岸智子, 久保田良浩, 新美雄大, 松木豪志, 長野心太, 梶原正章, 陳孟鳳, 金児潔, 仲井理, 増田道彦
穿孔性十二指腸悪性リンパ腫の集学的治療の検討
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

長野心太, 松木豪志, 新美雄大, 仲原英人, 高岸智子, 日並淳介, 梶原正章, 金児潔, 陳孟鳳, 久保田良浩
圧搾空気による結腸穿孔で腹部コンパートメント症候群(ACS)を呈した1例
第54回 日本腹部救急学会総会, 2018年3月, 東京

近江八幡市立総合医療センター 心臓血管外科

【論文】

〈和文学術論文〉

宮下史寛, 細川洋平, 平松範彦, 松林景二
冠動脈バイパス術後に発生した右冠動脈瘤に対して瘤切除と冠動脈バイパス術を行った一例
日本冠疾患学会雑誌 23(3), 2017

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

宮下史寛, 平松範彦, 松林景二
腹部大動脈瘤に対する開腹人工血管置換術後に発症した右総大腿動脈瘤を伴う左巨大腸骨動脈瘤切迫破裂に対する手術の一例
第45回 日本血管外科学会学術集会, 2017年4月, 広島

宮下史寛, 平松範彦, 松林景二
当科における自己心膜を用いた大動脈形成術の二例
第60回 関西胸部外科学会学術集会, 2017年6月, 大阪

宮下史寛, 平松範彦, 松林景二
心筋血流予備量比測定中にプレッシャーワイヤーが断裂し, 外科的摘除を行った一例
第31回 日本冠疾患学会学術集会, 2017年12月, 大阪

医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 心臓血管外科

【学会発表】

〈国際学会〉

Furuya O, Higashiue S, Kuroyanagi S, Komooka M, Hiramatsu N, Kojima S, Wakabayashi N.
The PETTICOAT technique for malperfusion which occurred after the operation of Debakay type I aortic dissection; report of a case.
18th Congress of Asian Society for Vascular Surgery, 2017 Oct, Kuala Lumpur

Komooka M, Higashiue S, Kuroyanagi S, Furuya O, Hiramatsu N, Kojima S, Wakabayashi N.
Our clinical outcomes of the PETTICOAT technique for aortic dissection.
18th Congress of Asian Society for Vascular Surgery, 2017 Oct, Kuala Lumpur

〈全国学会・地方会・その他〉

畔柳智司, 東上震一, 薦岡成年, 降矢温一, 平松範彦, 小島三郎, 若林尚宏
CABGの術式選択
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

畔柳智司, 東上震一, 薦岡成年, 降矢温一, 平松範彦, 小島三郎, 若林尚宏
Ⅲb型逆行性standordA型解離の治療と成績
第45回 日本血管外科学会総会, 2017年4月, 広島

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 小島三郎, 若林尚宏
Stanford B型大動脈解離に対するTEVAR
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 小島三郎, 若林尚宏
当科におけるStanford B型大動脈解離に対するTEVARの治療成績
第45回 日本血管外科学会総会, 2017年4月, 広島

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 小島三郎, 若林尚宏
The clinical outcomes and strategies of PETTICOAT for aortic dissection.
第60回 関西胸部外科学会学術集会, 2017年6月, 大阪

降矢温一, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 平松範彦, 小島三郎, 若林尚宏
性状不良冠動脈病変に対するlong onlay patch graftingの成績
第70回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2017年9月, 札幌

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 平松範彦, 小島三郎, 若林尚宏
大動脈解離に対するPETTICOAT techniqueを用いたTEVARの有用性
第70回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2017年9月, 札幌

畔柳智司, 東上震一, 薦岡成年, 降矢温一, 平松範彦, 小島三郎, 若林尚宏
NOAC内服中の急性A型大動脈解離
第58回 日本脈管学会総会, 2017年10月, 名古屋

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 平松範彦, 小島三郎, 若林尚宏
大動脈解離に対するPETTICOAT techniqueの治療成績
第58回 日本脈管学会総会, 2017年10月, 名古屋

降矢温一, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 平松範彦, 小島三郎, 若林尚宏
非透析腎機能障害患者のCABG成績
第31回 日本冠疾患学会学術集会, 2017年12月, 大阪

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 平松範彦, 小島三郎, 若林尚宏
大動脈炎症候群に合併する冠動脈病変へのCABG
第31回 日本冠疾患学会学術集会, 2017年12月, 大阪

畔柳智司, 東上震一, 薦岡成年, 降矢温一, 平松範彦, 小島三郎, 若林尚宏
心室中隔穿孔の外科治療 当院の術式と成績
第31回 日本冠疾患学会学術集会, 2017年12月, 大阪

畔柳智司, 東上震一, 薦岡成年, 降矢温一, 平松範彦, 小島三郎, 若林尚宏
Cabrol型手術の長期予後
第48回 日本心臓血管外科学会学術集会, 2018年2月, 津

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 平松範彦, 小島三郎, 若林尚宏
Stanford B型大動脈解離に対するPETTICOAT法
第48回 日本心臓血管外科学会学術集会, 2018年2月, 津

降矢温一, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 平松範彦, 小島三郎, 若林尚宏
非透析腎機能障害患者のCABG成績
第48回 日本心臓血管外科学会学術集会, 2018年2月, 東京

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 平松範彦, 小島三郎, 若林尚宏
The PETTICOAT Technique for Stanford Type B Aortic Dissection.
第82回 日本循環器学会学術集会, 2018年3月, 大阪

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 呼吸器外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

林一喜, 堀本かんな, 元石 充, 澤井 聡
組織補強材一体型自動縫合器の切除断端によると考えられる術後出血の一例
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

堀本かんな, 林一喜, 元石 充, 澤井 聡
肺原発多形癌11切除例の検討
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

元石 充, 堀本かんな, 林一喜, 澤井 聡
再発後の経過や治療まで含めたCPFE合併肺癌手術症例の検討
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

堀本かんな, 林一喜, 元石 充, 澤井 聡
気管支腺様嚢胞癌の1切除例
第40回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2017年6月, 長崎

林一喜, 堀本かんな, 元石 充, 澤井 聡
左舌区枝分岐異常と左肺動脈及びV1+2走行異常を伴う左上葉肺癌の1切除例
第40回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2017年6月, 長崎

林一喜, 堀本かんな, 元石 充, 澤井 聡
原発性肺癌手術症例における術後せん妄についての検討
第70回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2017年9月, 札幌

堀本かんな, 林一喜, 元石 充, 澤井 聡
自然退縮した胸腺癌の1例
第55回 近江呼吸器疾患研究会, 2017年9月, 京都

堀本かんな, 林一喜, 元石 充, 澤井 聡
自然退縮した胸腺癌の1例
第58回 日本肺癌学会学術集会, 2017年10月, 横浜

林一喜, 堀本かんな, 元石 充, 澤井 聡
抗PD-1抗体投与中に水疱性類天疱瘡を発症した1例
第58回 日本肺癌学会学術集会, 2017年10月, 横浜

京都第一赤十字病院 乳腺外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

糸井尚子, 御領園祥子, 北野早映, 岡田有紀, 本田晶子, 岸本拓磨, 小谷達也, 李 哲柱
当院における進行再発乳癌に対するエリブリンの使用成績
第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

李 哲柱, 小谷達也, 糸井尚子, 本田晶子, 岸本拓磨, 北野早映, 岡田有紀, 御領園祥子
 当院における乳癌肝転移症例に対するBevacizumabとpaclitaxel併用療法の有用性の検討
 第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

北野早映, 小谷達也, 御領園祥子, 岡田有紀, 本田晶子, 岸本拓磨, 糸井尚子, 李 哲柱
 治療中にHER2が陰転化したLuminal B HER2 type乳癌の一例
 第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

小谷達也, 李 哲柱, 糸井尚子, 本田晶子, 岸本拓磨, 北野早映, 岡田有紀
 当院におけるBevacizumabの治療経験
 第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

本田晶子, 北野早映, 岸本拓磨, 糸井尚子, 小谷達也, 李 哲柱
 当院におけるペルツヅマブの使用経験
 第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

李 哲柱, 小谷達也, 糸井尚子, 本田晶子, 北野早映, 御領園祥子
 内分泌療法耐性後HER2陰性ER陽性進行再発乳癌とトリプルネガティブ進行再発乳癌のエリブリン治療効果の比較
 第15回 日本臨床腫瘍学会, 2017年7月, 神戸

李 哲柱, 小谷達也, 糸井尚子, 本田晶子, 北野早映
 センチネルリンパ節生検転移陰性のため腋窩リンパ節郭清省略後腋窩リンパ節に再発した乳癌の1例
 第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

公益社団法人京都保健会 京都民医連中央病院 外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

川島市郎, 鳥取洋昭, 名嘉山一郎, 村澤哲也, 野口正仁, 岡田春太郎, 鈴木 卓
 超高齢者(85才以上)大腸癌患者49例の周術期管理からみた課題
 第18回 全日本民医連消化器研究会in新潟, 2018年3月, 新潟

社会医療法人誠光会 草津総合病院 一般・消化器外科

【著書】

山本 寛(編集:佐々木章, 笠間和典)
 肥満・糖尿病外科治療総論・メタボリックサージェリーの費用対効果
 肥満糖尿病の外科治療 85-89, 2017(メディカ出版)

山本 寛, (企画:横手幸太郎)
 第3章 肥満症の治療・肥満症の外科治療
 最新医学(別冊)・診断と治療のABC 78-85, 2017(最新医学社)

【論文】

〈英文学術論文〉

Murata S, Yamamoto H, Naitoh H, Yamaguchi T, Kaida S, Shimizu T, Shiomi H, Naka S, Tani T, Tani M.
 Feasibility and safety of hyperthermic intraperitoneal chemotherapy using 5-fluorouracil combined with
 cisplatin and mitomycin C in patients undergoing gastrectomy for advanced gastric cancer.
 J Surg Oncol. 116(8): 1159-1165, 2017

Goto Y, Mizumoto A, Hirano M, Takao N, Ichinose M, Noguchi K, Kasyu I, Ishida M.
A case of ovarian growing teratoma syndrome treated by cytoreductive surgery.
International Cancer Conference Journal. 2017

Inoue A, Furukawa A, Yamamoto H, Ohta Si, Linh NDH, Syerikjan T, Kaida S, Yamaguchi T, Murata S, Obata T, Tani M, Murata K.
Acceleration of small bowel motility after oral administration of dai-kenchu-to (TJ-100) assessed by cine magnetic resonance imaging.
PLoS One. 13(1): e0191044, 2018

Murata S, Yamamoto H, Shimizu T, Naitoh H, Yamaguchi T, Kaida S, Takebayashi K, Miyake T, Tani T, Tani M.
5-fluorouracil combined with cisplatin and mitomycin C as an optimized regimen for hyperthermic intraperitoneal chemotherapy in gastric cancer.
J Surg Oncol. 117(4): 671-677, 2018

〈和文学術論文〉

Linh NDH, Furukawa A, Taniguchi A, Chen YW, Tateyama T, Inoue A, Kanasaki S, Wakamiya M, Tulyeubai S, Maeda K, Yamamoto H, Mizumoto A, Andoh A.
Computerized Assessment of Small Bowel Motility Function Using Cine-MR Imaging. Preliminary Results in Super-Pixel Segmental Method.
交通医学 71(3)(4): 88-96, 2017

山本 寛

肥満症の外科治療—適応, 現状, 将来展望—
The Lipid・肥満症診療ガイドライン2016, 128(4): 62-67, 2017(メディカルレビュー社)

山本 寛

消化管ホルモンからみた減量手術
消化器・肝臓内科・消化管ホルモンup to date, 3(2): 147-152, 2018(科学評論社)

【学会発表】

〈国際学会〉

Yamamoto H, Ooe Y, Ozamoto Y, Togawa T, Hagiwara A.
The cost of bariatric surgery in Japan
APMBSS 2018, 東京

〈全国学会・地方会・その他〉

山本 寛, 小座本雄軌, 戸川 剛, 野口耕右, 一瀬真澄, 高尾信行, 水本明良, 平野正満, 貝田佐知子, 山口 剛, 谷 眞至
スリーブ状胃切除と術前フォーミュラ食による減量・糖尿病改善効果と腸内細菌叢の変化
第117回 日本外科学会, 2017年4月, 横浜

山本 寛, 小座本雄軌, 戸川 剛, 萩原明於, 小林 純, 鷲山美樹, 巖西真規, 柏木厚典
本邦におけるバリアトリック・メタボリックサージェリーの現状と問題点
第90回 日本内分泌学会学術総会, 2017年4月, 京都

水本明良

大腸癌腹膜播種に対する腹膜切除術の術後成績と術前腫瘍マーカーの検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

水本明良

腹膜偽粘液腫に対する腹膜切除術の術後成績と術前腫瘍マーカーの検討
第103回 日本消化器病学会総会, 2017年4月, 東京

一瀬真澄

大腸癌腹膜播種に対する完全切除群と減量手術群の比較検討
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

水本明良

腹膜切除術と温熱化学療法後の術後成績
第34回 大会日本ハイパーサーミア学会, 2017年9月, 京都

一瀬真澄

腹腔鏡下温熱化学療法の安全性と合併症
第34回 大会日本ハイパーサーミア学会, 2017年9月, 京都

一瀬真澄

腹腔鏡下温熱化学療法の方法と合併症
第34回 大会日本ハイパーサーミア学会, 2017年9月, 京都

山本 寛

肥満2型糖尿病に対する外科治療
第9回 東播磨糖尿病教育セミナー, 2017年10月, 加古川

山本 寛, 大江康光, 小座本雄軌, 戸川 剛, 萩原明於, 東長 佳, 手塚祐司, 山本有香子, 小林 純, 鷲山美樹, 巖西真規, 柏木厚典

メタボリックサージェリーの適応 —術式別の安全性の観点から—
第38回 日本肥満学会, 2017年10月, 大阪

水本明良

大腸癌腹膜播種に対する包括的治療
JDDW2017(第25回 日本消化器関連学会週間), 2017年10月, 福岡

水本明良

腹膜偽粘液腫に対する腹膜切除施行症例での病理組織型検討
第55回 日本癌治療学会学術集会, 2017年10月, 横浜

水本明良

大腸癌腹膜播種に対する腹膜切除術と温熱化学療法の手術成績
第79回 日本臨床外科学会, 2017年11月, 東京

山本 寛, 小座本雄軌, 戸川 剛, 萩原明於, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 谷 眞至

スリーブ状胃切除術の糖尿病改善の予測について—2施設のデータの集計から—
第30回 日本内視鏡外科学会, 2017年12月, 京都

山本 寛

バリアトリック メタボリックサージェリー —糖尿病に対する外科手術とは?—
神戸市医師会学術講演会, 神戸

一瀬真澄

腹膜偽粘液腫の術後の栄養管理 —胃全摘結腸全摘症例にHPNは必要か—
第33回 日本静脈経腸栄養学会学術集会, 2018年2月, 横浜

山本 寛

肥満外科治療の医療経済効果
第9回 肥満症総合治療セミナー, 2018年3月, 大阪

山本 寛

生活習慣病改善指導 肥満外科手術のチーム医療における薬局薬剤師の役割
星薬科大学認定薬剤師研修 日本肥満学会連携講座, 2018年3月, 東京

社会医療法人誠光会 草津総合病院 呼吸器外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Kawaguchi Y, Hanaoka J, Oshio Y, Hashimoto M, Igarashi T, Kataoka Y, Kaku R, Namura Y, Akazawa A.
Decrease in performance status after lobectomy mean poor prognosis in elderly lungcancer patients.
J Thorac Dis. 9(6): 1525-30, 2017

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

川口 庸, 赤澤 彰, 苗村祐樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳
扁平上皮癌は高齢者肺癌における術後予後不良因子である
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017 4月, 横浜

川口 庸, 赤澤 彰, 苗村祐樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳
女性気胸における術後再発因子に関する検討
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

川口 庸, 赤澤 彰, 苗村祐樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳
異所性子宮内膜を認めた女性気胸の3例
第60回 関西胸部外科学会学術集会, 2017年6月, 大阪

川口 庸, 花岡 淳

横隔膜病変を伴う女性気胸手術症例の検討
第21回 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2017年9月, 久留米

川口 庸, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳
高齢者肺癌に対する術後合併症発生リスクスコアの構築
第70回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2017年9月, 札幌

川口 庸, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳
女性気胸手術症例における術後再発因子の検討
第70回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2017年9月, 札幌

川口 庸, 花岡 淳

ジオトリフの髄液中濃度を測定した癌性髄膜炎の一例
第58回 日本肺癌学会学術集会, 2017年10月, 横浜

川口 庸, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳, 山中 晃
異なる手術手順で行った胸腔鏡下S3+舌区切除の2例
第24回 滋賀内視鏡手術研究会, 2017年11月, 草津

公立甲賀病院 呼吸器外科

【学会発表】

〈全国学会〉

藤田琢也, 白鳥琢也

胸腔鏡下心膜開窓術時に発見された心血管腫の一例

第58回 日本肺癌学会総会, 2017年10月, 横浜

白鳥琢也, 藤田琢也

気道出血と血胸を認めた易出血性肺多型癌の一例

第58回 日本肺癌学会総会, 2017年10月, 横浜

社会医療法人天神会 古賀病院 21 消化器外科

【学会発表】

〈全国学会〉

池添清彦, 山口方規, 磯本浩晴, 徳永 蔵

PDM(Persistent Descending Mesocolon)に合併したS状結腸癌に対して腹腔鏡下手術を行った1例

第72回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2017年11月, 福岡

滋賀県立総合病院 呼吸器内科

【論文】

〈和文学術論文〉

杉山陽介, 中治仁志, 阪森優一, 寺下 聡, 塩田哲広

脳脊髄液と血漿のCrizotinib濃度を測定した高齢者ALK融合遺伝子陽性肺腺癌の1例

肺癌 57(7): 832-837, 2018

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

石床 学, 塩田哲広

ALK検査について

Meet the Professor on Lung Cancer, 2017年4月, 大津

橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広, 徳野純子, 横山雄平, 菊地柳太郎, 川上賢三
肺癌治療におけるニボルマブの意義

第57回 日本呼吸器学会学術講演会, 2017年4月, 東京

石床 学, 橋本健太郎, 野原 淳, 渡邊壽規, 塩田哲広, 徳野純子, 横山雄平, 菊地柳太郎, 川上賢三
肺癌におけるRe-biopsyの臨床的意義

第57回 日本呼吸器学会学術講演会, 2017年4月, 東京

山口耕介, 片山 覚, 河崎雄司, 牧野晴彦, 山崎 章, 井岸 正, 塩田哲広, 清水英治
LMS法による日本人の新しいスパイログラム基準値について

第57回 日本呼吸器学会学術講演会, 2017年4月, 東京

橋本健太郎, 塩田哲広

当院におけるニンテグニブの使用経験

呼吸器科医のためのIPFフォーラム in 京都, 2017年5月, 京都

石床 学, 塩田哲広

ここまでできるCTガイド下生検

第1回 西日本呼吸器疾患研究交流会, 2017年5月, 神戸

塩田哲広

これが私たちがもっている免疫の底力です

最近のがん薬物療法の話, 2017年5月, 守山

塩田哲広, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規

局所麻酔下胸腔鏡検査の結果, 腺癌と小細胞癌の併存が疑われた原発性肺癌の2例

第40回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2017年6月, 長崎

石床 学, 橋本健太郎, 野原 淳, 渡邊壽規, 塩田哲広

局所麻酔下胸腔鏡検査後に発生した難治性気胸の2例

第40回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2017年6月, 長崎

野原 淳, 橋本健太郎, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広

肺癌による悪性気道狭窄にAEROハイブリッドステントを留置した1例

第40回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2017年6月, 長崎

塩田哲広, 河村哲治, 野口哲男, 山口将司, 西岡慶善

特発肺線維症 (IPF) 治療と薬物導入の意義

ニンテタニブ座談会, 2017年6月, 京都

石床 学, 橋本健太郎, 野原 淳, 渡邊壽規, 塩田哲広

CTガイド下生検にて診断した長径7mm小型肺癌の2例

第106回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2017年6月, 大阪

橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広

Pembolizumabが著効した低分化肺腺癌の2例

第106回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2017年6月, 大阪

塩田哲広

ペンブロリズマブ投与前にTILの解析を行った1例

第18回 KTORG講演会, 2017年7月, 大阪

塩田哲広, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規

メポリズマブが著効した難治性喘息の1例

第89回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2017年7月, 大阪

石床 学, 橋本健太郎, 野原 淳, 渡邊壽規, 塩田哲広

喀血で発見された遺伝性出血性毛細血管拡張症 (HHT) の1例

第89回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2017年7月, 大阪

橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広

CTガイド下生検で診断したランゲルハンス細胞組織球症の1例

第89回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2017年7月, 大阪

駄賀晴子, 梅村茂樹, 大江裕一郎, 塩田哲広, 藤田昌樹, 古屋直樹, 津田岳志, 森瀬昌宏, 松本慎吾, 後藤功一

小細胞肺癌の前向き遺伝子スクリーニングLC-SCRUM Japan

第15回 日本臨床腫瘍学会, 2017年7月, 神戸

西本光希, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広

局所麻酔下胸腔鏡検査で診断しEWSで治療した有癭性アスペルギルス膿胸の1例

NPO法人西日本呼吸器内科医療推進機構 平成29年度夏季学術集会, 2017年7月, 大津

橋本健太郎, 西本光希, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
シネMRIで呼吸運動を評価した肥満低換気症候群の1例
西日本呼吸器内科医療推進機構平成29年度夏季学術集会, 2017年7月, 大津

渡邊壽規, 塩田哲広
ニボルマブを活かす治療戦略
がん免疫療法カンファレンスin 滋賀, 2017年8月, 草津

橋本健太郎, 塩田哲広
Think about cancer immunotherapy and target therapy in NSCLC
Sceientific Exchange Meeting in 京滋, 2017年9月, 京都

石床 学, 橋本健太郎, 野原 淳, 渡邊壽規, 横山雄平, 菊地柳太郎, 川上賢三, 塩田哲広
肺癌におけるEGFR-TKI耐性症例の臨床的検討
第58回 日本肺癌学会学術集会, 2017年10月, 横浜

橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
10mm以下の肺野小型病変に対するCTガイド下生検の意義
第58回 日本肺癌学会学術集会, 2017年10月, 横浜

塩田哲広, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規
非小細胞肺癌におけるPD-L1検査の臨床的意義
第58回 日本肺癌学会学術集会, 2017年10月, 横浜

橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
腫瘍のPD-L1の発現は本当に免疫チェックポイント阻害薬のバイオマーカーになりえるのか?
第5回 滋賀胸部医会学術講演会, 2017年10月, 大津

塩田哲広
免疫ってなに?
第95回 がん診療セミナー 肺がん県民公開講座, 2017年11月, 守山

渡邊壽規, 塩田哲広
癌の免疫療法とは
第95回 がん診療セミナー 肺がん県民公開講座, 2017年11月, 守山

橋本健太郎, 塩田哲広
肺がんの個別化医療ってどういうこと?
第95回 がん診療セミナー 肺がん県民公開講座, 2017年11月, 守山

野原 淳, 塩田哲広
だから組織を採取することが重要なのです
第95回 がん診療セミナー 肺がん県民公開講座, 2017年11月, 守山

塩田哲広
PD-L1発現状況に応じたNSCLC治療戦略
第3回 滋賀肺癌Round Table Meeting, 2017年11月, 草津

塩田哲広, 河野文彦, 稲葉洋美, 渡邊壽規, 西村みゆき, 土肥 誠, 谷口裕美, 一宮 睦, 山本善啓, 新宅雅幸,
橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学
細胞診のメラニン顆粒が診断に有効であった肺原発悪性黒色腫の1例
第56回 日本臨床細胞学会秋季大会, 2017年11月, 福岡

木村佳代, 西本光希, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
気管切開後に続発した気管軟化症に対してAEROステントを留置した1例
第120回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2107年12月, 大阪

西本光希, 木村佳代, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
EWSが奏功した有癭性肺アスペルギルス膿胸の1例
第120回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2107年12月, 大阪

橋本健太郎, 木村佳代, 西本光希, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
シネMRI画像で胸壁の運動を観察した肥満低換気症候群の1例
第120回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2107年12月, 大阪

塩田哲広, 橋本健太郎, 木村佳代, 西本光希, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 杉山栄里, 富樫陽介, 西川博嘉
ペムボリズマブ無効症例で腫瘍内浸潤リンパ球の解析を施行した肺多形癌(PD-L1 TPS90%)の1例
第120回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2107年12月, 大阪

石床 学, 橋本健太郎, 木村佳代, 西本光希, 野原 淳, 渡邊壽規, 塩田哲広
CTガイド下生検で診断した肺癌術後断端再発の1例
第120回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2107年12月, 大阪

橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広, 河野文彦, 山本喜啓, 新宅雅幸
TBLB, CTガイド下生検では確定診断が得られず胸腔鏡下縦隔リンパ節生検を施行したHodgkinリンパ腫の一例
第107回 日本肺癌学会関西支部会, 2018年2月, 大阪

塩田哲広, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 新宅雅幸
SVC症候群で発症した悪性心膜中皮腫の一例
第107回 日本肺癌学会関西支部会, 2018年2月, 大阪

石床 学, 橋本健太郎, 野原 淳, 渡邊壽規, 塩田哲広
反応性中皮腫(RMH)と悪性胸膜中皮腫(MPH)の鑑別目的でp16遺伝子欠失の解析を施行した一例
第107回 日本肺癌学会関西支部会, 2018年2月, 大阪

山形悠太郎, 塩田哲広
抗凝固療法中に咯血を来した気管支結石の一例
第25回 びわこ臨床研修ネットワーク, 2018年2月, 大津

橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
局所麻酔下胸腔鏡検査を100例経験して解ったこと
NPO法人西日本呼吸器内科医療推進機構 平成30年第13期総会, 2018年2月, 京都

塩田哲広
非小細胞肺癌組織におけるPD-L1検査の臨床的意義
Pathological testing process seminar for NSCLC in SHIGA, 2018年2月, 大津

塩田哲広
メボリズマブが著効した難治性喘息の1例
第58回 京都呼吸器研究会, 2018年3月, 京都

独立行政法人地域医療推進機構 滋賀病院 外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

八木俊和, 安 炳九, 児玉創太, 安東勝宏, 来見良誠

嵌頓を繰り返すIV型巨大食道裂孔ヘルニアに対して腹腔鏡下に修復術を施行した一例

第15回 日本ヘルニア学会学術集会, 2017年6月, 東京

児玉創太, 安 炳九, 八木俊和, 梅田朋子, 内藤弘之, 安東勝宏, 来見良誠

当院における 腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア根治術の経験

第111回 滋賀県外科医会, 2017年6月, 大津

内藤弘之, 児玉創太, 八木俊和, 安東勝宏, 来見良誠

腹腔鏡下に整復したS状結腸間膜裂孔ヘルニアの1例

第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

児玉創太, 八木俊和, 梅田朋子, 内藤弘之, 安東勝宏, 来見良誠

巨大肝嚢胞を伴う食道裂孔ヘルニアに対し腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア根治術を施行した1例

第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

独立行政法人地域医療推進機構 滋賀病院 乳腺外科

【著書】

梅田朋子

乳腺センターの開設

大津市医師会誌 40(3): 12-13, 2017

梅田朋子

乳がんの診断と治療について

大津市医師会誌 40(6): 13-16, 2017

梅田朋子

乳がんの早期発見, 治療について~再発のない乳癌治療をめざして

大津市医師会誌 41(1): 22-26, 2018

【論文】

〈英文学術論文〉

Tanaka A, Yamada A, Umeda T, Kaneko C, Shimizu T, Naka S, Tani T, Tani M.

Predictive detection areas for identifying additional MRI-detected breast lesions on second-look ultrasonography.

Surg Today. 2017 Nov, 47(11): 1321-1330.

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

梅田朋子, 石田光明, 森 毅, 河合由紀, 富田 香, 坂井幸子, 加藤久尚, 田中彰恵, 北村美奈, 清水智治, 村田 聡, 仲 成幸, 九嶋亮二, 谷 眞至

CD44s, CD44v6, CD44v9 とxCT の発現の相関

第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

梅田朋子, 石田光明, 森 毅, 河合由紀, 坂井幸子, 富田 香, 北村美奈, 田中彰恵, 加藤久尚, 北村直美,

清水智治, 村田 聡, 九嶋亮治, 来見良誠, 谷 眞至

混合型invasive micropapillary carcinomaにおけるCD44s, CD44v6, CD44v9とxCTの発現と予後

第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

静岡県立静岡がんセンター 食道外科

【著書】

新原正大, 坪佐恭宏

【進行消化器癌のconversion surgery】食道癌
外科 80(1): 14-18, 2018

【論文】

〈英文学術論文〉

Nishiwaki N, Tsubosa Y, Niihara M.

Salvage esophagectomy with pancreatectomy for local recurrence of thoracic esophageal cancer after definitive chemoradiotherapy: A case report.

Int J Surg Case Rep. 42: 85-89, 2017

Mayanagi S, Tsubosa Y, etal.

Negative Impact of Skeletal Muscle Wasting After Neoadjuvant Chemotherapy Followed by Surgery on Survival for Patients with Thoracic Esophageal Cancer.

AnnSurg Oncol. 24(12): 3741-3747, 2017

Yokota T, Yasuda T, Kato H, Nozaki I, Sato H, Miyata Y, Kuroki Y, Kato K, Hamamoto Y, Tsubosa Y, etal.

Concordance of clinical diagnosis of T classification among physicians for locally advanced unresectable thoracic esophageal cancer.

Int J Clin Oncol. 23(1): 73-80, 2018

Okuno T, Wakabayashi M, Kato K, Shinoda M, Katayama H, Igaki H, Tsubosa Y, etal.

Esophageal stenosis and the Glasgow Prognostic Score as independent factors of poor prognosis for patients with locally advanced unresectable esophageal cancer treated with chemoradiotherapy (exploratory analysis of JCOG0303).

Int J Clin Oncol. 22(6): 1042-1049, 2017

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

長澤芳信, 新原正大, 眞柳修平, 赤澤 聡, 中川雅裕, 坪佐恭宏

有茎空腸再建を用いた食道癌術後の栄養状態の評価

日本外科学会定期学術集会, 2017年4月

新原正大, 眞柳修平, 西脇紀之, 岡和田真里奈, 境 瑞穂, 妻木浩美, 坪佐恭宏

胸部食道癌における術後せん妄に対する多職種チームによる対策

日本外科学会定期学術集会, 2017年4月

坪佐恭宏, 眞柳修平, 新原正大

胸部食道癌に対するサルベージ手術における郭清範囲と再発部位の検討

日本食道学会学術集会, 2017年6月

眞柳修平, 新原正大, 坪佐恭宏

左側臥位胸腔鏡下食道切除 手技の工夫と成績

日本食道学会学術集会, 2017年6月

西脇紀之, 坪佐恭宏, 眞柳修平, 新原正大

膈合併切除にてR0切除を得た胸部進行食道癌の2例

日本食道学会学術集会, 2017年6月

新原正大, 眞柳修平, 坪佐恭宏

胸部食道癌術後のPsoas muscle index/Skeletal muscle indexの推移に関する検討

日本食道学会学術集会, 2017年6月

坪佐恭宏, 眞柳修平, 新原正大
左側臥位での胸腔鏡下食道手術定型化への試み 特に中下縦隔操作における工夫
日本消化器外科学会総会, 2017年7月

佐藤 弘, 立松典篤, 井上順一朗, 牧浦大祐, 坪佐恭宏, 安藤牧子, 笠谷美保, 中田英二, 盛 啓太, 辻 哲也
胸部食道癌手術の術後における外来リハビリテーションの導入効果の検討
日本外科代謝栄養学会, 2017年7月

眞柳修平, 坪佐恭宏, 新原正大, 北川雄光
食道癌患者における骨格筋面積の変化と術後再発・生存の検討
日本癌治療学会学術集会, 2017年10月

坪佐恭宏, 新原正大, 田沼 明, 山下重依子, 大前勝弘, 盛 啓太
食道切除術後の90日間の在宅経管栄養の実施可能性をみる第II相試験
日本癌治療学会学術集会, 2017年10月

古川健一朗, 新原正大, 坪佐恭宏
食道癌サルベージ手術後の乳糜胸に対してIVRでCT透視下に胸管塞栓し得た1例
日本臨床外科学会, 2017年11月

新原正大, 坪佐恭宏
胸部食道癌術後在宅における3ヵ月の経管栄養のFeasibility試験
日本臨床外科学会, 2017年11月

坪佐恭宏, 新原正大, 古川健一郎
食道癌術後合併症特に縫合不全予防を目指した手術術式
日本臨床外科学会, 2017年11月

静岡県立静岡がんセンター 大腸外科

【著書】

山口智弘(編集: 絹笠祐介)
III 基本手技, V 手術 7. 腹腔鏡下腹会陰式直腸切断術
「絹笠式 静岡がんセンター 大腸がん手術(DVD付)」19-28, 85-86, 2017

【論文】

〈英文学術論文〉
Yamaguchi T, Konishi T, Kinugasa Y, Yamamoto S, Akiyoshi T, Okamura R, Ito M, Nishimura Y, Shiozawa M, Yamaguchi S, Hida K, Sakai Y, Watanabe M.
Laparoscopic versus Open Lateral Lymph Node Dissection for Locally Advanced Low Rectal Cancer: A Subgroup Analysis of a Large Multicenter Cohort Study in Japan.
Dis Colon Rectum. 60(9): 954-964, 2017

Yamaguchi T, Kinugasa Y.
Safety and feasibility of robotic-assisted laparoscopic lateral lymph node dissection.
Ann Laparosc Endosc Surg. 3: 1-4, 2018

Hino H, Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Kagawa H, Yamakawa Y, Numata M, Furutani A, Suzuki T, Torii K.
Relationship between stoma creation route for end colostomy and parastomal hernia development after laparoscopic surgery.
Surg Endosc. 31(4): 1966-1973, 2017

Yamaoka Y, Kinugasa Y, Shiomi A, Yamaguchi T, Kagawa H, Yamakawa Y, Furutani A, Numata M.
Is it important to palpate lymph nodes in open surgery for colorectal cancer? *Asian Journal of Endoscopic Surgery*.

Asian J Endosc Surg. 10(2): 143–147, 2017

Nakai N, Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Kagawa H, Yamakawa Y, Numata M, Furutani A.
Long-term outcomes after resection of para-aortic lymph node metastasis from left-sided colon and rectal cancer.

Int J Colorectal Dis. 32(7): 999–1007, 2017

Numata M, Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Kagawa H, Yamakawa Y, Furuatni A, Manabe S, Yamaoka Y.
Index of estimated benefit from lateral lymph node dissection for middle and lower rectal cancer.

Anticancer Research. 37(5): 2549–2555, 2017

Yamaoka Y, Kinugasa Y, Shiomi A, Yamaguchi T, Kagawa H, Yamakawa Y, Numata M, Furutani A.
Preoperative chemoradiotherapy changes the size criterion for predicting lateral lymph node metastasis in lower rectal cancer.

Int J Colorectal Dis. 32(11): 1631–1637, 2017

Hida K, Okamura R, Sakai Y, Konishi T, Akagi T, Yamaguchi T, Akiyoshi T, Fukuda M, Yamamoto S, Yamamoto M, Nishigori T, Kawada K, Hasegawa S, Morita S, Watanabe M.

Open versus Laparoscopic Surgery for Advanced Low Rectal Cancer: A Large, Multicenter, Propensity Score Matched Cohort Study in Japan.

Ann Surg. 268(2): 318–324, 2017

Okamura R, Hida K, Yamaguchi T, Akagi T, Konishi T, Yamamoto M, Ota M, Matoba S, Bando H, Goto S, Sakai Y, Watanabe M.

Local control of sphincter-preserving procedures and abdominoperineal resection for locally advanced low rectal cancer: Propensity score matched analysis.

Ann Gastroenterol Surg. 1: 199–207, 2017

Yamaoka Y, Kinugasa Y, Shiomi A, Yamaguchi T, Kagawa H, Yamakawa Y, Furutani A, Manabe S.

The distribution of lymph node metastases and their size in colon cancer.

Langenbecks Arch Surg. 402(8): 1213–1221, 2017

Hino H, Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Kagawa H, Yamakawa Y, Numata M, Furutani A, Yamaoka Y, Manabe S, Suzuki T, Kato S.

Robotic-assisted multivisceral resection for rectal cancer: short-term outcomes at a single center.

Tech Coloproctol. 21: 879–886, 2017

Numata M, Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Kagawa H, Yamakawa Y, Furuatni A, Manabe S, Yamaoka Y, Torii K, Kato S.

Safety and feasibility of laparoscopic reoperation for treating anastomotic leakage after laparoscopic colorectal cancer surgery.

Asian J Endosc Surg. 11: 227–232, 2018

〈和文学術論文〉

松宮由利子, 山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸, 倉井華子, 寺島雅典
腹会陰式直腸切断術後の予防的抗菌薬と骨盤死腔炎についての検討

日本消化器外科学会雑誌 2017 50(4): 265–273, 2017

日野仁嗣, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸

腹腔鏡下結腸右半切除術における剥離層の選択

臨床外科 2017 72(7): 804–809, 2017

日野仁嗣, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 賀川弘康, 山川雄士
前立腺の(部分)温存と合併切除 攻めるか守るか直腸癌手術の機能温存と拡大切除
手術 2017 71 : 1273-1279, 2017

鈴木卓弥, 山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士
腹腔鏡下に摘出した腹壁発生パラガングリオーマの1例
手術 2017 71 : 1671-1675, 2017

古谷晃伸, 山口智弘, 中川雅裕
腹腔鏡下傍ストーマヘルニア修復術
外科 2018 80(3) : 247-250, 2017

【学会発表】

〈国際学会〉

Yamaguchi T.

Robotic-assisted Laparoscopic Surgery for Rectal Cancer.

Japan, Kore and China Gastrointestinal Cancer Symposium, 2018 Jan, Shizuoka

Yamaguchi T.

Robotic-assisted Lateral Lymph Node Dissection for Rectal Cancer.

UC Irvine Medical Center, Medical Conference, 2018 Mar, California

Yamaguchi T.

Short- and long-term outcomes of robotic-assisted surgery for rectal cancer: results of a single high-volume center in Japan.

21st Asian Congress of Surgery, 2017 Nov, Tokyo

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸, 山岡雄祐, 眞部祥一, 松宮由利子, 日野仁嗣, 長澤芳信, 大木悠輔, 鳥居 翔, 鈴木卓弥, 加藤俊一郎, 杉浦禎一, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦
下部進行直腸癌に対する側方郭清施行例の短期・長期成績
第117回 日本外科学会, 2017年4月, 横浜

山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 古谷晃伸, 杉浦禎一, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦
下部進行直腸癌に対するロボット支援下側方郭清の短期・長期成績
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

山口智弘

静岡がんセンターにおけるロボット直腸癌手術の変遷と現状

がん研究会明病院消化器センター講演会, 2017年9月, 東京

山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 古谷晃伸, 山岡雄祐, 眞部祥一, 日野仁嗣, 長澤芳信, 大木悠輔, 鳥居 翔, 鈴木卓弥, 加藤俊一郎, 小井土耕平
直腸癌に対するロボット支援下手術の短期・中期成績
第72回 日本大腸肛門病学会, 2017年11月, 福岡

山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 古谷晃伸, 山岡雄祐, 眞部祥一, 日野仁嗣, 長澤芳信, 大木悠輔, 杉浦禎一, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦
臨床試験から見た下部進行直腸癌に対する治療戦略
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

医療法人東和会 第一東和会病院 内視鏡外科センター

【著書】

千野佳秀, 藤村昌樹, 田儀知之, 松本直樹, 高山昇一, 寫岡成佳
Cチューブを用いた総胆管結石症に対する腹腔鏡下総胆管切石術
手術 72(2), 2018

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 水谷 真, 田畑智丈, 田儀知之, 松本直樹, 高山昇一, 寫岡成佳
総胆管結石への挑戦(ラパコレからLCBDEへ)
日本消化器外科学会, 2017年7月, 金沢

佐藤 功, 千野佳秀, 水谷 真, 田畑智丈, 田儀知之, 松本直樹, 高山昇一, 寫岡成佳, 藤村昌樹
当院におけるmodified-TEP(M-TEP)の実際と工夫
日本消化器外科学会, 2017年7月, 金沢

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 水谷 真, 田畑智丈, 田儀知之, 松本直樹, 高山昇一, 寫岡成佳
腹腔鏡下総胆管切石術(LCBDE)による切石困難例に対する治療戦略
日本消化器関連学会週間(JDDW), 2017年10月, 福岡

医療法人医仁会 武田総合病院 呼吸器外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

北村将司, 鈴木雄治, 石田恵子
左房食道瘻に対して 胸腔鏡下食道部分切除, 大網充填術を施行した1例
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

北村将司, 鈴木雄治, 石田恵子
縦隔鏡検査における 反回神経刺激モニターの使用経験
第40回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2017年6月, 長崎

北村将司, 鈴木雄治, 赤澤 彰
当科における 単孔式胸腔鏡手術の工夫
第54回 医仁会武田総合病院特別講演会, 2017年9月, 京都

北村将司, 鈴木雄治, 石田恵子
右肺全摘術施行後, 集学的治療により術後長期生存を得ている小細胞肺癌の1例
第58回 日本肺癌学会学術集会, 2017年10月, 横浜

北村将司, 鈴木雄治, 石田恵子
当科における 単孔式胸腔鏡手術の工夫
第58回 日本肺癌学会学術集会, 2017年10月, 横浜

帝京大学医学部附属溝口病院 外科

【著書】

藤野昇三(編集:滝澤 始)
19.続発性気胸を繰り返す患者さんの治療法は?
昔の頭でみていませんか?呼吸器診療をスッキリまとめました 122-127, 南江堂, 東京, 2017

【論文】

〈英文学術論文〉

Teramoto K, Ozaki Y, Hanaoka J, Sawai S, Tezuka N, Fujino S, Daigo Y, Kontani K.
Predictive biomarkers and effectiveness of MUC1-targeted dendritic-cell-based vaccine in patients with refractory non-small cell lung cancer.
Ther Adv Med Oncol 9(3): 147-157, 2017

Kobayashi NS, Nambu A, Kawamoto M, Hayashi TY, Watanabe M, Okumura T, Fujino S, Aso T, Takahashi M, Okabe Y, Koyama H, Kohyama T, Tago M.
Pulmonary Apical Opacities on Thin-Section Computed Tomography: Relationship to Primary Spontaneous Pneumothorax in Young Male Patients and Corresponding Histopathologic Findings.
J Comput Assist Tomogr, 2017 Jun

〈和文学術論文〉

松土尊映, 新後閑正敏, 石崎哲央, 榎本正統, 久田将之, 粕谷和彦, 勝又健次, 渡部真人, 藤野昇三, 土田明彦
腹膜炎を伴う虫垂炎に対する腹腔鏡下手術の臨床的意義
東京医科大学雑誌 75(4): 426-431, 2017

加藤文昭, 岡田了祐, 榎本将也, 奈良橋喜芳, 頼木 領, 橋本大樹, 吉野美幸, 渡部真人, 藤野昇三, 榎本正統, 石崎哲央, 勝又健次, 土田明彦
集学的治療が奏効した大腸癌異時性多発性肺転移の1例
癌と化学療法 44(12): 1232-1234, 2017

藤野昇三

まい・てくにつく 胸腔鏡手術における気管分岐下リンパ節郭清のポイント(図説)
胸部外科 71(2): 92, 2018

【学会発表】

〈国際学会〉

Miyazawa M, Aikawa M, Okada K, Watanabe Y, Kasugai H, Hirano Y, Maruno K, taniguchi K, Kobayashi T, Fujino S.
Laparoscopic hepatectomy while controlling intraoperative bleeding to the maximum: Tricks of the trade of using monopolar soft-coagulation device.
6th A-PHPBA, 29th JSHBPS, 2017 Jun, 横浜

Hirano Y, Taniguchi K, Mizuno M, Fujita M, WatanabOkumura M, Kasugai H, Fujino S.
Single-Insision Laparoscopic Right-Hemicolectomy with Comprete Mesocolic Excision and Central Vascular Ligation for Colon Cancer.
25th Internatinal Congress of the European Association of Endoscopic Surgery, 2017 Jun, フランクフルト

〈全国学会・地方会・その他〉

渡部真人, 藤野昇三, 奥村武弘, 藤田正博, 久保博美, 水野真広, 内藤善久, 平能康充, 小林隆司, 春日井 尚, 丸野 要, 谷口桂三, 宮澤光男
当院におけるHand Assisted Thoracoscopic Surgery(HATS)のアプローチ法の工夫
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

宮澤光男, 合川公康, 渡部真人, 奥村武弘, 小林隆司, 平能康充, 内藤善久, 春日井 尚, 丸野 要, 谷口桂三, 藤野昇三
安全に腹腔鏡下肝切除術を完遂するための出血コントロール手技 完全腹腔鏡下肝切除術209例よりの検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

平能康充, 平沼知加志, 道傳研司, 服部昌和, 橋爪泰夫, 小林隆司, 内藤善久, 奥村武弘, 春日井 尚, 丸野 要, 宮澤光男, 谷口桂三, 藤野昇三
大腸癌に対する単孔式腹腔鏡下手術の教育
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

谷口桂三, 水野真弘, 藤田正博, 渡部真人, 平能康充, 小林隆司, 内藤善久, 奥村武弘, 春日井 尚, 丸野 要, 藤野昇三
腹腔鏡下幽門測胃切除における大弯測標準的リンパ節廓清
第71回 手術手技研究会, 2017年5月, 名古屋

平能康充, 道傳研司, 平沼知加志, 服部昌和, 小林隆司, 内藤善久, 奥村武弘, 春日井 尚, 丸野 要, 宮澤光男,
谷口桂三, 藤野昇三
CME/CVLを遵守した結腸癌に対する単孔式腹腔鏡下右半結腸切除術
第71回 手術手技研究会, 2017年5月, 名古屋

宮澤光男, 合川公康, 岡田克也, 渡邊幸博, 丸野 要, 春日井 尚, 平能康充, 奥村武弘, 小林隆司, 渡部真人,
谷口桂三, 藤野昇三
肝S7病変に対する腹腔鏡下肝切除術の工夫
第71回 手術手技研究会, 2017年5月, 名古屋

渡部真人, 藤野昇三, 奥村武弘
転移性肺腫瘍に対するHand Assisted Thoracoscopic Surgery (HATS)のアプローチ法の工夫従来法との比較
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

奥村武弘, 渡部真人, 五来克也, 権太浩一, 藤野昇三
右上葉切除後気管支断端瘻に対する開窓術創へ陰圧閉鎖療法を施行した一例
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

宮澤光男, 合川公康, 岡田克也, 渡邊幸博, 丸野 要, 春日井 尚, 奥村武弘, 平能康充, 小林隆司, 渡部真人,
谷口桂三, 藤野昇三, 岡本光順, 小山 勇
医工連携 医工連携によるtissue engineeringを応用した肝外胆管の再生
第42回 日本外科系連合学会学術集会, 2017年6月, 徳島

平能康充, 藤田正博, 渡部真人, 小林隆司, 内藤善久, 奥村武弘, 春日井 尚, 丸野 要, 宮澤光男, 谷口桂三, 藤野昇三
日本内視鏡外科学会技術認定医審査におけるReduced Port Surgery の可能性
第46回 神奈川消化器外科研究会, 2017年6月, 横浜

原田 学, 谷口桂三, 藤田正博, 久保博美, 水野真広, 平野康充, 小林隆司, 内藤喜久, 春日井 尚, 藤野昇三
腹腔鏡下膈体尾部切除術(LDP)の手技とその工夫 胃の挙上と完全膈脾脱転
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

平能康充, 平沼知加志, 内藤善久, 小林隆司, 道傳研司, 服部昌和, 橋爪泰夫, 春日井 尚, 谷口桂三, 藤野昇三
大腸癌に対するReduced port surgeryの実際
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

谷口桂三, 藤田正博, 渡部真人, 平能康充, 内藤善久, 春日井 尚, 奥村武弘, 藤野昇三
腹腔鏡下胃全摘後の食道空腸吻合 hybrid吻合の手技とその短期成績
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

宮澤光男, 岡田克也, 合川公康, 岡本光順, 小山 勇, 丸野 要, 春日井 尚, 谷口桂三, 平能康充, 藤野昇三
膈頭十二指腸切除術における膈消化管再建術式の工夫 膈液瘻に伴う重篤な合併症軽減を目指して
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

丸野 要, 藤田正博, 水野真広, 渡部真人, 平能康充, 小林隆司, 内藤善久, 奥村武弘, 春日井 尚, 谷口桂三,
藤野昇三, 高橋美紀子, 川本雅司
男性に発生した嚢胞内非浸潤性乳管癌の1例
第25回 日本乳癌学会総会, 2017年7月, 福岡

宮澤光男, 合川公康, 岡田克也, 渡邊幸博, 渡部真人, 平能康充, 春日井 尚, 丸野 要, 小林隆司, 谷口桂三, 藤野昇三
膈頭十二指腸切除術における膈消化管再建の工夫法 空腸漿膜剥離, 膈空腸密着吻合法
第48回 日本膵臓学会大会, 2017年7月, 京都

宮澤光男, 合川公康, 岡田克也, 渡邊幸博, 春日井 尚, 平能康充, 内藤善久, 丸野 要, 谷口桂三, 藤野昇三
 生体吸収性材料を用いた胆管再生によるVater乳頭部機能温存
 第53回 日本胆道学会学術集会, 2017年9月, 山形

藤野昇三

Hand Assisted Thoracoscopic Surgery (HATS)
 第8回 HALS研究会グループミーティング, 2017年9月, 東京

渡部真人, 藤野昇三, 奥村武弘

転移性肺腫瘍に対するHand Assisted Thoracoscopic Surgery (HATS)の左側病変に対するアプローチ法の工夫
 第8回 HALS研究会グループミーティング, 2017年9月, 東京

渡部真人, 藤野昇三, 奥村武弘

両側転移性肺腫瘍に対して剣状突起下切開創を用いた触診を併用し, 一期的に切除を行った1例
 第8回 HALS研究会グループミーティング, 2017年9月, 東京

渡部真人, 藤野昇三, 奥村武弘, 島村淳一, 平井雄喜, 大島 晋, 山本 晋

他施設との連携のもとで診療を行った心臓血管外科術後難治性肺癆症例
 第21回 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2017年9月, 久留米

渡部真人, 藤野昇三, 奥村武弘, 岡部友吾, 小山ひかり, 幸山 正, 高橋美紀子, 川本雅司

ペメトレキセド+ベバシズマブ長期維持療法後に出現した新規病変に対して切除により治療方針を決定した1例
 第58回 日本肺癌学会学術集会, 2017年10月, 横浜

渡部真人, 奥村武弘, 藤野昇三

両側転移性肺腫瘍病変に対するアプローチ法についての検討
 第10回 神奈川呼吸器外科研究会, 2017年10月, 横浜

内藤善久, 谷口佳三, 藤田正博, 平能康充, 小林隆司, 渡部真人, 奥村武人, 春日井 尚, 藤野昇三, 高橋美紀子

拡大左半結腸切除が奏功した大腸限局型慢性偽性腸閉塞症の一例
 第72回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2017年11月, 福岡

平能康充, 平沼知加志, 島田麻里, 服部昌和, 道傳研司, 藤田正博, 内藤善久, 谷口桂三, 藤野昇三

大腸癌に対するReduced Port Surgery
 第72回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2017年11月, 福岡

丸野 要, 藤田正博, 渡部真人, 平能康光, 小林隆司, 内藤善久, 奥村武弘, 春日井 尚, 谷口桂三, 藤野昇三,

土屋 聡, 室伏利久, 高橋美紀子, 川本雅司
 乳房転移と甲状腺転移をきたした卵巣原発の非小細胞型神経内分泌癌の1例
 第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

春日井 尚, 藤田正博, 渡部真人, 内藤善久, 奥村武弘, 丸野 要, 谷口桂三, 谷口桂三, 藤野昇三, 高橋美紀子,

川本雅司
 異時性3重複癌術後経過観察中に発生した肝炎症性偽腫瘍の1例
 第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

小林隆司, 藤田正博, 渡部真人, 平能康充, 内藤善久, 奥村武弘, 春日井 尚, 丸野 要, 谷口桂三, 藤野昇三,

阿曾達也, 高橋美紀子, 川本雅司
 乳房パラフィノーマの1例
 第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

藤田正博, 内藤善久, 渡部真人, 平能康光, 小林隆司, 奥村武弘, 春日井 尚, 丸野 要, 谷口桂三, 藤野昇三

術前に診断が可能であったAmyandヘルニアの一例
 第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

宮澤光男, 谷口桂三, 平能康充, 内藤善久, 小林隆司, 奥村武久, 春日井 尚, 丸野 要, 藤野昇三
膵頭十二指腸切除術における膵消化管再建術式の工夫 膵液瘻予防を目的とした空腸漿膜剥離, 膵空腸密着吻合
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

平能康充, 服部昌和, 平沼知加志, 道傳研司, 藤田正博, 渡部真人, 小林隆司, 内藤善久, 奥村武弘, 春日井 尚,
丸野 要, 宮澤光男, 谷口桂三, 藤野昇三
ここを工夫した私の手術手技(Reduced port surgery)当科における結腸癌に対する単孔式腹腔鏡下手術
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

玉置秀司, 谷口桂三, 藤田正博, 杉原崇生, 平能康充, 小林隆司, 内藤善久, 奥村武弘, 藤野昇三, 桂川英雄
内視鏡下手術での起死回生の一手(胃)腹腔鏡下胃切除における静脈系出血の対処
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

平能康充, 平沼知加志, 服部昌和, 道傳研司, 藤田正博, 内藤善久, 春日井 尚, 宮澤光男, 谷口桂三, 藤野昇三
大腸癌に対するReduced Port Solo Surgery
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

渡部真人, 藤野昇三, 奥村武弘, 谷口桂三, 丸野 要, 春日井 尚, 内藤善久, 平能康充, 藤田正博, 宮澤光男
胸腔鏡下に切除した横隔膜原発気管支原性嚢胞の一例
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

谷口桂三, 藤田正博, 渡部真人, 平能康充, 内藤善久, 春日井 尚, 奥村武弘, 藤野昇三
腹腔鏡下幽門側胃切除における4sb大彎リンパ節左群(左胃大網動脈に沿う)郭清
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

宮澤光男, 平能康充, 渡部真人, 春日井 尚, 内藤善久, 谷口桂三, 丸野 要, 奥村武弘, 藤野昇三
内視鏡下手術による胆管損傷部治療法の開発 生体吸収性シートによる胆管穿孔部直接閉鎖
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

岡部友吾, 小山ひかり, 渡部真人, 瀧岡 絢, 阿曾達也, 林 貴菜, 高橋美紀子, 小野澤志郎, 奥村武弘, 南部敦史,
川本雅司, 藤野昇三, 幸山 正
約1年間で急速進行した上葉中枢側優位の気管支拡張を伴う肺病変を呈した六君子湯による薬剤性肺炎の1例
第228回 日本呼吸器学会関東地方会, 2018年2月, 東京

社会医療法人信愛会 暇生会脳神経外科病院 外科

【論文】

〈和文学術論文〉

村上耕一郎, 龍田 健, 瀬戸伸一, 跡地春仁, 板垣成彦, 貝田佐知子, 植木智之, 村尾佳則, 小玉正智
稀な材質の消化管異物の質的診断においてCTによる階調処理が有用であった一例
日本腹部救急医学会雑誌 38(1): 129-132, 2018

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

村上耕一郎, 仲 成幸, 飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 山田篤史, 龍田 健, 谷 徹, 谷 眞至
Ray-Trace法を用いた腹腔鏡下肝手術におけるポート位置選択3Dシミュレーションの開発
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

村上耕一郎, 仲 成幸, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 前平博充, 飯田洋也, 谷 徹, 谷 眞至
腹壁癒痕ヘルニア術後の胆石症に対し3Dシミュレーションを用いて最適なポート位置を予測し腹腔鏡下手術を遂行
した症例
第53回 日本胆道学会定期学術集会, 2017年9月, 山形

村上耕一郎, 龍田 健, 跡地春仁, 板垣成彦, 田中久富, 村尾佳則, 小玉正智
 ERCP時に十二指腸穿孔を来し, 外科的ドレナージ術後に結腸穿孔を来した症例
 第54回 日本腹部救急医学会総会, 2018年3月, 東京

長浜市立湖北病院 外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

佐藤浩一郎
 右鼠径部腫脹にて発症した若年成人Nuck管水腫の1例
 第16回 日本ヘルニア学会, 2017年6月, 札幌

長浜赤十字病院 外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Murata S, Yamamoto H, Naitoh H, Yamaguchi T, Kaida S, Shimizu T, Shiomi H, Naka S, Tani T, Tani M.
 Feasibility and safety of hyperthermic intraperitoneal chemotherapy using 5-fluorouracil combined with cisplatin
 and mitomycin C inpatients undergoing gastrectomy for advanced gastric cancer.
 J Surg Oncol. 116(8): 1159-1165, 2017

〈和文学術論文〉

東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
 当院にて経験した巨大後腹膜脂肪肉腫の3例
 滋賀医科大学雑誌 30(1): 50-54, 2017

前平博充, 塩見尚礼, 村上耕一郎, 北村直美, 飯田洋也, 赤堀浩也, 新田信人, 生田大二, 貝田佐知子, 三宅 亨,
 山口 剛, 清水智治, 仲 成幸, 石田光明, 谷 眞至
 狭窄部背側にリンパ節様の結節を認めた良性胆管狭窄の1例
 滋賀医科大学雑誌 30(1): 1-5, 2017

塩見尚礼, 中村誠昌, 西嶋道子, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 下松谷 匠
 当院救命センターにおけるヒヤリハット解析からみたノンテクニカルスキルの重要性
 日本腹部救急医学会雑誌 38(3), 2018

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

下松谷 匠, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
 当院におけるStageIV胃癌に対するConversion治療
 第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

塩見一徳, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
 Cyst in cyst様構造を呈した脾内副脾に発生したepidermalcystの1例
 第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

塩見尚礼, 後藤彰彦, 高井由桂, 村上耕一郎, 太田裕之, 清水智治, 仲 成幸, 濱田泰以, 谷 眞至
 眼球運動を取り入れた腹腔鏡下手術の新しい教育方法
 第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

Shiomi H, Higashiguchi T, Nagato M, Taniguchi M, Tango Y, Cho H, Nakamura I, Nakamura T, Shimomatsuya T.
A case report of adjuvant surgery for metastatic pancreatic cancer after mFOLFIRINOX therapy.
第29回 日本肝胆膵外科学会, 2017年6月, 東京

塩見尚礼, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠, 佐藤祐斗,
横田佳大, 新谷修平, 井上博登, 田辺浩喜, 馬場弘道, 駒井康伸, 楠井 隆, 嶋田功太郎, 行岡直哉
膵尾側部病変の1例
滋賀肝胆膵勉強会, 2017年7月, 草津

中村誠昌, 東口貴之, 張 弘富, 下松谷 匠
治療前の避妊必要性について説明できていますか?術直後に妊娠が判明した乳がん患者さんの1例
第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

下松谷 匠, 中村誠昌, 東口貴之, 張 弘富
乳腺脂質分泌癌の一例
第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

谷口正展, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
当院で経験したstageIV大腸癌の原発部位と生存の関連性
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

塩見尚礼, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠
穿孔性腹膜炎手術症例におけるSSI対策~NPWT療法の有用性
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

中村一郎, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
早期胃癌経過観察中に発見された細胆管細胞癌の1例
第79回 滋賀消化器研究会, 2017年7月, 大津

塩見尚礼, 仲 成幸, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 谷 眞至, 下松谷 匠
新規マイクロ波メス(アクロサージ)を用いる膵頭十二指腸切除
第44回 日本膵切研究会, 2017年8月, 横浜

塩見尚礼, 丹後泰久, 仲 成幸, 赤堀浩也, 北村直美, 飯田洋也, 前平博充, 稲富 理, 馬場弘道, 駒井康伸, 谷 眞至
十二指腸乳頭部癌に対する腹腔鏡補助下乳頭切除の長期成績(第3報)
第53回 日本胆道学会学術集会, 2017年9月, 山形

丹後泰久, 塩見尚礼, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠,
馬場弘道, 駒井康伸
肝膿瘍を伴う胆嚢炎で発症したFarrar基準を満たす原発性胆嚢管癌の一例
第53回 日本胆道学会学術集会, 2017年9月, 山形

中村一郎, 塩見尚礼, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 丹後泰久, 中村誠昌, 下松谷 匠
腹腔鏡下手術を施行した腹腔内魚骨の4例
第30回 近畿内視鏡外科研究会, 2017年9月, 大阪

下松谷 匠, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
食道・胃接合部癌に対する治療戦略
JDDW2017, 2017年10月, 福岡

塩見尚礼, 仲 成幸, 谷 徹, 下松谷 匠, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌,
赤堀浩也, 谷 眞至, 下松谷 匠
新規手術器具であるマイクロ波メス(アクロサージ)の膵頭十二指腸切除における使用経験
JDDW2017, 2017年10月, 福岡

塩見尚礼, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠, 佐藤祐斗, 横田佳大, 新谷修平, 井上博登, 田辺浩喜, 馬場弘道, 駒井康伸, 楠井 隆, 嶋田功太郎, 行岡直哉
 腭頭部病変の1例
 滋賀肝胆膵勉強会, 2017年10月, 草津

高山さなえ, 塩見尚礼, 東口貴之, 馬場弘道, 佐野亜紀, 宮本美弥子
 内頸静脈アプローチによる皮下埋め込みポートでカテーテル機能不全をきたした2例
 第55回 日本癌治療学会, 2017年10月, 横浜

谷口正展, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
 当院で経験した腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニアの手術経験
 第24回 滋賀内視鏡手術研究会, 2017年11月, 草津

中村一郎, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
 高齢者胃がん患者における術前PNI値の意義
 第112回 滋賀県外科医会, 2017年11月, 大津

丹後泰久, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
 当院における腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術の現状
 第112回 滋賀県外科医会, 2017年11月, 大津

谷口正展, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 中村一郎, 塩見尚礼
 当院における腹腔鏡下直腸手術における縫合不全対策
 第72回 大腸肛門病学会学術集会, 2017年11月, 福岡

谷口正展, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
 当院で経験した腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニアの手術経験3例の検討
 第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

中村一郎, 塩見尚礼, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌, 下松谷 匠
 80歳以上胃がん患者に及ぼす幽門側胃切除術に対する栄養学的指標を用いた中間解析
 第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

下松谷 匠, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
 当院における胃癌に対するConversion Therapyの治療成績
 第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

下松谷 匠, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
 食道・胃接合部癌に対する治療戦略
 第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

塩見一徳, 谷口正展, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
 完全内臓逆位に発症した急性虫垂炎に対し腹腔鏡下虫垂切除を行った1例
 第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

中村一郎, 谷口正展, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
 腹腔内魚骨に対する腹腔鏡下手術の意義
 第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

下松谷 匠, 谷口正展, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
 十二指腸腫瘍に対し腹腔鏡・内視鏡合同手術LECSを施行した1例
 第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

小川法子, 塩見尚礼, 中野時代, 西川智子
腹腔鏡下肝切除の導入 モノ, ヒトを整える
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

塩見尚礼, 仲 成幸, 山田篤史, 谷 総一郎, 谷 徹
マイクロ波細径内視鏡手術デバイスの開発
第18回 Needlescopic Surgery Meeting, 2018年2月, 京都

塩見尚礼
急性虫垂炎の臨床～診断と治療の最近の話題～
第37回 日本画像医学会, 2018年2月, 東京

丹後泰久, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠, 佐藤祐斗, 嶋田功太郎
腫瘍出血により準緊急腓頭十二指腸切除術を行った十二指腸GISTの一例
滋賀消化器研究会 第80回 学術集会, 2018年2月, 大津

医療法人社団医伸会 のじまバスキュラーアクセスクリニック

【論文】

〈和文学術論文〉

野島武久, 本宮康樹
動脈・静脈の血栓除去が必要であったシャント再建手術への工夫
腎と透析 83 : 81-82, 2017

野島武久, 本宮康樹
バスキュラーアクセス治療時の疼痛対策についての検討
腎と透析 83 : 156-157, 2017

野島武久
最近のバスキュラーアクセスの進歩とその合併症対策 手術・手技の進歩 内シャント形成術
腎と透析 84 : 13-17, 2018

【学会発表】

〈国際学会〉

野島武久
透析瘻管的制作と修復
大連中心医院vascular access workshop, 2017年10月, 大連

Nojima T, Motomiya Y.
A new flow reduction technique for high flow arteriovenous fistula - Graft Inclusion Technique-
Dialysis Access Symposium 2017, 2017年10月, 名古屋

野島武久
エコー下シャントPTAならびに外科的修復
中日尿毒症血管通路中心創設会, 2018年3月, 大連

〈全国学会・地方会・その他〉

野島武久
AVF作製手術 video presentation
第1回 Vascular Access Conference, 2017年4月, 大阪

野島武久
 シヤントエコー・エコーガイド下シヤント穿刺 ハンズオンセミナー
 奈良透析学術講演会, 2017年4月, 橿原

野島武久, 本宮康樹
 アクセス合併症予防～アクセス外科医の立場から～
 第2回 日本透析医学会学術集会・総会, 2017年6月, 横浜

野島武久, 本宮康樹
 シヤントの開存性を上げるために(シヤント作製の工夫)
 第26回 CVIT, 2017年7月, 京都

野島武久
 透析アクセス合併症への治療
 西神透析合併症セミナー, 2017年10月, 神戸

野島武久, 本宮康樹
 シヤント作製時のピットフォールと対策
 第21回 日本アクセス研究会学術集会・総会, 2017年10月, 岐阜

野島武久
 AVG作製手術 video presentation
 第2回 Vascular Access Conference, 2017年11月, 東京

野島武久
 エコー下PTA
 第6回 究道会, 2017年11月, 大阪

野島武久, 本宮康樹
 静脈高血圧症の病態からみた種々の治療法
 第23回 バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会, 2018年3月, 東京

はえうち診療所

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

生内一夫, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 生田大二, 谷 眞至, 目片英治, 太田裕之, 遠藤善裕
 痔核手術後に大腸痛が発見された4症例
 第72回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2017年11月, 福岡

生内一夫
 肛門狭窄症に対してZ形成術を用いた皮膚弁移動術を行った5例の検討
 第24回 琵琶湖消化器外科懇話会, 2017年12月, 草津

医療法人社団 東近江市立能登川病院

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

油木純一, 森 毅, 清水智治, 河合由紀, 坂井幸子, 富田 香, 園田寛道, 飯田洋也, 貝田佐知子, 谷 眞至
 滋賀県におけるAYA世代の鼠径ヘルニアの現状
 第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

油木純一, 小島正継, 太田裕之, 瀬戸山 博, 長谷川正人, 目片英治
当院における鼠径部・閉鎖孔ヘルニア緊急手術症例の検討
第15回 日本ヘルニア学会, 2017年6月, 東京

油木純一, 長谷川 均
急性虫垂炎の所見を呈した盲腸穿孔
琵琶湖外科医会, 2017年11月, 南草津

独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター 外科

【著書】

赤堀浩也, 谷 眞至
ベーシック特集 消化器外科の疾患・手術34 ⑤肝・胆・膵の手術
OPE nursing 2017 32(8): 840-854, メディカ出版, 2017

【論文】

〈英文学術論文〉

Pham Minh N, Murata S, Kitamura N, Ueki T, Kojima M, Miyake T, Takebayashi K, Kodama H, Mekata E, Tani M.
In vivo antitumor function of tumor antigen-specific CTLs generated in the presence of OX40 co-stimulation in vitro.
Int J Cancer. 142(11): 2335-2343, 2018

〈和文学術論文〉

太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 目片英治, 谷 眞至
腹腔鏡下横行結腸切除後12日目に腹腔内出血をきたした1例
日本腹部救急医学会雑誌 37(5): 759-761, 2017年12月

太田裕之, 小島正継, 赤堀浩也, 郭 翔志, 井上貴至, 目片英治
卵巣嚢腫を伴う小腸閉塞に対して腹腔鏡手術を施行した1例
滋賀医大誌 31(1): 1-3, 2018年2月

【学会発表】

〈国際学会〉

Yagi M, Morishita K, Taguchi K, Akabori H, Ueno A, Aiboshi J, Otomo Y.
Electrical vagus nerve stimulation improves the intestinal blood flow after trauma/hemorrhagic shock.
76th Annual Meeting of the American Association for the Surgery of Trauma and Clinical Congress of Acute Care Surgery, 2017 Sep 13, USA

〈全国学会・地方会・その他〉

生田大二, 三宅 亨, 徳田 彩, 植木智之, 貝田佐知子, 飯田洋也, 北村直美, 赤堀浩也, 山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
ヒト大腸癌の組織型と線維化の関連性の検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 瀬戸山博, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当科におけるMSI検査を施行した大腸癌症例の検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 竹林克士, 大竹玲子, 村田 聡, 油木純一, 新田信人, 寺田好孝, 植木智之, 三宅 亨, 坂井幸子, 飯田洋也, 河合由紀, 北村直美, 赤堀浩也, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
肥満外科死亡リスクスコアと胃バイパスリスクスコアを用いた当院における腹腔鏡下肥満外科症例の検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

全 有美, 飯田洋也, 赤堀浩也, 北村直美, 仲 成幸, 園田寛道, 三宅 亨, 山口 剛, 清水智治, 九嶋亮治, 谷 眞至
術後早期に転移再発を認めた小型肉腫様肝細胞癌の1例
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

北村直美, 飯田洋也, 赤堀浩也, 貝田佐知子, 植木智之, 三宅 亨, 園田寛道, 山口 剛, 清水智治, 仲 成幸,
谷 眞至, 田畑貴久, 藤野和典, 江口 豊
当院における急性胆嚢炎に対する治療の検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

植木智之, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 赤堀浩也, 山口 剛, 森 毅,
太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
腹部CT画像を利用した腹腔鏡下結腸切除術における手術時間に影響を与える指標の検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 竹林克士, 村田 聡, 山本 寛, 坂井幸子, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也,
北村直美, 赤堀浩也, 園田寛道, 森 毅, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
腹腔鏡下胃切除術後脾液瘻に対するドレーンアミラーゼ値の測定意義
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

前平博充, 飯田洋也, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 北村直美, 仲 成幸, 竹林克士, 貝田佐知子, 三宅 亨, 村上耕一郎,
山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
CT画像による膵頭十二指腸切除後脾液瘻の予知可能性
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

村田 聡, 児玉泰一, 貝田佐知子, 山本 寛, 山口 剛, 竹林克士, 大竹玲子, 三宅 亨, 北村直美, 植木智之, 赤堀浩也,
飯田洋也, 森 毅, 河合由紀, 坂井幸子, 加藤久尚, 生田大二, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
胃癌術後再発予防としての術中腹腔内温熱化学療法の評価
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

Mekata E, Tani T, Ohta H, Kojima M, Akabori H, Setoyama H, Kajiyama T, Takeshige H, Shimagaki M.
Development of the lightweight surgical instrument.
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

赤堀浩也, 飯田洋也, 北村直美, 油木純一, 寺田好孝, 大竹玲子, 竹林克士, 植木智之, 三宅 亨, 貝田佐知子,
山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 仲 成幸, 谷 眞至
当科における脾原発悪性腫瘍に対する脾全摘術の検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 赤堀浩也, 山口 剛, 森 毅,
太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
当科における下部直腸癌に対するISRの治療成績と肛門機能
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

仲 成幸, 山田篤史, 谷 総一郎, 村上耕一郎, 飯田洋也, 赤堀浩也, 森川茂廣, 谷 眞至, 谷 徹
高磁場MRI対応電子内視鏡によるMRI画像誘導手術システムの開発
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

竹林克士, 村田 聡, 貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也,
北村直美, 赤堀浩也, 森 毅, 油木純一, 寺田好孝, 生田大二, 仲 成幸, 谷 眞至
胃切除後腹腔内洗浄液中の癌特異的遺伝子検出の臨床的意義
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

寺田好孝, 森 毅, 北村美奈, 富田 香, 河合由紀, 加藤久尚, 坂井幸子, 梅田朋子, 竹林克士, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
当院における80歳以上の高齢者乳癌手術症例の検討
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

飯田洋也, 谷 眞至, 赤堀浩也, 北村直美, 前平博充, 清水智治, 三宅 亨, 園田寛道, 貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 仲 成幸
膵がん術後に筋肉量の低下が予後に与える影響
第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

赤堀浩也, 谷 眞至, 飯田洋也, 北村直美, 新田信人, 仲 成幸, 前平博充, 清水智治, 三宅 亨
Perioperative tight glycaemic control using an artificial pancreas is useful for pancreatectomized patient with impaired glucose tolerance.
第29回 日本肝胆膵外科学会学術集会, 2017年6月, 横浜

森 治樹, 谷 眞至, 飯田洋也, 前平博充, 赤堀浩也, 北村直美, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 山口 剛, 仲 成幸
Significance of muscle mass decreasing prognosis after pancreatic cancer surgery.
第29回 日本肝胆膵外科学会学術集会, 2017年6月, 横浜

仲 成幸, 谷 徹, Dang Tran Khiem, 谷 総一郎, 山田篤史, 村上耕一郎, 前平博充, 飯田洋也, 赤堀浩也, 北村直美, 谷 眞至
Microwave Surgical Device "Acrosurg." is a Cutting-Edge Technology of Liver Resection Surgery.
第29回 日本肝胆膵外科学会学術集会, 2017年6月, 横浜

飯田洋也, 谷 眞至, 前平博充, 赤堀浩也, 北村直美, 森 治樹, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 貝田佐知子, 仲 成幸
Significance of serum procalcitonin after pancreaticoduodenectomy as early prediction of postoperative infectious complications.
第29回 日本肝胆膵外科学会学術集会, 2017年6月, 横浜

前平博充, 飯田洋也, 赤堀浩也, 北村直美, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 森 治樹, 貝田佐知子, 仲 成幸, 谷 眞至
Use of computed tomography for prediction of postoperative pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy.
第29回 日本肝胆膵外科学会学術集会, 2017年6月, 横浜

瀬戸山 博, 目片英治, 居松建司, 諏訪美雪, 松野和美, 横山京子, 北川史絵, 宮崎むつみ, 福井久枝, 長岡紀江, 西村慎悟
地域連携室を中心として稼働するがん地域医療連携活動
第10回 全国連携実務者ネットワーク連絡会, 2017年6月, 大阪

瀬戸山 博, 目片英治, 居松建司, 諏訪美雪, 松野和美, 横山京子, 宮崎むつみ, 福井久枝, 長岡紀江
包括的がん地域医療連携について～がん治療から在宅看取りまで～
第22回 日本緩和医療学会学術大会, 2017年6月, 横浜

瀬戸山 博, 目片英治, 坂野祐司, 朝日信一, 宮城暢子, 森田幸代
Narrative-based Medicineとしての術前がん化学療法
第22回 日本緩和医療学会学術大会, 2017年6月, 横浜

小島正継, 太田裕之, 岡内 博, 長谷川正人, 瀬戸山博, 赤堀浩也, 目片英治
十二指腸癌を合併したLynch症候群の1例
第111回 滋賀県外科医師会, 2017年6月, 大津

瀬戸山 博, 大野辰治, 加藤理史, 飛田美乃
滋賀県がん地域医療連携クリティカルパスの運用実績
第19回 日本医療マネジメント学会学術総会, 2017年7月, 仙台

瀬戸山 博, 植村明美

手指衛生遵守支援プログラムによる病院感染予防への取り組み
第19回 日本医療マネジメント学会学術総会, 2017年7月, 仙台

瀬戸山 博, 目片英治

進行再発がん患者の地域医療連携デザインに関する考察
第19回 日本医療マネジメント学会学術総会, 2017年7月, 仙台

目片英治, 太田裕之, 小島正継, 富田 香, 河合由紀, 太田悦子
クリニカルパス・連携

第25回 日本乳癌学会学術総会, 2017年7月, 福岡

赤堀浩也, 谷 眞至, 飯田洋也, 前平博充, 清水智治, 三宅 亨, 稲富 理, 安藤 朗, 九嶋亮治, 仲 成幸
非典型的画像所見を呈した非機能性膵神経内分泌腫瘍の検討

第48回 日本膵臓学会大会, 2017年7月, 京都

飯田洋也, 谷 眞至, 前平博充, 赤堀浩也, 森 治樹, 清水智治, 三宅 亨, 仲 成幸, 稲富 理, 安藤 朗
膵癌に対する術前腫瘍マーカー陽性率を用いた予後予測

第48回 日本膵臓学会大会, 2017年7月, 京都

前平博充, 飯田洋也, 森 治樹, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 北村直美, 清水智治, 三宅 亨, 仲 成幸, 谷 眞至
膵癌術後における筋肉量変化と予後との関連性

第48回 日本膵臓学会大会, 2017年7月, 京都

大槻晋士, 稲富 理, 藤本剛英, 赤堀浩也, 飯田洋也, 西田淳史, 仲 成幸, 九嶋亮治, 杉本光繁, 谷 眞至, 安藤 朗
EUS-FNAで診断した膵内分泌腫瘍の一例

第48回 日本膵臓学会大会, 2017年7月, 京都

村上耕一郎, 仲 成幸, 飯田洋也, 山田 篤, 前平博充, 北村直美, 赤堀浩也, 龍田 健, 谷 徹, 谷 眞至
Ray-Trace法を用いた腹腔鏡下肝手術におけるポート位置選択3Dシミュレーションの開発

第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

仲 成幸, 谷 徹, 谷 総一郎, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 山口 剛, 園田寛道, 森 毅, 清水智治, 谷 眞至
新規マイクロ波手術デバイスAcrosurgの開発と初期臨床応用—日本発の新規エネルギーデバイス—

第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

目片英治, 谷 徹, 山田篤史, 太田裕之, 赤堀浩也, 小島正継, 田畑貴久, 清水智治, 梶山隆啓, 島垣昌明
鋼製手術器具にせまる樹脂製手術器具の開発

第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

小島正継, 油木純一, 太田裕之, 瀬戸山 博, 長谷川正人, 辻川知之, 目片英治
術前小腸内視鏡の有用性に関する検討

第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

瀬戸山 博, 目片英治, 太田裕之, 小島正継, 油木純一, 長谷川正人
地域包括的がん診療のために外科医は何をすべきか?

How surgeons Have to Work for Integrated Community Care of Digestive Malignancies?

第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

新田信人, 飯田洋也, 赤堀浩也, 前平博充, 仲 成幸, 北村直美, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 谷 眞至
大腸癌多発肝転移に対して, 脾摘と肝部分切除後に2期的肝切除を施行した1例

第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

前平博充, 谷 眞至, 飯田洋也, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 北村直美, 仲 成幸, 清水智治, 三宅 亨, 貝田佐知子
膵頭十二指腸切除術における術後 CTと膵液瘦の関連
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

寺田好孝, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 清水智治, 北村直美, 山口 剛, 赤堀浩也, 谷 眞至
75歳以上の高齢者に対するStage 2-3 大腸癌治療切除術後補助化学療法の検討
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

北村直美, 清水智治, 飯田洋也, 赤堀浩也, 貝田佐知子, 三宅 亨, 園田寛道, 山口 剛, 仲 成幸, 谷 眞至
当院における大腸憩室出血の検討
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

飯田洋也, 谷 眞至, 赤堀浩也, 北村直美, 前平博充, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 貝田佐知子, 仲 成幸
膵頭十二指腸切除後の感染性合併症予測における血清プロカルシトニン値の意義
第72回 日本消化器外科学会総会, 2017年7月, 金沢

赤堀浩也, 太田裕之, 小島正継, 長谷川正人, 目片英治
膵癌治療の現状
第36回 東近江総合医療センター臨床談話会, 2017年8月, 東近江

森 治樹, 飯田洋也, 赤堀浩也, 仲 成幸, 北村直美, 前平博充, 三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 貝田佐知子,
山口 剛, 稲富 理, 安藤 朗, 谷 眞至
戸谷Ia型先天性胆道拡張症・膵胆管合流異常に合併した胆嚢および膵同時性重複癌の1例
第53回 日本胆道学会学術集会, 2017年9月, 山形

村上耕一郎, 仲 成幸, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 前平博充, 森 治樹, 飯田洋也, 谷 眞至
腹壁癒痕ヘルニア術後の胆石症に対し3Dシミュレーションを用いて最適なポート位置を予測し腹腔鏡下手術を施行
した症例
第53回 日本胆道学会学術集会, 2017年9月, 山形

塩見尚礼, 丹後泰久, 仲 成幸, 赤堀浩也, 北村直美, 飯田洋也, 前平博充, 稲富 理, 馬場弘道, 駒井康伸, 谷 眞至
十二指腸乳頭部癌に対する腹腔鏡補助下乳頭切除術後の長期成績(第3報)
第53回 日本胆道学会学術集会, 2017年9月, 山形

赤堀浩也
膵臓がんをご存知ですか?~今や膵臓がんは身近な病気のひとつです~
第26回 東近江総合医療センター市民公開講座, 2017年9月, 東近江

赤堀浩也, 飯田洋也, 北村直美, 前平博充, 仲 成幸, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 森 治樹, 稲富 理, 安藤 朗,
九嶋亮治, 谷 眞至
静脈侵襲を認めた非機能性膵神経内分泌腫瘍の悪性度に関する検討
第55回 日本癌治療学会学術集会, 2017年10月, 横浜

太田裕之, 小島正継, 赤堀浩也, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 遠藤善裕, 谷 徹, 谷 眞至, 目片英治
痔核に対する新規手術器具アクロサージ®の使用経験
第72回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2017年11月, 福岡

太田裕之
閉塞性大腸癌における最新治療
第23回 病診連携フォーラム, 2017年11月, 近江八幡

太田裕之, 赤堀浩也, 小島正継, 目片英治
医学生に対する内視鏡手術教育の取り組み
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

小島正継, 赤堀浩也, 太田裕之, 瀬戸山 博, 長谷川正人, 目片英治
カプセル内視鏡および小腸内視鏡を用いて術前に診断し, 腹腔鏡補助下に摘出した小腸平滑筋肉腫の1例
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

太田裕之, 小島正継, 山根あゆみ, 辻川知之, 伊藤明彦
重度褥瘡を伴う飢餓状態の高齢者に対してrefeeding syndromeを念頭においた栄養管理が奏効した1例
第33回 日本静脈経腸栄養学会学術集会, 2018年2月, 横浜

西村慎悟, 長岡紀江, 目片英治
地域医療連携室だより
第37回 東近江総合医療センター臨床談話会, 2018年2月, 東近江

赤堀浩也, 井上明星, 小島正継, 太田裕之, 目片英治
術前に脂肪腫と診断され外科的切除を行った成人回腸腫重積症の1例
第54回 日本腹部救急医学会, 2018年3月, 東京

井上明星, 小島正継, 赤堀浩也, 太田裕之, 目片英治
異なる経過を示した小腸軸捻転症の3例
第54回 日本腹部救急医学会, 2018年3月, 東京

小島正継, 太田裕之, 赤堀浩也, 目片英治
当院での技術認定医を目指した取り組み
第24回 近畿内視鏡下大腸手術研究会, 2018年3月, 京都

赤堀浩也
糖尿病が教えてくれる?!糖尿病と膵がんの関わりについて
滋賀医科大学地域医療教育研究拠点市民公開講座 第3回 医療セミナー, 2018年3月, 大津

【プロジェクト】

目片英治(副総括事業代表者)
研究開発課題名 日本医療研究開発機構委託 医工連携事業化推進事業「軽量樹脂製手術器具の開発・事業化」
2017年4月1日～2018年3月31日

独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター 呼吸器外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Ohuchi M, Inoue S, Ozaki Y, Ueda K.
systemic air embolism during pleural lavage for empyema.
Gen Thorac Cardiovasc Surg, 65: 602-604, 2017

〈和文学術論文〉

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 上田桂子
急速に進行した胸壁原発類上皮血管内皮腫の1例
日本呼吸器外科学会雑誌 31(4): 470-476, 2017

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 上田桂子, 藤田琢也
胸腔鏡下心膜開窓術とステロイドホルモン剤で治療を行った結核性心膜炎の1例
日本呼吸器外科学会雑誌 31(5): 621-627, 2017

和田 広, 坂下拓人, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣, 上田桂子
多剤併用の治療が奏功した肺Mycobacterium fortuitum症の1例
日本呼吸器学会雑誌 6(5): 368-372, 2017

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

和田 広, 坂下拓人, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣
当院におけるハイフローセラピー使用の現状について
第57回 日本呼吸器学会学術講演会, 2017年4月, 東京

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 上田桂子
当院における女性気胸手術症例の検討
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

上田桂子, 尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣
二期的手術後に有茎広背筋皮弁による胸壁再建を要した悪性末梢神経鞘腫の一例
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 上田桂子
肺癌手術再発後の予後因子としてのEGFR遺伝子変異の意義
第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

上田桂子, 大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 和田 広, 坂下拓人
Nivolumabによる肺癌治療中に気胸を繰り返しEWSによる気管支充填術を施行した1例
第40回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2017年6月, 長崎

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 上田桂子, 和田 広, 坂下拓人
悪性胸水に対する細径胸腔鏡検査施行後の気腫発生症例の検討
第40回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2017年6月, 長崎

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 上田桂子
局所麻酔胸腔鏡下にウロキナーゼ散布を行った急性膿胸症例の検討
第40回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2017年6月, 長崎

和田 広, 坂下拓人, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣, 上田桂子
外科的治療併用にて治癒した多剤耐性結核の1例
第119回 日本結核病学会近畿地方会・第89回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2017年7月, 大阪

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 苗村佑樹
自然気胸の発症における気象要因との関連の検討
第21回 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2017年9月, 久留米

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 上田桂子
胸部CTで多発肺腺癌が疑われ切除した肺毛細血管腫症の1例
第58回 日本肺癌学会学術集会, 2017年10月, 横浜

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 上田桂子
孤立性肺毛細血管腫(solitary capillary hemangioma)の1例
第58回 日本肺癌学会学術集会, 2017年10月, 横浜

武村秀孝, 苗村佑樹, 上田桂子, 大内政嗣, 尾崎良智, 井上修平
多発気管内転移を認め気管支鏡下に提出して診断した腸型肺腺癌の1例
第71回 国立病院総合医学会, 2017年11月, 高松

苗村佑樹, 大内政嗣, 尾崎良智, 井上修平
術後14年でリンパ節再発を来したALK陽性肺癌の一例
第107回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2018年2月, 大阪

医療法人社団 日野記念病院 外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Tanaka A, Yamada A, Umeda T, Kaneko C, Shimizu T, Naka S, Tani T, Tani M.

Predictive detection areas for identifying additional MRI-detected breast lesions on second-look ultrasonography. *Surgery Today*. 47(11): 1321-1330, 2017

〈和文学術論文〉

東田宏明, 児玉泰一, 徳田 彩, 内藤弘之

Morgagni-Larrey孔ヘルニアに対し腹壁外結紮法を併用した腹腔鏡下ヘルニア修復術の一例
日本内視鏡外科学会雑誌 23(1): 77-83, 2018

山田篤史, 仲 成幸, 森川茂廣, 新田哲久, 谷 徹

弾性アームに基づく操舵可能な針の屈曲機構

日本ロボット学会誌 35(7): 539-547, 2017

【学会発表】

〈国際学会〉

Naka S, Tani T, T Khiem D, Tani S, Yamada A, Murakami K, Maehira H, Iida H, Akabori H, Kitamura N, Tani M.
Microwave Surgical Device “Acrosurg.” is a Cutting-Edge Technology of Liver Resection Surgery.
6th Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association (A-PHPBA), 2017 Jun, 横浜

Yamada A, Nitta N, Naka S, Morikawa S, Tani S, Tani T.

A 1.7 Fr. Steerable Microcatheter Based on a Loop-Shaped Guidewire.

CARS 2017 Computer Assisted Radiology and Surgery, 2017 Jun, Barcelona

Yamada A, Naka S, Nitta N, Morikawa S, Tani S, Tani T.

An Adaptive Steerable Needle Based on a Loop-Shaped Flexible Arm.

CARS 2017 Computer Assisted Radiology and Surgery, 2017 Jun, Barcelona

Yamada A, Naka S, Tokuda J, Tani T, Morikawa S.

An Accuracy Assessment of Hybrid Image Navigation System with MR and Ultrasound to Assist Needle Puncture.

CARS 2017 Computer Assisted Radiology and Surgery, 2017 Jun, Barcelona

Nitta N, Yamada A, Watanabe S, Sonoda A, Ota S, Tani T, Inoue A, Naka S, Morikawa S, Murata K.

Needle Steering Methods Based on a Loop-Shaped Flexible Mechanism.

RSNA2017, 2017 Nov, Chicago

〈全国学会・地方会・その他〉

仲 成幸, 山田篤史, 谷 総一郎, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 飯田洋也, 森川 茂, 谷真 至, 谷 徹

高磁場MRI対応電子内視鏡によるMR画像誘導手術システムの開発

第117回 日本外科学会定期学術集会, 2017年4月, 横浜

Nitta N, Yamada A, Watanabe S, Sonoda A, Ota S, Inoue A, Naka S, Morikawa S, Tani T, Murata K.

Development of Novel Steerable Needle using Active Sheath Mechanism,

第76回 日本医学放射線学会総会(JRS2017), 2017年4月, 横浜

Nitta N, Yamada A, Watanabe S, Naka S, Morikawa S, Ota S, Sonoda A, Inoue A, Tani T, Murata K.

A Steerable Microcatheter “Active Sheath” based on Novel Flexible Mechanism(新機構に基づく先端可動マイクロカテーテルの開発)

第46回 日本IVR学会総会, 2017年5月, 岡山

児玉泰一, 東田宏明, 仲成幸, 迫裕孝, 花澤一芳
腹腔鏡下手術を行った尿管管遺残症の1例
第111回 滋賀県外科医会, 2017年6月, 大津

児玉泰一, 東田宏明, 仲成幸, 迫裕孝, 花澤一芳
当院の腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術の現状
第23回 琵琶湖消化器外科懇話会, 2017年6月, 南草津

児玉泰一, 東田宏明, 仲成幸, 迫裕孝, 花澤一芳
当院の腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術の現状
第17回 滋賀ヘルニア研究会, 2017年7月, 大津

児玉泰一, 東田宏明, 仲成幸, 迫裕孝, 花澤一芳, 谷眞至, 谷徹
甲状腺手術に対する新規エネルギーデバイス「アクロサージ(AcroSurge)」の使用経験
第36回 Microwave Surgery 研究会, 2017年8月, 和歌山

仲成幸, 谷総一郎, 宇治祥隆, 塩見尚礼, 太田裕之, 東田宏明, 神谷純広, 吉岡豊一, 谷眞至, 土橋洋史, 谷徹
マイクロ波手術器具アクロサージ(AcroSurge)の初期臨床応用
第36回 Microwave Surgery 研究会, 2017年9月, 和歌山

東田宏明, 児玉泰一, 仲成幸, 花澤一芳
単孔式腹腔鏡下体外結紮虫垂切除術の導入
第25回 JDDW, 2017年10月, 福岡

山田篤史, 新田哲久, 仲成幸, 森川茂廣, 谷徹
ループ型弾性屈曲機構を用いた針のステアリング性能評価
第26 日本コンピュータ外科学会大会, 2017年10月, 名古屋

児玉泰一, 東田宏明, 仲成幸, 迫裕孝, 花澤一芳
腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術を施行した再々発鼠径ヘルニアの1例
第112回 滋賀県外科医会, 2017年11月, 大津

児玉泰一, 東田宏明, 仲成幸, 迫裕孝, 花澤一芳
当院の腹腔鏡下胃切除術後再建の現状
第24回 琵琶湖消化器外科懇話会, 2017年12月, 南草津

児玉泰一, 東田宏明, 仲成幸
当科における腹腔鏡下ヘルニア修復術(TAPP)導入後の短期成績
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

東田宏明, 児玉泰一, 仲成幸, 花澤一芳
体外切離を伴った単孔式腹腔鏡下虫垂切除術の導入
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

児玉泰一, 東田宏明, 仲成幸, 花澤一芳
当科における腹腔鏡下ヘルニア修復術(TAPP)
第4回 消化器外科手術わからん会, 2018年1月, 大津

社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Mizumura N, Okumura S, Tsuchihashi H, Ogawa M, Kawasaki M.
Spontaneous external biliary fistula arising from an intrahepatic duct.
Clin J Gastroenterol. 11(1): 83-86, 2018

〈和文学術論文〉

豊田 翔, 今川敦夫, 出村公一, 土橋果実, 奥村 哲, 安田 洋, 山本堪介, 伊藤 文, 水村直人, ゆう 賢, 土橋洋史,
小川雅生, 川崎誠康, 亀山雅男
食道胃接合部癌両側副腎転移の1切除例
癌と化学療法 44(12): 1443-1445, 2017

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

土橋洋史, 望月慶子, 竹本法弘, 塚山正市, 藤岡重一
当院における切除不能, 進行再発大腸癌に対するTAS-102の使用経験
第72回 日本消化器外科学会, 2017年7月, 金沢

豊田 翔, 奥村 哲, 安田 洋, 山本堪介, 伊藤 文, 水村直人, ゆう 賢, 土橋洋史, 小川雅生, 川崎誠康, 亀山雅男
Capecitabineによる大腸癌術後補助化学療法中に重篤な有害事象をきたし死亡したdihydropyrimidine dehydrogenase
(DPD)欠損症が疑われた1例
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

山本堪介, 奥村 哲, 豊田 翔, 安田 洋, 伊藤 文, 水村直人, ゆう 賢, 土橋洋史, 小川雅生, 川崎誠康, 亀山雅男,
吉村道子
腸閉塞を契機に発見された胸部中部食道癌原発の腹膜播種の一例
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

川崎誠康, 奥村 哲, 豊田 翔, 安田 洋, 山本堪介, 伊藤 文, 水村直人, ゆう 賢, 土橋洋史, 小川雅生, 亀山雅男
3回の再発巣摘出術を経て5年以上の長期生存を得ている卵巣癌Ⅲc期の1例
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

ゆう 賢, 奥村 哲, 豊田 翔, 安田 洋, 山本堪介, 伊藤 文, 水村直人, 土橋洋史, 小川雅生, 川崎誠康, 亀山雅男
腹腔鏡下胃切除術後の再建に関するトラブルを回避するための工夫
第79回 日本臨床外科学会総会, 2017年11月, 東京

ゆう 賢, 奥村 哲, 豊田 翔, 安田 洋, 山本堪介, 伊藤 文, 水村直人, 土橋洋史, 小川雅生, 川崎誠康, 亀山雅男
高齢者進行胃癌のオンコロジーエマージェンシーに対する腹腔鏡下胃切除術の短期成績
第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 乳腺外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Abe H, Teramoto A, Yamasaki K, Mori T, Kawai Y, Isida M, Tani M.
Lung metastasis from breast cancer combined with primary lung cancer: Report of a case.
J Shiga Univ Med Sci, 30(1): 38-41, 2017

〈和文学術論文〉

竹井裕美子, 寺本敦子, 田中義人, 山崎圭一, 米田光里, 阿部 元
乳腺管状癌の1例
臨牀と研究 94(8): 1015-1018, 2017

【学会発表】

〈国際学会〉

Abe H, Teramoto A, Tanaka M, Yamasaki K, Yoneda K.
Preoperative diagnosis of sentinel lymph node metastasis using computed tomography lymphography for early breast cancer patients.
2017 San Antonio Breast Cancer Symposium, Henry B. Gonzalez Convention Center

〈全国学会・地方会・その他〉

阿部 元
乳癌局所療法 —2017年のまとめ—
東山乳癌会議 2018, 京都

阿部 元, 寺本敦子, 山崎圭一, 米田光里
ICG蛍光法およびCT-lymphographyを用いた乳癌センチネルリンパ節の同定
第25回 日本乳癌学会総会, 2017年7月, 福岡

山崎圭一, 阿部 元, 寺本敦子
乳腺外科医であり日本緩和医療学会専門医が行うACPについて
第25回 日本乳癌学会総会, 2017年7月, 福岡

寺本敦子, 山崎圭一, 米田光里, 高塚雄一, 阿部 元, 堀内俊孝
乳癌術後の急性期疼痛に対する傍脊椎および前胸壁ブロックの有効性の後ろ向き検討
第25回 日本乳癌学会総会, 2017年7月, 福岡

島田美香, 松岡晃子, 新林文子, 阿部 元
女性専用病棟におけるリンパ浮腫指導への取り組み
第25回 日本乳癌学会総会, 2017年7月, 福岡

前原里香, 島田美香, 松岡晃子, 阿部 元
レディース病棟入院中の女性生殖器がん患者に対する苦痛緩和のための看護ケア補完代替療法実施の文献検討
第25回 日本乳癌学会総会, 2017年7月, 福岡

阿部 元
CIPNを緩和するために 講演1 乳腺外科の立場から
第55回 日本癌治療学会学術集会, 2017年10月, 横浜

竹井裕美子, 寺本敦子, 田中義人, 山崎圭一, 米田光里, 阿部 元
乳腺管状癌の1例
第15回 日本乳癌学会近畿地方会, 2017年12月, 京都

医療法人 マキノ病院 外科

【対外活動】

藤田益嗣
「高島で癌(がん)になったら・・・まかせてください」
市民公開講座, 2017年11月, 高島

みずき皮フ科クリニック

【論文】

〈和文学術論文〉

山本理奈, 榎堀みき子

光とラジオ波のコンビネーション治療による肌のリジュビネーション

日本レーザー治療学会誌 16(2): 13-16, 2018

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

山本理奈, 榎堀みき子

光とラジオ波のコンビネーション治療による肌のリジュビネーション

第29回 日本レーザー治療学会, 2017年6月, 東京

独立行政法人国立病院機構 東京都病院 呼吸器外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

大塩恭彦, 赤澤 彰, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口 庸, 大塩麻友美, 五十嵐知之, 花岡 淳

胸腔鏡下肺切除術における創部仮閉鎖によるエアリーク確認の工夫

第70回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2017年9月, 札幌

大塩恭彦, 林 一喜, 大塩麻友美, 五十嵐知之, 橋本雅之, 花岡 淳

胸腔鏡下手術での小型末梢病変の同定におけるICG蛍光内視鏡システムの有用性の検討

第30回 日本内視鏡外科学会総会, 2017年12月, 京都

医療法人社団緑成会 横浜総合病院 ハートセンター 心臓血管外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Oi T, Higashita R, Ishikawa N.

Efficacy of High-Resolution Epicardial Ultrasonography in Cardiovascular Surgery.

American Journal of Cardiovascular and Thoracic Surgery, 2017

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

引間万貴, 武田直人, 小林麻里, 吉井 準, 藤森大吾, 篠原由美子, 後藤由紀子, 東 佳代, 東田隆治

下肢慢性創傷入院患者における退院時の歩行維持に関する因子の検討

第9回 日本下肢救済・足病学会学術集会, 2017年5月, 福岡

東田隆治

重症虚血肢に対するマゴットセラピー

第9回 日本下肢救済・足病学会学術集会, 2017年5月, 福岡

医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院 呼吸器外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Okamoto K, Ichinose M.

Idiopathic fibrosing mediastinitis mimicking nodal metastasis from breast cancer.

Asian Cardiovasc Thorac Ann. 25(9): 663-664, 2017

〈和文学術論文〉

西山聖也, 土谷美知子, 坂口才, 味水 瞳, 中西陽祐, 林 康之, 森川 昇, 一瀬増太郎, 岡本圭伍, 長坂行雄, 安井 寛

亜急性に呼吸困難が増悪した80歳女性

Progress in Medicine 37(2): 269-276, 2017

三宅可奈江, 久保聡一, 藤村幹彦, 山本有香, 田嶋友一, 友井正弘, 確井文隆, 神山理絵子, 飯沼昌二, 堀 哲雄, 一瀬増太郎, 安井 寛

腫瘍関連サルコイド反応による縦隔リンパ節腫大を呈した食道癌の1例 CT, FDG PET/CT所見を中心に
洛和会病院医学雑誌 28: 33-37, 2017

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

一瀬増太郎, 岡本圭伍, 堀 哲雄

当科における慢性血液透析患者に対する肺癌手術症例の検討

第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

岡本圭伍, 一瀬増太郎

脊椎椎体骨折による外傷性血胸の2例

第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

岡本圭伍, 一瀬増太郎

EWS抜去困難症例に対してシングルユースビデオ気管支鏡を併用した1例

第40回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会総会, 2017年6月, 長崎

上田桂子, 尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣

二期的手術後に有茎広背筋皮弁による胸壁再建を要した悪性末梢神経鞘腫の1例

第34回 日本呼吸器外科学会総会, 2017年5月, 福岡

上田桂子, 大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 和田 広, 坂下拓人

Nivolumabによる肺癌治療中に気胸を繰り返しEWSによる気管支充填術を施行した1例

第40回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会総会, 2017年6月, 長崎

岡本圭伍, 一瀬増太郎, 赤澤 彰, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之, 大塩恭彦, 花岡 淳

肋骨骨折を伴う鈍的胸部外傷症例の検討

第70回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2017年9月, 札幌

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

■ 役 員

■ 定 款

■ 賛助会員

■ 広告掲載ご協力

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会役員・委員

平成30(2018)年1月～

〔理事 長〕 ・加 藤 弘 文

〔副 理 事 長〕 ・谷 徹

〔理 事〕 ・小 玉 正 智 ・浅 井 徹 (2018 年度会長)
・谷 眞 至
・花 澤 一 芳 (会計・総務) ・平 野 正 満 (会計・総務)
・来 見 良 誠 (教育・学術) ・井 上 修 平 (教育・学術)
・遠 藤 善 裕 (広報) ・白 石 昭 一 郎 (広報)

〔監 事〕 ・寺 田 信 國 ・山 本 明

〔代 議 員〕 ・一 瀬 増 太 郎 ・梅 田 朋 子 ・江 口 豊
・岡 藤 太 郎 ・尾 崎 良 智 ・木 下 武
・澤 井 聡 ・塩 見 尚 礼 ・清 水 智 治
・鈴 木 友 彰 ・鈴 村 雄 治 ・園 田 寛 道
・寺 本 晃 治 ・仲 成 幸 ・花 岡 淳
・藤 野 昇 三 ・水 黒 知 行 ・村 田 聡
・目 片 英 治

〔委 員 会 委 員〕

(会計・総務) ・大 塩 恭 彦 ・清 水 智 治
(選挙管理委員会) ・鈴 木 友 彰 ・目 片 英 治 ・大 塩 恭 彦
(企画(教育・学術)) ・村 田 聡 ・花 岡 淳 ・河 合 由 紀
(広報) ・山 口 剛 ・木 下 武
(事務局) ・花 岡 淳 ・山 口 剛

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会定款

第1章 総則

(名称)

第1条 当法人は、一般社団法人滋賀医科大学外科同門会と称する。

(主たる事務所の所在地)

第2条 当法人は、主たる事務所を滋賀県大津市に置く。

2. 当法人は、理事会の決議により前項のほか、従たる事務所を必要な場所に置くことができる。

(目的)

第3条 当法人は、外科に関する学術の研鑽、普及及び滋賀医科大学外科学講座の発展と向上及び地域における外科医療の充実を目的とする。

(事業)

第4条 当法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学術振興及び研究援助
- (2) 滋賀医科大学外科学講座の拡充と設備の強化及びその助成
- (3) 外科を志す人材勧誘活動とその支援
- (4) 関連病院及び地域医療機関との連携強化
- (5) 会員相互の親睦をはかるための行事
- (6) その他当法人の目的達成に必要と認められる事業

(公告方法)

第5条 当法人の公告方法は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

(機関)

第6条 当法人の機関として、社員総会及び理事以外に理事会及び監事を置く。

第2章 会員及び社員

(会員の資格及び社員)

第7条 当法人の会員は、次の5種とし、当法人の目的に賛同するものは、当法人の会員になることができる。

- (1) 正会員 滋賀医科大学外科学講座の過去または現在の在籍者、及び希望者
- (2) 特別会員 滋賀医科大学外科学講座の非常勤講師、あるいはこれに準じるもの
- (3) 賛助会員 法人の事業を賛助する団体及び個人
- (4) 名誉会員 原則として理事長を務めた者の中から、理事会の議を経て推薦されたもの
- (5) 休会会員 正会員のうち、休会を希望するもの

2. 当法人に第3章の規定に基づき正会員の中から選出された代議員を置き、代議員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。

(正会員の権利)

第8条 正会員は、第3章に定める代議員選挙の選挙権及び被選挙権を等しく有するほか、法人法に規定された次に掲げる権利を代議員（社員）と同様に当法人に対して行使することができる。

- (1) 法人法第14条第2項に定める権利（定款の閲覧等）
- (2) 法人法第32条第2項に定める権利（社員名簿の閲覧等）
- (3) 法人法第50条第6項に定める権利（社員の代理権証明書等の閲覧等）
- (4) 法人法第52条第5項に定める権利（電磁的方法による議決権行使記録の閲覧等）
- (5) 法人法第57条第4項に定める権利（社員総会の議事録の閲覧等）
- (6) 法人法第129条第3項に定める権利（計算書類等の閲覧等）
- (7) 法人法第229条第2項に定める権利（清算法人の貸借対照表の閲覧等）
- (8) 法人法第246条第3項、第250条第3項及び第256条第3項に定める権利（合併契約等の閲覧等）

(入会)

第9条 当法人の会員となるには、当法人所定の入会申込書により入会の申し込みをし、理事会の承認を得なければならない。

(入会金及び会費)

第10条 正会員は、当法人の目的を達成するため、それに必要な経費を支払う義務を負う。

2. 正会員は、社員総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。なお、会員に関するその他の事項は、別に定める細則によるものとする。

(会員名簿)

第11条 当法人は、会員の氏名又は名称及び住所を記載した会員名簿（この名簿は、正会員につき法人法上の「社員名簿」を兼ねるものとする。）を作成し、当法人の主たる事務所に据え置くものとする。

(会員の資格喪失)

第12条 会員は、次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退会したとき
- (2) 成年被後見人又は被補佐人になったとき
- (3) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は解散したとき
- (4) 正当な理由無く3年以上会費を滞納し、催告を受けてもそれに応じず、納入しないとき
- (5) 除名されたとき

(退会)

第13条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第14条 当法人の会員が、当法人の名誉を棄損し、若しくは当法人の目的に反する行為をしたとき、又は社員としての義務に違反したときは、法人法第49条第2項に定める社員総会の特別決議により除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

(提出金品の不返還)

第15条 既納の入会金、会費及びその他の提出金品は、返還しない。

第3章 代議員

(代議員)

第16条 当法人に代議員を置き、概ね正会員数の7%の割合で選出された代議員をもって、法人法上の社員とする（端数の取扱いについては理事会で定める。）。2. 代議員は、第12条に掲げる事由により退会した場合は、法人法上の社員としての地位を喪失し、退社するものとする。

3. 代議員が理事となった場合には、代議員を辞任するものとする。

(代議員の選出)

第17条 代議員は、正会員による代議員選挙により選出する。代議員の選挙を行うために必要な細則は理事会において定める。

2. 正会員は、他の正会員と等しく代議員選挙に立候補し又は代議員を選挙する権利を有する。理事及び理事会は、代議員を選出することはできない。

(任期)

第18条 代議員の任期は、選出後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会（定時代議員総会）の終結の時までとする。

ただし、任期満了後においても後任者が選出されるまではその職務を行わなければならない。

また、代議員が社員総会決議取消しの訴え、解散の訴え、責任追及の訴え及び役員解任の訴え（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）第266条第1項、第268条、第278条、第284条）を提起している場合（法人法第278条第1項に規定する訴えの提起の請求をしている場合を含む。）には、当該訴訟が終結するまでの間、当該代議員は社員たる地位を失わない。当該代議員は、役員を選任及び解任（法人法第63条及び第70条）並びに定款変更（法人法第146条）についての議決権を有しないこととする。

2. 任期満了前に退任した代議員の補欠として選出された者の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。
3. 増員により選出された代議員の任期は、他の代議員の任期の残存期間と同一とする。

（補欠代議員の予選）

第19条 代議員が欠けた場合又は代議員の員数を欠くこととなるときに備えてあらかじめ補欠の代議員を選出することができる。この場合の代議員の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

2. 補欠の代議員を予選する場合には、次に掲げる事項も併せて決定しなければならない。

- (1) 当該候補者が補欠の代議員である旨
 - (2) 当該候補者を1人又は2人以上の特定の代議員の補欠の代議員として選出するときは、その旨及び当該特定の代議員の氏名
 - (3) 同一の代議員（2人以上の代議員の補欠として選出した場合にあっては、当該2人以上の代議員）につき2人以上の補欠の代議員を選出するときは、当該補欠の代議員相互間の優先順位
3. 第1項の補欠代議員の予選に係る議決が効力を有する期間は、当該議決後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会（定時代議員総会）の終結の時までとする。

第4章 社員総会

（招集等）

第20条 社員総会は、第3章に定める代議員をもって組織する。

2. 前項の社員総会をもって法人法上の社員総会とする。
3. 当法人の社員総会は、定時社員総会と臨時社員総会があるものとし、定時社員総会は毎事業年度終了後2ヶ月以内に、臨時社員総会は必要がある場合に臨時開催する。
4. 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事長が招集する。
5. 総社員の5分の1の議決権を有する社員は、理事長に対し、社員総会の目的である事項及び招集の理由を示して社員総会の招集を請求することができる。
6. 社員総会の議長は、理事長がこの任に当たる。ただし、理事長に事故若しくは支障があるときは副理事長がこれに代わる。
7. 社員総会の招集は、法令に別段の定めがある場合を除き、開催日の1週間前までに、その会議の日時、場所、及び目的である事項を記載した書面又は電磁的方法によって通知しなければならない。

（権 限）

第21条 社員総会は、当法人の最高議決機関として、次の事項について議決する。

- (1) 事業報告
- (2) 役員を選任又は解任
- (3) 定款の変更
- (4) 役員報酬等の額及び規定
- (5) 法人法第113条に規定する役員責任の一部免除
- (6) 会員の除名
- (7) 解散及び残余財産の処分
- (8) 理事会において社員総会に付議した事項
- (9) その他重要な事項

（議決権）

第22条 社員総会における議決権は、社員1人につき1個とする。

（定足数及び決議の方法）

第23条 社員総会は、総社員の過半数の出席がなければ開催することができない。

2. 社員総会の決議は、法令又はこの定款に定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。
3. 前項に規定にかかわらず、次の決議は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。
 - (1) 会員の除名
 - (2) 監事の解任
 - (3) 役員等の責任の一部免除
 - (4) 定款の変更
 - (5) 解散
 - (6) その他法令で定められた事項

（書面表決等）

第24条 やむを得ない理由のために社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって又は電磁的方法により表決し、若しくは他の会員を代理人として委任することができる。

2. 前項の場合における前条の規定については、その社員は出席したものとみなす。
3. 理事又は社員が社員総会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

（社員総会議事録）

第25条 社員総会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、社員総会の日から10年間主たる事務所に据え置く。

2. 議長は、前項に議事録に記名押印する。

第5章 役員等

（役員設置等）

第26条 当法人に次の役員を置く。理事3名以上15名以内 監事2名以内

2. 理事のうち1名を理事長、1名を副理事長、2名以内を会長とする。
3. 前項の理事長を法人法上の代表理事とする。

（事務局及び職員）

第27条 当法人に、事務を処理するため事務局を設け、事務局長及び必要な職員を置く。

2. 事務局長は、理事会の議決を経て理事長が委嘱し、職員は理事長が任免する。
3. 事務局の組織及び運営に関する必要な事項は、理事会の議決を経て理事長が別に定める。

（選任等）

第28条 理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する。

2. 理事長、副理事長及び会長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

（理事の職務権限）

第29条 理事長は、当法人を代表し、その業務を執行する。

2. 副理事長は理事長を補佐し、会長は、当法人の業務を分担執行する。
3. 事務局長は当法人の事務を執行する。
4. 理事長、会長及び事務局長は、毎事業年度毎に4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務権限)

第30条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2. 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、当法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(任期)

第31条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2. 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会終結の時までとし、再任を妨げない。

3. 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4. 役員は、辞任又は任期の満了後において、定員を欠くに至った場合には、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行う権利義務を有する。

(解任)

第32条 役員は、社員総会の決議によって解任することができる。ただし、監事を解任する場合は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(報酬)

第33条 役員は、無報酬とする。

2. 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。

3. 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(取引の制限)

第34条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、理事会において、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

(1) 自己又は第三者のためにする当法人の事業の部類に属する取引

(2) 自己又は第三者のためにする当法人との取引

(3) 当法人がその理事の債務を保証することその他理事以外の者との間における当法人とその理事との利益が相反する取引

(責任の一部免除又は限定)

第35条 理事または監事は一般法人法第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として免除することができる。

第6章 理事会

(構成)

第36条 当法人に理事会を置く。

2. 理事会は、すべての理事をもって構成する。

3. 監事は理事会に出席し、意見を述べる事ができる。

(権限)

第37条 理事会は、次の職務を行う。

(1) 当法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長、副理事長及び会長の選定及び解職

(招集)

第38条 理事会は、理事長が招集する。

2. 理事長が欠けた時又は理事長に事故あるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第39条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長が欠けたとき又は理事長に事故あるときは、理事長があらかじめ理事会の決議を経て定められた順位により他の理事がこれに代わるものとする。

(決議)

第40条 理事会の決議は、決議についての利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(理事会の決議の省略)

第41条 理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面により同意の意思表示をしたとき(監事が当該提案に異議を述べた場合を除く。)は、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

(理事会議事録)

第42条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成する。

2. 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名又は記名押印し、10年間当法人の主たる事務所に据え置くものとする。

(理事会規則)

第43条 理事会に関する事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、理事会において定める理事会規則による。

第7章 決算

(事業年度)

第44条 当法人の事業年度は、毎年12月1日から11月30日までの年1期とする。

(事業計画及び取予算)

第45条 当法人の事業計画及び取予算については、毎事業年度開始日の前日までに理事長が作成し、理事会の決議を経て社員総会の承認(理事会の承認)を受けなければならない。

2. 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、社員総会の決議に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入を得又は支出することができる。

3. 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第46条 当法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経て定時社員総会に提出し、第1号、第2号についてはその内容を報告し第3号から第5号の書類については承認を受けなければならない。

(1) 事業報告書

(2) 事業報告書の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 損益計算書(正味財産増減計算書)

(5) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書

2. 第1項の書類のほか、監査報告の書類を主たる事務所に5年間据え置くとともに、定款及び会員名簿を主たる事務所に据え置くものとする。

(剰余金の処分制限)

第47条 当法人は、会員その他の者に対し、剰余金の分配をすることができない。

(残余財産の帰属)

第48条 清算をする場合において、当法人の残余財産は、類似の事業を目的とする公益社団法人又は公益財団法人に帰属させるものとする。

2. 前項に規定する他の公益社団法人又は公益財団法人は、第17条に規定する社員総会の決議により定めるものとする。

一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 賛助会員一覧

2018年10月1日現在

赤穂市民病院
医療法人医仁会 武田総合病院
医療法人恭昭会 彦根中央病院
医療法人弘英会 琵琶湖大橋病院
医療法人弘正会 西京都病院
医療法人社団浅ノ川 心臓血管センター 金沢循環器病院
医療法人社団昂会 日野記念病院
医療法人社団昂会 湖東記念病院
医療法人社団美松会 生田病院
医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院
医療法人仁生会 甲南病院
医療法人総心会 長岡京病院
医療法人東和会 第一東和会病院
医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院
医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院
医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院
医療法人芙蓉会 南草津病院
医療法人マキノ病院
医療法人友仁会 友仁山崎病院
医療法人よつば会 くろづ外科医院
近江八幡市立総合医療センター
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院
公益財団法人 豊郷病院
公立甲賀病院
国民健康保険 小松市民病院
社会医療法人畿内会 岡波総合病院
社会医療法人誠光会 草津総合病院
社会医療法人信愛会 暁生会脳神経外科病院
社会医療法人生長会 ベルランド総合病院
社会医療法人天神会 古賀病院 21
社会医療法人天神会 新古賀病院
社会福祉法人恩賜財団 済生会守山市民病院
特定医療法人社団御上会 野洲病院
独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター
独立行政法人国立病院機構 南京都病院
独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院
長浜市立湖北病院
長浜赤十字病院
三菱京都病院

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会の活動に、ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございました。
会員相互の親睦活動に加え、外科に関する学術の研鑽、若手外科医の育成、及び地域の外科医療の発展になお一層尽力する活動を行っていく所存でございます。

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 広告掲載ご協力

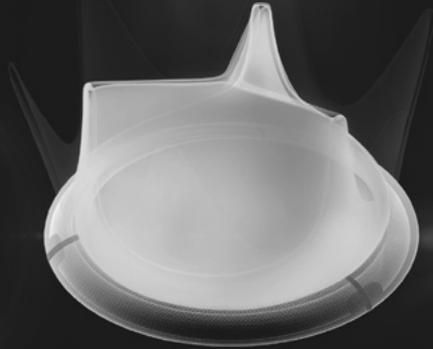
日本ライフライン株式会社
アストラゼネカ株式会社
センチュリーメディカル株式会社
エドワーズライフサイエンス株式会社
泉工医科工業株式会社
ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
株式会社大塚製薬工場
大塚製薬株式会社
アボットメディカルジャパン株式会社
MSD 株式会社
西村器械株式会社
コヴィディエンジャパン株式会社
石黒メディカルシステム株式会社
一般社団法人 日本血液製剤機構
サノフィ株式会社
日本イーライリリー株式会社
株式会社ツムラ
CSL ベーリング株式会社
ファイザー株式会社
帝人ファーマ株式会社
中外製薬株式会社
アルフレッサ ファーマ株式会社
旭化成ファーマ株式会社
日本メドトロニック株式会社
株式会社ダテ・メディカルサービス
ノバルティス ファーマ株式会社
帝人在宅医療株式会社
エーザイ株式会社
大鵬薬品工業株式会社
株式会社ジェイ・エム・エス

(申し込み順)

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会同門会誌発行にあたり、多くの皆様からご協力をいただきました。
ここに深く御礼申し上げます。

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

CROWN PRT



CROWN PRTは、1982年からのSORIN社製生体弁による臨床実績を基に
植え込みやすさ・耐久性を追求し磨きをかけた生体弁です

販売名：CROWN / PRT 生体弁 一般的名称：ウシ心のう膜弁 医療機器承認番号：22700BZI00019000

SOLO SMART

The smart way to return to life



ステントレス生体弁 **SOLO SMART** は
フィジオロジカルな弁運動の再現による
「優れた血行動態」を目指します。

■ SOLO SMART によるAVRの更なる可能性

- ✓ PPMを回避したい症例
- ✓ 僧帽弁形成術や僧帽弁置換術を要する場合

販売名：Soloステントレス生体弁
医療機器承認番号：22700BZI00031000

選任製造販売業社

日本ライフライン株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番20号 天王洲郵船ビル CVE 事業部 TEL.03-6711-5233
<http://www.jll.co.jp>

JLL Japan Lifeline



効能・効果

EGFRチロシンキナーゼ阻害薬に抵抗性のEGFR T790M変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌

【警告】

1. 本剤は、緊急時に十分に対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、添付文書を参照して、適切と判断される症例についてのみ投与すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に本剤の有効性及び危険性(特に、間質性肺疾患の初期症状、服用中の注意事項、死亡に至った症例があること等に関する情報)、非小細胞肺癌の治療法等を十分説明し、同意を得てから投与すること。
2. 本剤の投与により間質性肺疾患があらわれ、死亡に至った症例が報告されているので、投与期間中にわたり、初期症状(呼吸困難、咳嗽、発熱等)の確認及び定期的な胸部画像検査の実施等、観察を十分に行うこと。異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。また、特に治療初期は入院又はそれに準ずる管理の下で、間質性肺疾患等の重篤な副作用発現に関する観察を十分に行うこと。〔用法・用量に関連する使用上の注意〕、「慎重投与」、「重要な基本的注意」、「重大な副作用」の項参照)
3. 本剤投与開始前に、胸部CT検査及び問診を実施し、間質性肺疾患の合併又は既往歴がないことを確認した上で、投与の可否を慎重に判断すること。〔慎重投与〕の項参照)

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人(妊婦、産婦、授乳婦等への投与)の項参照)

効能・効果

EGFRチロシンキナーゼ阻害薬に抵抗性のEGFR T790M変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌

<効能・効果に関連する使用上の注意>

1. 十分な経験を有する病理医又は検査施設における検査により、EGFR T790M変異陽性が確認された患者に投与すること。検査にあたっては、承認された体外診断薬を用いて測定すること。
2. 【臨床成績】の項の内容を熟知し、本剤の有効性及び安全性を十分に理解した上で、本剤以外の治療の実施についても慎重に検討し、適応患者の選択を行うこと。
3. 本剤の術後補助化学療法における有効性及び安全性は確立していない。

用法・用量

通常、成人にはオシメルチニブとして80mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。

<用法・用量に関連する使用上の注意>

1. 他の抗悪性腫瘍剤との併用について、有効性及び安全性は確立していない。
2. 副作用がみられた場合は、症状、重症度等に応じて、以下の基準を考慮して、本剤を休薬、減量又は中止すること。本剤を減量する場合には、40mgを1日1回投与すること。

本剤の休薬、減量及び中止基準の目安

副作用	程度	処置
間質性肺疾患/肺臓炎	—	本剤の投与を中止する。
QT間隔延長	500msecを超えるQTc値が認められる	481msec未満又はベースラインに回復するまで本剤を休薬する。481msec未満又はベースラインに回復した後、本剤を減量し、投与を再開する。3週間以内に回復しない場合は本剤の投与を中止すること。
	重篤な不整脈の症状/兆候を伴うQT間隔延長	本剤の投与を中止する。
その他の副作用	Grade 3以上	Grade 2以下に改善するまで本剤を休薬する。Grade 2以下に回復した後、必要に応じて本剤の減量を考慮し、投与を再開する。3週間以内にGrade 2以下に回復しない場合は本剤の投与を中止すること。

GradelはCTCAE(Common Terminology Criteria for Adverse Events) ver. 4.0に基づく。

使用上の注意(抜粋)

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
 - (1) 間質性肺疾患のある患者又はその既往歴のある患者[間質性肺疾患が増悪し、死亡に至る可能性がある。]〔用法・用量に関連する使用上の注意〕、「重要な基本的注意」及び「重大な副作用」の項参照)
 - (2) 中等度又は重度の肝機能障害のある患者[血漿中濃度が上昇するおそれがある。]

- (3) QT間隔延長のおそれ又はその既往歴のある患者[QT間隔延長が起こるおそれがある。]〔用法・用量に関連する使用上の注意〕、「重要な基本的注意」及び「重大な副作用」の項参照)
2. 重要な基本的注意
 - (1) 間質性肺疾患があらわれることがあり、特に本剤投与開始12週間以内の発現が多いことが報告されている。初期症状(呼吸困難、咳嗽、発熱等)の確認及び定期的な胸部画像検査の実施等、観察を十分に行うこと。必要に応じて、動脈血酸素分圧(PaO₂)、動脈血酸素飽和度(SpO₂)、肺胞気動脈血酸素分圧較差(A-aDO₂)、肺拡散能力(DLco)等の検査を行うこと。また、患者に対して、初期症状があらわれた場合には、速やかに医療機関を受診するよう指導すること。〔用法・用量に関連する使用上の注意〕、「慎重投与」及び「重大な副作用」の項参照)
 - (2) QT間隔延長があらわれることがあるので、本剤投与開始前及び投与中は定期的に心電図検査及び電解質検査(カリウム、マグネシウム、カルシウム等)を行い、患者の状態を十分に観察すること。また、必要に応じて電解質補正を行うこと。〔用法・用量に関連する使用上の注意〕、「慎重投与」及び「重大な副作用」の項参照)
 - (3) 血小板減少、好中球減少、白血球減少、貧血があらわれることがあるので、本剤投与開始前及び投与中は定期的に血液検査(血球数算定、白血球分画等)を行い、患者の状態を十分に観察すること。〔重大な副作用〕の項参照)
 - (4) ALT(GPT)、AST(GOT)、ビリルビン等の上昇を伴う肝機能障害があらわれることがあるので、本剤投与開始前及び投与中は定期的に肝機能検査を行い、患者の状態を十分に観察すること。〔重大な副作用〕の項参照)
3. 相互作用

本剤は主にCYP3Aにより代謝される。また、本剤はBreast Cancer Resistance Protein(BCRP)を阻害することが示されている。

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	
CYP3A誘導剤	フェニトイン、リファンピシン、カルバマゼピン、セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort)等
BCRPの基質となる薬剤	ロスバスタチン、サラゾスルファピリジン等
QT間隔延長を起こすことが知られている薬剤	キノジン、プロカイナムド、オランダセトロン、クラリスロマイシン等

4. 副作用

EGFR T790M変異陽性の非小細胞肺癌患者を対象とした国際共同第I/II相試験(AURA試験)の第II相部分及び国際共同第II相試験(AURA2試験)の併成成績において、安全性評価対象症例411例(日本人80例を含む)中355例(86.4%)に副作用が認められ、主な副作用は、発疹・ごぼれ等155例(37.7%)、下痢150例(36.5%)、皮膚乾燥・湿疹等117例(28.5%)、爪の障害(爪肉炎を含む)96例(23.4%)等であった。また、日本人集団では80例中75例(93.8%)に副作用が認められ、主な副作用は、発疹・ごぼれ等45例(56.3%)、爪の障害(爪肉炎を含む)31例(38.8%)、下痢29例(36.3%)、皮膚乾燥・湿疹等24例(30.0%)、間質性肺疾患5例(6.3%)等であった。(承認時)副作用の頻度については、EGFR T790M変異陽性の非小細胞肺癌患者を対象とした国際共同第I/II相試験(AURA試験)の第II相部分及び国際共同第II相試験(AURA2試験)の併成成績に基づき記載した。

(1) 重大な副作用

- 1) 間質性肺疾患(2.7%)：間質性肺疾患(間質性肺炎、肺臓炎等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、ステロイド治療等の適切な処置を行うこと。
- 2) QT間隔延長(2.9%)：QT間隔延長があらわれることがあるので、患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には、本剤の休薬、減量又は中止等の適切な処置を行うこと。
- 3) 血小板減少(12.7%)、好中球減少(8.0%)、白血球減少(9.2%)、貧血(5.1%)：血小板減少、好中球減少、白血球減少、貧血があらわれることがあるので、患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には、本剤の休薬、減量又は中止等の適切な処置を行うこと。
- 4) 肝機能障害(7.8%)：ALT(GPT)、AST(GOT)、ビリルビン等の上昇を伴う肝機能障害があらわれることがあるので、患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には、本剤の休薬、減量又は中止等の適切な処置を行うこと。

承認条件

1. 医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。
2. 国内での治療症例が極めて限られていることから、製造販売後、一定数の症例に係るデータが集積されるまでの間は、全症例を対象に使用成績調査を実施することにより、本剤使用患者の背景情報を把握するとともに、本剤の安全性及び有効性に関するデータを早期に収集し、本剤の適正使用に必要な措置を講じること。
3. 本剤の投与が、肺癌の診断、化学療法に精通し、本剤のリスク等についても十分に管理できる医師・医療機関・管理薬剤師のいる薬局のもとでのみ行われるよう、製造販売にあたって必要な措置を講じること。

投薬期間制限医薬品に関する情報

本剤は新医薬品であるため、厚生労働省告示第97号(平成20年3月19日付)に基づき、平成29年5月末日まで、投薬(あるいは投与)は1回14日分を限度とされています。



抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤

タグリッソ錠 40mg・80mg

TAGRISSO® Tablets(オシメルチニブメシル酸塩)〔薬価基準収載〕
劇薬/処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

●その他の使用上の注意等の詳細は添付文書をご参照ください。●警告、禁忌を含む使用上の注意の改訂に十分ご注意ください。 2016年5月改訂(第2版)

製造販売元[資料請求先] アストラゼネカ株式会社 大阪市北区大深町3番1号 ☎0120-189-115(問い合わせフリーダイヤル)メディカラインフォーメーションセンター) ☎0120-259-258(タグリッソ医療従事者お問い合わせ窓口)

FORE-SIGHT

Absolute Tissue Oximetry ELITE[™]

FORE-SIGHT ELITE アブソリュートオキシメーターは…

絶対値による酸素飽和度の指標設定を可能*とし、
オペ室、ICU、救命救急など、あらゆる現場において、
臨床評価をリアルタイムにサポートします。

*正確度と精度の高い測定(±3.05%Arms)を実現することで、
より絶対値に近い値として酸素飽和度の評価が行えることを示します。



5波長の近赤外線を用いた 高い正確性と精度を追求

異なる5波長の近赤外線を用いて、頭皮から大脳皮質に至る光の吸収量を測定し、CASMED社が培った独自の演算アルゴリズムにより、物質ごとの識別を行い、正確性と精度の高い酸素飽和度測定(±3.05%Arms)が期待できます。酸素飽和度の変化に対して、相対的な評価だけでなく、絶対値をもとにした評価を行うことができます。



ボタン操作のストレスを無くす 高感度タッチパネルディスプレイを採用

大画面のタッチパネルディスプレイを採用し、ボタン操作のストレス無く、視覚的で迅速な機器操作を行うことができます。



2.5cmの深い近赤外線深達度で 大脳皮質への到達性能を強化

発光部と受光部(遠位)のインターバルを5cmとすることで、最大2.5cmの測定深度を実現しました。これにより比較的厚い頭蓋骨を有した症例においても、近赤外線を大脳皮質まで到達させることができます。

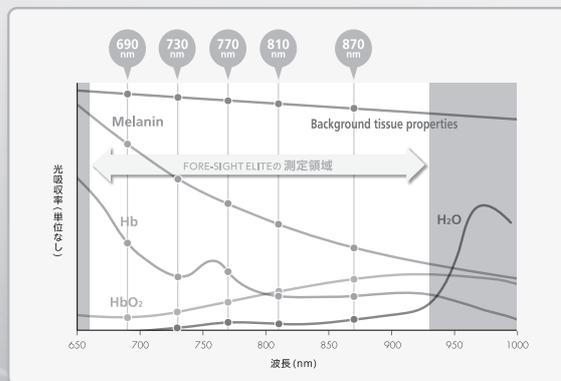


現代の医療環境に適応する 多彩な外部機器との接続機能

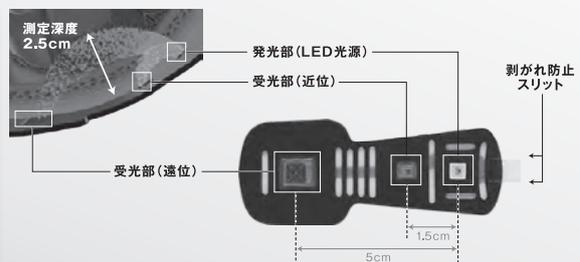
- 外部モニター出力 (VGA端子 640 x 480)
- 患者モニタリングシステム
- 麻酔記録システム、データ管理システム
- 電子カルテシステム

*接続可能な機器の詳細については弊社へお問い合わせ下さい。

5波長の近赤外線ポイントと物質別の光吸収率



大脳皮質表面への近赤外線到達イメージ



販売名: FORE-SIGHT ELITE オキシメーター 医療機器認証番号: 226ADB2I00143000
選任製造販売業者: センチュリーメディカル株式会社
外国特例認証取得者及び外国製造業者: CAS Medical Systems, Inc. (国名: アメリカ合衆国)

Proven Output. Easy Input.

Carpentier-Edwards PERIMOUNT
MAGNA EASE
Pericardial Aortic Bioprosthesis
with *ThermaFix Process*



Where MAGNA hemodynamics meets EASE of implantation.

PERIMOUNT 生体弁の長期遠隔成績¹と数多くの論文に著されている MAGNA の優れた血行動態性能。^{2,3} 臨床実績に裏付けられた PERIMOUNT MAGNA のプラットフォームに、独自の ThermaFix 石灰化抑制処理と、植え込み易さが加わった牛心のう膜弁。それが、カーペンターエドワーズ牛心のう膜生体弁マグナ EASE ThermaFix Process です。

¹ Forcillo J, et al. Carpentier-Edwards Pericardial Valve in the Aortic Position: 25-Years Experience. *Ann Thorac Surg.* 2013;96:486-93.

² Dalmou M, et al. The Carpentier-Edwards Perimount Magna aortic xenograft: a new design with an improved hemodynamic performance. *Interact Cardiovasc Thorac Surg.* 2006;5:263-7.

³ Botzenhardt F, et al. Hemodynamic performance and incidence of patient-prosthesis mismatch of the complete supraannular perimount magna bioprosthesis in the aortic position. *Thorac Cardiovasc Surg.* 2005;53:226-30.

販売名：カーペンターエドワーズ牛心のう膜生体弁マグナ EASE ThermaFix Process 承認番号：223008ZX00320

※ご使用の際には製品の添付文書を必ずお読みください。

Edwards, エドワーズ, Edwards Lifesciences, エドワーズライフサイエンス, 定型化されたEロゴ, Carpentier-Edwards, カーペンターエドワーズ, Magna, Magna Ease, PERIMOUNT, ベリマウント, ThermaFixはEdwards Lifesciences Corporationの商標です。その他の商標はそれぞれの商標権者に帰属します。

© 2018 Edwards Lifesciences Corporation. All rights reserved. EW2018020

製造販売元 エドワーズライフサイエンス株式会社

本社：東京都新宿区西新宿6丁目10番1号 Tel.03-6894-0500 edwards.com/jp



Edwards



あたらしいcorartは環境に応じた使いやすい「カタチ」をご提供します。従来までの高機能・高応答性、操作方法を保ちつつオペレーターを補助する機能を多数追加し、より「使い易く」を追求しました。駆動ユニット単体でも使用が可能です。小型・軽量により院内搬送を行い易く、また、ディスプレイを外した状態での使用も可能なため、多数の機器を併用する環境でも専有面積をとらずに使用が可能です。「AC/DCアダプター」を使用することで、駆動ユニット単独でAC駆動が行えます。

IABP駆動装置 販売名:コラートBP3

corart BP3

●承認番号:22700BZX00095000

UNIMOの基本コンセプトはすべての機能(遠心ポンプ、電子ブレンド、冷温水槽)がシステム架台に搭載しているリチウムイオンバッテリーにより運用ができ、さらなる小型で軽量ながら長時間の運用が可能です。遠心ポンプ単体にもニッケル水素バッテリーが搭載しており、単独使用の場合でも回路内圧2チャンネル、酸素飽和度1チャンネルのモニタリングが可能です。

(UNIMO - Unified ECMO Systemからくる造語)

メラ遠心血液ポンプシステム HCS-CFP



販売業者

MERA 泉工医科工業株式会社

■問い合わせ先:本社商品企画:TEL.03-3812-3254 FAX.03-3815-7011

■営業拠点:札幌支店・東北支店・青森・盛岡・福島・関東支店・つくば・松本・新潟・東京支店・横浜・中部支店・静岡・金沢・関西支店・中四国支店・岡山・四国・九州支店・鹿児島

●医療機器承認番号:22700BZX00013000 ●一般の名称:体外循環装置用遠心ポンプ駆動装置/人工心肺用システム ●販売名:メラ遠心血液ポンプシステム



が	私
ん	の
と	免
闘	疫
う	力
か	に
を	、
。	

患者さん自らが持つ免疫力を、
 がん治療に大きく生かすことはできないだろうか——。
 小野薬品とブリストル・マイヤーズ スクイブは、
 従来のがん治療とは異なる
 「新たながん免疫療法」の研究・開発に取り組んでいます。

高カロリー輸液用 糖・電解質・アミノ酸・総合ビタミン・微量元素液

処方箋医薬品* 薬価基準収載 ELNEOPA-NF No.1 Injection

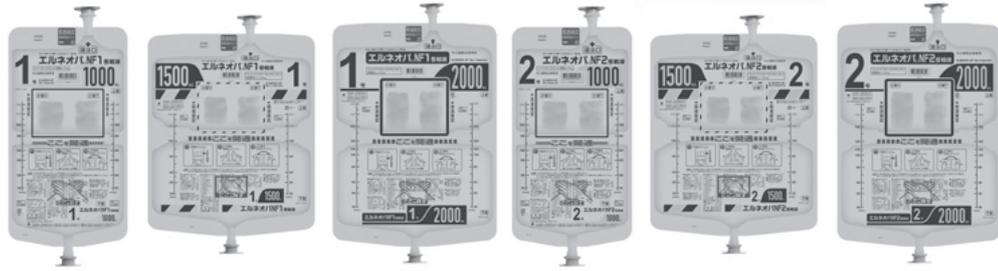
エルネオパ®NF1号 輸液

*注意—医師等の処方箋により使用すること

処方箋医薬品* 薬価基準収載 ELNEOPA-NF No.2 Injection

エルネオパ®NF2号 輸液

*注意—医師等の処方箋により使用すること



◇ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、製品添付文書をご参照ください。



製造販売元 株式会社大塚製薬工場 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
販売提携 大塚製薬株式会社 東京都千代田区神田司町2-9

資料請求先

株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンター
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2

(16.11作成)



V2-受容体拮抗剤

劇薬、処方箋医薬品*

薬価基準収載



サムスカ®

錠 7.5mg
錠 15mg
顆粒 1%

Samsca

トルバプタン製剤

*注意—医師等の処方箋により使用すること

◇ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。



製造販売元
大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

資料請求先

大塚製薬株式会社 医薬情報センター
〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

(18.03作成)



Trifecta™
VALVE WITH GLIDE™
TECHNOLOGY

植込みやすさの向上で、両立が難しかった
良好な血行動態とインプラント性を実現

外側からウシ心のう膜を取り付けることによって
実現した良好な血行動態に加えて、波型カフと、
流線型でプッシュポケット付きのホルダにより、
インプラント性も向上しました。

販売名：SJMトライフクタ生体弁GT 承認番号：2280082X0032000 製造販売元：アボットメディカルジャパン株式会社
販売名：SJMトライフクタ生体弁サイザードセットモデルTF2000 届出番号：1381X10120200038 製造販売元：アボットメディカルジャパン株式会社

アボットメディカルジャパン株式会社

〒105-7115 東京都港区東新橋一丁目5番2号 汐留シティセンター
Tel:03-6255-6376 Fax:03-6255-6377

※本品のご使用に際しては、添付文書を必ずお読みください。

™ Indicates a trademark of the Abbott group of companies. ©2018 Abbott. All rights reserved.

AD_SH_001A-01_118_APPR



抗悪性腫瘍剤
ヒト化抗ヒトPD-1モノクローナル抗体

薬価基準収載

キイトルーダ® 点滴静注
20mg・100mg

ペムブロリズマブ(遺伝子組換え)製剤 **KEYTRUDA**®

生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については
添付文書をご参照ください。

製造販売元 **MSD** MSD株式会社
〒102-8867 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア
<http://www.msd.co.jp/>

販売提携 **TAIHO** 大鵬薬品工業株式会社
東京都千代田区神田錦町1-27

2018年2月作成
KML18AD087N-0223



未来へ、生命を繋ぎます。

テクノロジーやデバイスの進化とともに医療現場を支援。
命に関わる事業の一貫として、40年にわたる実績をもとに
皆様とともに歩んでいきます。

ディーラー部門 循環器科/心臓血管外科/IVR 領域/透析・血液浄化/麻酔科/
整形外科・呼吸器外科 その他医療機器

メーカー部門 一般・心臓血管外科器械/低侵襲手術器械(MICS、VATS)
滅菌コンテナ等/ヘッドライト/光源装置/
術野カメラ/心臓モデル



西村器械株式会社
Nishimura Kikai Co., Ltd.

〒604-0903 京都市中京区河原町通奥川 上ル指物町330番地
TEL 075-222-2085 FAX 075-222-1940
本社・京都支店/大阪支店/滋賀支店/奈良支店/東京営業所/金沢営業所
<http://www.mednis.co.jp>



Valleylab™ FT10
エネルギープラットフォーム



理想の手術を追求する、 この1台

ソフトコアグモード搭載モデルが
ついに誕生

販売名: Valleylab FT10エネルギープラットフォーム 医療機器承認番号: 22800BZX00157000 クラスⅢ
販売名: ForceTriadエネルギープラットフォーム 医療機器承認番号: 21900BZX00853000 クラスⅢ

お問い合わせ先
コヴィディエンジャパン株式会社
Tel: 0120-998-971

medtronic.co.jp

Medtronic

医療を支える企業としての使命感を忘れずに
 今までこれからも・・・いつも生命のそばに



<http://www.ishiguro-medical.jp/>



石黒メディカルシステム株式会社

病 医 院 設 備
 医 療 機 器
 介 護 用 品
 有 料 老 人 ホ ー ム 運 営
 病 医 院 の 開 業 支 援

京 都 本 社 : 〒612-8412 京 都 市 伏 見 区 竹 田 中 川 原 町 381 番 地
 TEL 075-641-1496 FAX 075-641-0010
 大 阪 支 店 : 〒569-1145 大 阪 府 高 槻 市 富 田 丘 町 9 番 5 号
 TEL 072-696-1496 FAX 072-696-1961
 東 大 阪 支 店 : 〒577-0062 大 阪 府 東 大 阪 市 森 河 内 東 1 丁 目 26 番 19 号
 TEL 06-4308-5710 FAX 06-4308-5772
 神 戸 支 店 : 〒651-2113 兵 庫 県 神 戸 市 西 区 伊 川 谷 町 有 瀬 977 番 地 1
 TEL 078-975-3015 FAX 078-975-3016
 滋 賀 支 店 : 〒524-0041 滋 賀 県 守 山 市 勝 部 6 丁 目 4 番 36 号
 TEL 077-582-7770 FAX 077-582-7796
 奈 良 営 業 所 : 〒639-1124 奈 良 県 大 和 郡 山 市 馬 司 町 130 番 地
 TEL 0743-23-1496 FAX 0743-23-1497
 京 浜 営 業 所 : 〒210-0856 神 奈 川 県 川 崎 市 川 崎 区 田 辺 新 田 1-1
 TEL 044-328-6270 FAX 044-333-0121

血漿分画製剤 (液状・静注用免疫グロブリン製剤)

献血 ヴェノグロブリン® IH5% 0.5g/10mL・1g/20mL・2.5g/50mL
 静注 5g/100mL・10g/200mL

Venoglobulin IH5% i.v. 0.5g/10mL・1g/20mL・2.5g/50mL・5g/100mL・10g/200mL [献血] (生物学的製剤基準 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン)

[特定生物由来製品] [処方箋医薬品] (注意・医師等の処方箋により使用すること)

[薬価基準収載]



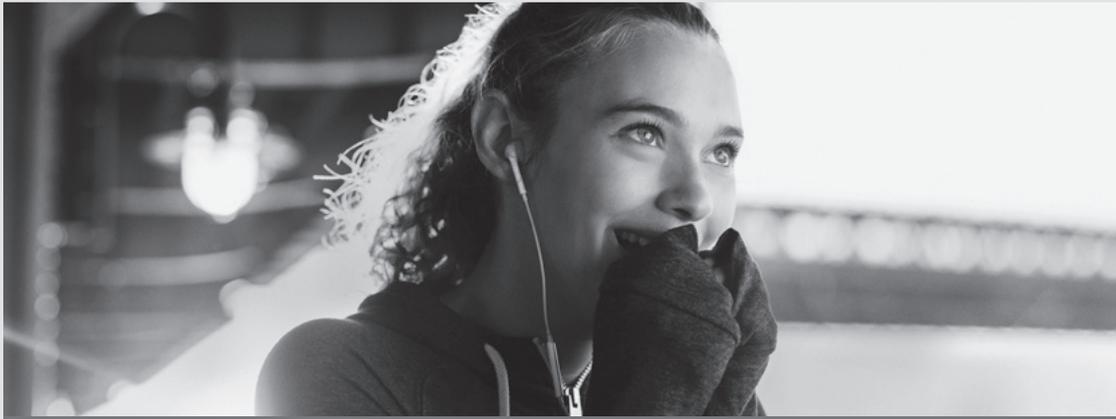
※効能・効果、用法・用量、禁忌・原則禁忌を
 含む使用上の注意等については、添付文書
 をご参照ください。

製造販売元 (資料請求先)
JB 一般社団法人
日本血液製剤機構
 東京都港区浜松町2-4-1

VGX(A4 1/2)2015年3月作成

[資料請求先]

一般社団法人 日本血液製剤機構 くすり相談室 〒105-6107 東京都港区浜松町2-4-1 医療関係者向け製品情報サイト <http://www.jbpo.or.jp/med/di/>



© Cultura RM Exclusive / Edwin Jimenez / Getty Images

Empowering Life

サノフィは、ヘルスジャーニー・パートナーとして、
私たちを必要とする人々に寄り添い支えます。

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー www.sanofi.co.jp



CYRAMZA®
(ramucirumab)

抗悪性腫瘍剤 ヒト型抗VEGFR-2^阻モノクローナル抗体
生物由来製品、新薬、処方薬承認済

サイラムザ® 点滴静注液 100mg
点滴静注液 500mg

CYRAMZA® Injection ラムシルマブ(遺伝子組換え)注射液
注: VEGFR-2 (Vascular Endothelial Growth Factor Receptor-2) 血管内皮増殖因子受容体阻
*注: 一部の薬剤の処方箋により使用する可也 (薬価基準収載)

ALIMTA®
pemetrexed

代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤 薬価基準収載
新薬 / 処方箋医薬品 (注意-医師等の処方箋により使用すること)

アリムタ® 注射用 100mg
注射用 500mg

Alimta® Injection (注射用ペムレキセドナトリウム水和物)

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告、禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

LJO-A031(R0)
2016年7月作成

製造販売元(資料請求先)
日本イーライリリー株式会社
〒651-0086 神戸市中央区磯上通7丁目1番5号

Lilly Answers リリーアンサーズ
日本イーライリリー 医薬情報問合せ窓口
0120-360-605 (医療関係者向け)
受付時間: 月~金 8:45~17:30



漢方医学と西洋医学の融合により 世界で類のない最高の医療提供に貢献します



自然と健康を科学する
漢方の **ツムラ**

<http://www.tsumura.co.jp/>

●お問い合わせは、お客様相談窓口まで。

【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970 【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

Biotherapies for Life™ **CSL Behring**



★効能・効果、用法・用量、
禁忌を含む使用上の
注意等については
添付文書をご参照ください。

資料請求先：

CSLベーリング株式会社 くすり相談窓口
TEL:0120-534-587 FAX:03-3534-5861

製造販売（輸入）：

CSLベーリング株式会社
〒135-0062 東京都江東区東雲一丁目7番12号

特定生物由来製品 処方せん医薬品^{注)}

生理的組織接着剤



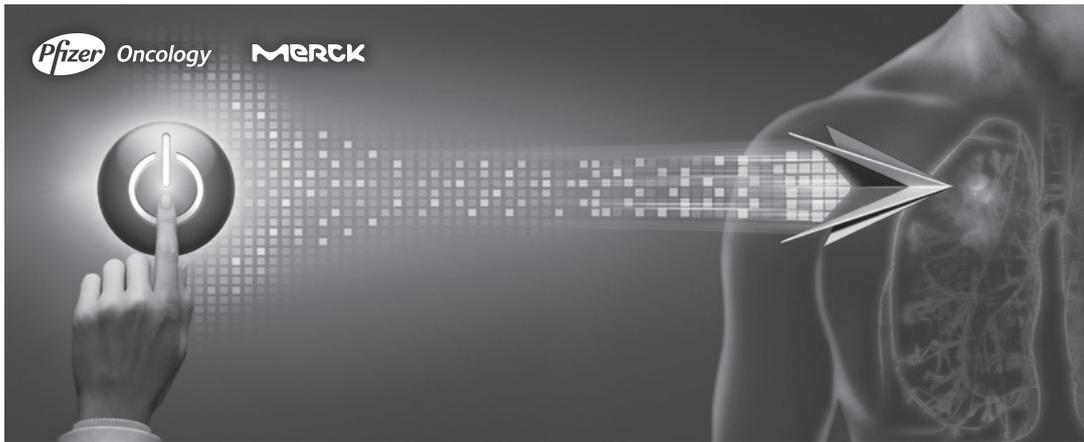
ベリプラスト P コンビセット 組織接着用

Beriplast® P Combi-Set Tissue adhesion

薬価基準収載

2012年10月作成

注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること



抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤 薬価基準収載

ザークリ® カプセル **200mg**
XALKORI® Capsules **250mg**
 クリゾチニブカプセル

劇薬 処方箋医薬品 注意—医師等の処方箋により使用すること

※「効能・効果」、「用法・用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」等は、製品添付文書をご参照ください。

製造販売（輸入）
ファイザー株式会社
 〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7
 資料請求先：製品情報センター

販売提携
メルクセローノ株式会社
 〒153-8926 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー

2017年5月作成
 XLK72C007E

Quality of Life

TEIJIN
 Human Chemistry, Human Solutions

患者さんの健やかな笑顔のために。

一人でも多くの方が
 生きることを前向きにとらえ、
 しあわせを感じられるように。

帝人ファーマ株式会社
 〒100-8585
 東京都千代田区霞が関3-2-1
 （霞が関コモンゲート西館）
<http://www.teijin-pharma.co.jp/>





抗悪性腫瘍剤 / 抗PD-L1^{注1)}ヒト化モノクローナル抗体
生物由来製品、創薬、処方箋医薬品^{注2)} 薬価基準収載

テセントリク[®] 点滴静注 1200mg

TECENTRIQ atezolizumab
アテゾリズマブ(遺伝子組換え)注
 注F、ホフマン-ラロッシュ(スイス)登録商標

抗悪性腫瘍剤 抗VEGF^{注2)}ヒト化モノクローナル抗体
生物由来製品、創薬、処方箋医薬品^{注3)} 薬価基準収載

アバステン[®] 点滴静注用 100mg/4mL
 400mg/16mL

AVASTIN bevacizumab
ベバシズマブ(遺伝子組換え)注

抗悪性腫瘍剤
 上皮増殖因子受容体(EGFR)チロシンキナーゼ阻害剤
創薬、処方箋医薬品^{注3)} 薬価基準収載

タルセバ[®]錠 25mg
 100mg
 150mg

Tarceva エルロチニブ塩酸塩錠

抗悪性腫瘍剤 / ALK^{注3)}阻害剤
創薬、処方箋医薬品^{注3)} 薬価基準収載

アレセンサ[®] カプセル 150mg
 ALECENSA アレクチニブ塩酸塩カプセル

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意、効能・効果に関連する使用上の注意、用法・用量に関連する使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。

注1) PD-L1: Programmed Death-Ligand 1. 注2) VEGF: Vascular Endothelial Growth Factor (血管内皮増殖因子)
 注3) ALK: Anaplastic Lymphoma Kinase (未分化リンパ腫キナーゼ) 注※) 注意-医師等の処方箋により使用すること

製造販売元

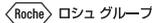


中外製薬株式会社

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

(資料請求先)メディカルインフォメーション部

TEL.0120-140564 FAX.0120-189705



ロシュグループ

2018年5月作成



Nesco Black[®]

made in Japan

手術用縫合糸「ネスコスーチャー[®]」

ネスヒレン[®]

医療機器承認番号:15500BZZ00854000

モノフレン[®]

医療機器承認番号:21000BZZ00439000

ネスポーレン[®]

医療機器承認番号:15500BZZ00855000

ワンランク上[※]の
 切れ味と操作性の追求。



ご使用に際しては必ず添付文書をお読みください。®登録商標

※対自社製品

製造販売元 **alfresa**
アルフレッサ ファーマ株式会社
 大阪市中央区石町二丁目2番9号 〒540-8575

〈資料請求先〉

札幌 011-281-3000 仙台 022-295-0631 東京 03-5695-4145 名古屋 052-218-5251
 大阪 06-6941-2818 広島 082-545-7835 高松 087-863-7181 福岡 092-283-6306
 営業本部 メディカルデバイス営業統括部 MD推進部 TEL 06-6941-0303
 URL <http://www.alfresa-pharma.co.jp>



血液凝固阻止剤

薬価基準収載

リコモジュリン[®]点滴静注用12800

トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え)製剤 生物由来製品 処方箋医薬品※
Recomodulin Inj. 12800 ※注意-医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売元 **旭化成ファーマ株式会社**
(資料請求先)

〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号
くすり相談窓口 ☎ 0120-114-936

AsahiKASEI

2018年9月作成

FIND OPPORTUNITY IN CHANGE

Seize Simplicity
必要なときに「最善」を。

高度化、複雑化する医療において直観的で機能的な製品やサービスをお届けしたい。私達はそんなソリューションを通じて医療従事者の方々のお役に立ちたいと考えています。



日本メドトロニック株式会社

ストラクチャルハート&エンドバスキュラー事業部
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70
Tel:03-6776-0015

medtronic.co.jp

販売名:モザイク生体弁
販売名:CGフューチャー
販売名:Tri-Adリング
販売名:Contour 3Dリング

医療機器承認番号:21100BZY00508000
医療機器承認番号:22400BZX00060000
医療機器承認番号:22700BZX00293000
医療機器承認番号:22500BZX00428000

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の添付文書をご参照ください。

©2018 Medtronic Japan Co., Ltd. All rights reserved. MC08112b-1807

Medtronic
Further, Together

DATE MEDICAL SERVICE



医療器械・器具販売を通じ、
明日の医療に貢献します。

京都本社

〒612-8419 京都市伏見区竹田北三ツ杭町48
TEL.075-646-1818 FAX.075-646-1822

滋賀支店

〒520-3031 滋賀県栗東市縄1丁目15-8
TEL.077-553-7322 FAX.077-553-7320

大阪支店

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目27番27号
第2江坂三昌ビル 6F
TEL.06-6368-5776 FAX.06-6387-8111

東京営業所

〒110-0016 東京都台東区台東1丁目2-1-3502
TEL.03-5816-2622 FAX.03-5816-2623

九州事業所

〒802-0005 福岡県北九州市小倉北区堺町2丁目1番1号
ライズ小倉ビル 6F
TEL.093-522-0330 FAX.093-522-0331

URL <http://www.dt-med.co.jp>

DMS

株式会社 ダテ・メディカルサービス
DATE MEDICAL SERVICE CO.,LTD



Novartis Pharma K.K.

新しい発想で医療に貢献します

ノバルティスのミッションは、より充実した、すこやかな毎日のために、
新しい発想で医療に貢献することです。

イノベーションを推進することで、治療法が確立されていない疾患にも
積極的に取り組み、新薬をより多くの患者さんにお届けします。

 NOVARTIS

ノバルティス ファーマ株式会社

<http://www.novartis.co.jp/>

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

患者さんの Quality of Lifeの向上が テイジンの理念です。



帝人ファーマ株式会社 帝人在宅医療株式会社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

PAD(XX)A5X(TB)1201

Eisai

hbc
human health care

患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。

Abraxane®

抗悪性腫瘍剤

薬価基準収載

特定生物由来製品、毒薬、処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

アブラキサン®点滴静注用 100mg

Abraxane® I.V. Infusion 100mg

パクリタキセル注射剤（アルブミン懸濁型）

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告、禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元
資料請求先
(医薬品情報課)



大鵬薬品工業株式会社
〒101-8444 東京都千代田区神田錦町1-27
TEL.0120-20-4527 FAX.03-3293-2451
<https://www.taiho.co.jp/>

提携先



2017年6月作成

理想的な血液流路の追求

ラインフィルタ内蔵人工肺

oxiaACF

高度管理医療機器 体外式膜型人工肺
オキシアACF

Simple
X
Compact

Compact

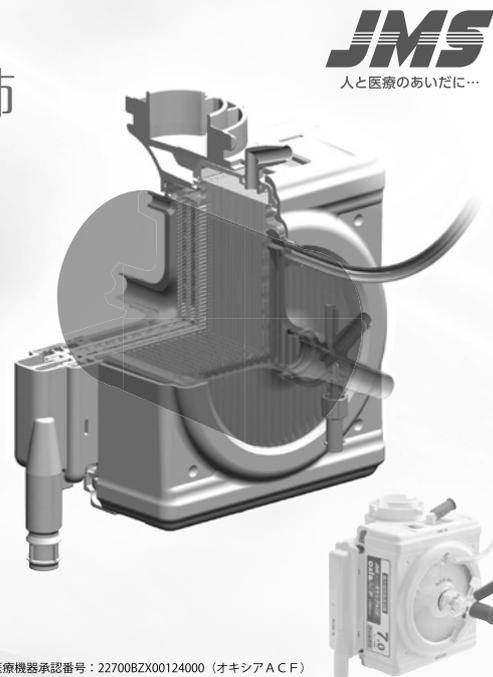
可能な限り少ない異物接液面積・充填量・圧力損失を

Simple & Flexibility

シンプルな回路構成と最適なレイアウトを

Originality

より簡単なセットアップ より高い安全性を



医療機器承認番号：22700BZX00124000（オキシアACF）

製造販売業者
株式会社 ジェイ・エム・エス <http://www.jms.cc/>

お問い合わせ先 治療デバイス営業部 TEL 03-6404-0603
〒140-0013 東京都品川区南大井1丁目13番5号 新南大井ビル

滋賀医科大学外科同門会 2018年度

発行日 2018年10月

連絡先 滋賀医科大学 外科学講座内
外科同門会事務局
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
電話:077-548-2238 / 077-548-2244
